EPSON

LP-V1000

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD1213-00

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

Windows をお使いの方へ

Mac OS 9 をお使いの方へ

Mac OS X をお使いの方へ

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

添付されているフォントについて

オプションと消耗品について

プリンタのメンテナンス

困ったときは

付録

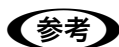
本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

! 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

用語 *1 用語の説明を記載していることを示しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.3 の画面を使用しています。

ハガキについて

本書では、日本郵政公社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2003, Standard Edition（32 ビットバージョン）
Microsoft® Windows® 2003, Enterprise Edition（32 ビットバージョン）
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記について

Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
Mac OS X v10.2、v10.3
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS」と表記します。

Windows をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報を説明しています。

印刷を始める前に

「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。また、プリンタ接続先の設定は正しいですか。ご利用の接続方法によって、設定が異なります。以下の説明をお読みください。

パラレルケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータをパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従ってください。EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。

☞ 本書 13 ページ「印刷の手順」

USB ケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従ってください。EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。

☞ 本書 13 ページ「印刷の手順」

万一印刷できない場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 276 ページ「プリンタドライバがインストールできない」
☞ 本書 287 ページ「プリンタが応答しない、印刷できない」
☞ 本書 299 ページ「プリンタが認識されない」

印刷できない場合は以下のページを参照してください。

☞ 本書 74 ページ「プリンタ接続先の変更」

ネットワーク上のプリンタを共有する場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 67 ページ「プリンタを共有するには」

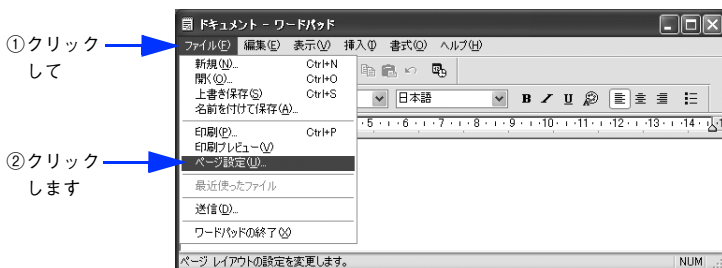
印刷の手順

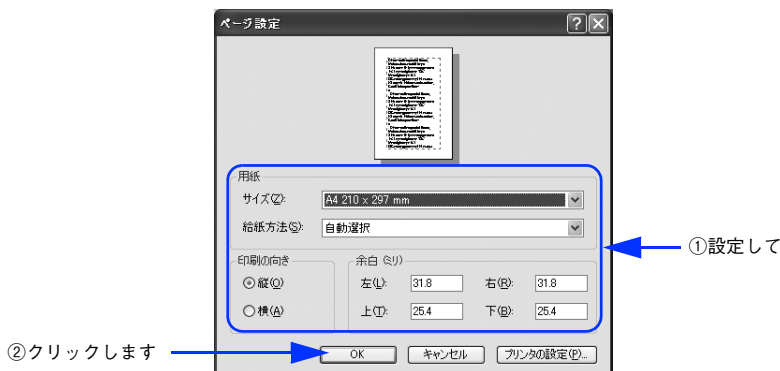
ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」を例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

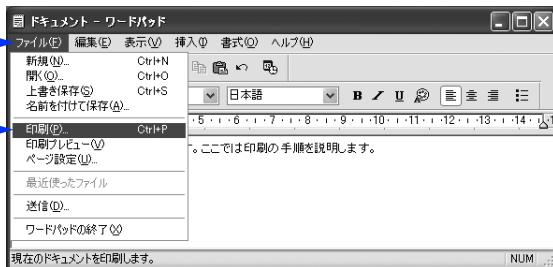
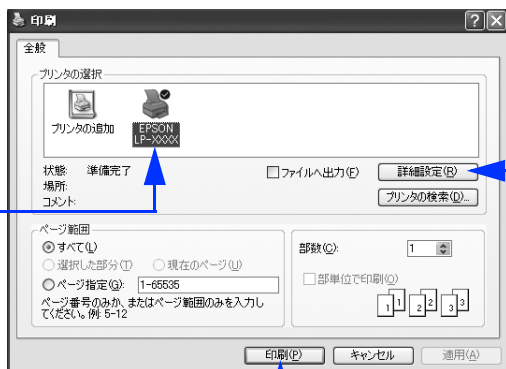
1 **［ワードパッド］を起動します。**

- Windows の［スタート］－［すべてのプログラム］（Windows XP 以外の場合は［プログラム］）－［アクセサリ］－［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして開きます。

2 **［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。**

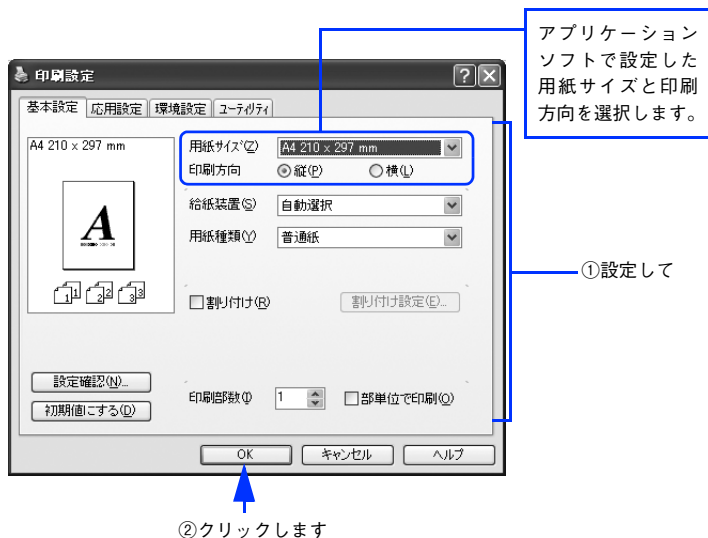
このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

3 **印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きなどを設定して、［OK］をクリックします。**

余白の最小値は、本機の印刷可能領域である上下左右 5mm まで設定することができます。

4 **印刷するファイルを作成します。**

5 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

6 LP-V1000 が選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定を確認または変更する場合は、［詳細設定］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プロパティ］）をクリックし、7 に進みます。プリンタドライバの設定を確認しない場合は、8 に進みます。

Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できるものもあります。

7 **各項目を設定して［OK］をクリックします。**

通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞ 本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」

8 **［印刷］をクリックします。**

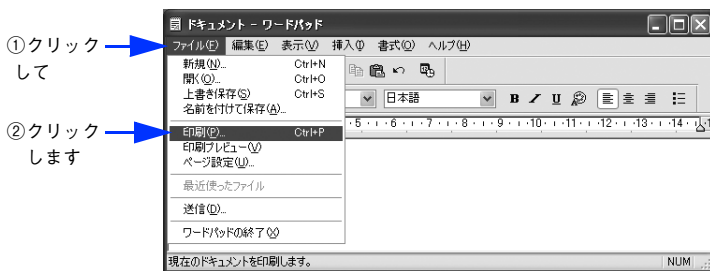
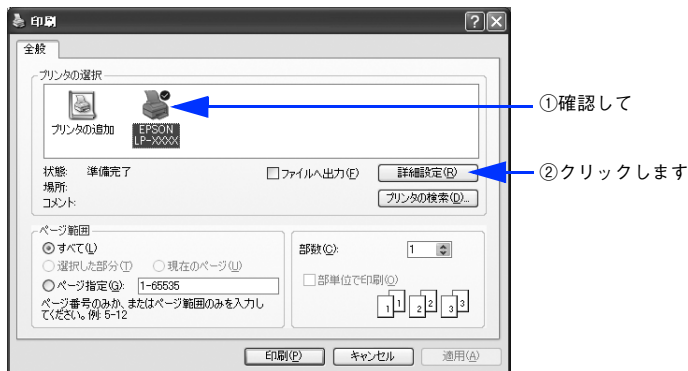
印刷データがプリンタに送られて印刷が始まります。
以上で印刷の操作は終了です。

設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。**

2 **［プリンタの選択］でプリンタ名に EPSON LP-V1000 が選択されていることを確認して［詳細設定］（Windows XP/Server 2003 以外の場合は［プロパティ］）をクリックします。**

Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できるものもあります。

[スタート]メニューから開く

Windowsの[スタート]メニューから開くことができる[プリンタとFAX](Windows XP/Server 2003以外の場合は[プリンタ])フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

[プリンタとFAX]/[プリンタ]フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

[プリンタとFAX]/[プリンタ]フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。ここでは代表的な手順を説明します。

1 Windowsの[スタート]メニューから[プリンタとFAX]/[プリンタ]を開きます。

- **Windows XPの場合**

①[スタート]－[コントロールパネル]をクリックします。
[スタート]メニューに[プリンタとFAX]が表示されている場合は、[プリンタとFAX]をクリックして、❷へ進みます。
②[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタとFAX]をクリックします。

- **Windows Server 2003の場合**

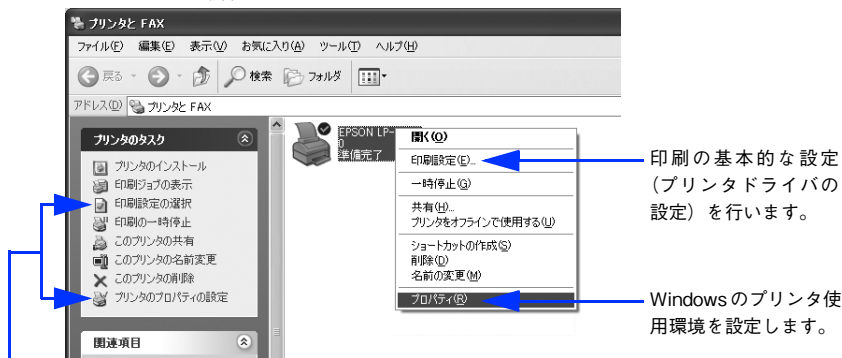
[スタート]－[コントロールパネル]－[プリンタとFAX]にカーソルを合わせ、❷へ進みます。[スタート]メニューに[プリンタとFAX]が表示されている場合は、[プリンタとFAX]をクリックして、❷へ進みます。

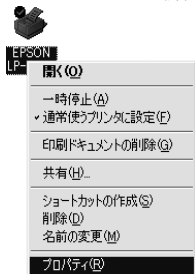
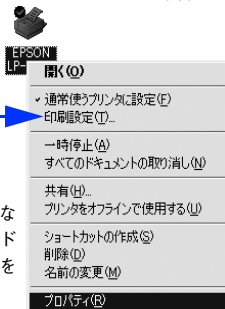
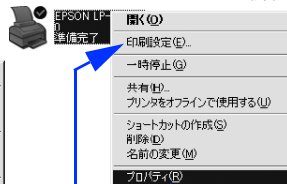
- **Windows 98/Me/2000の場合**

[スタート]－[設定]－[プリンタ]をクリックします。

❷ LP-V1000 のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

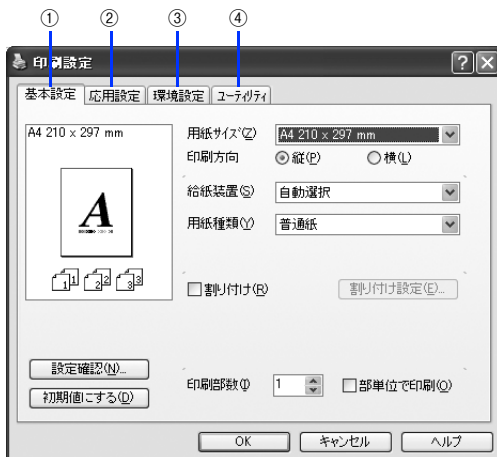
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は［印刷設定］と［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

Windows XP の場合

プリンタに対するタスクリストから［印刷設定の選択］または［プリンタのプロパティの設定］をクリックして実行することもできます。

Windows 98/Me の場合　Windows 2000 の場合　Windows Server 2003 の場合

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［印刷設定］を設定するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

① 印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行います。

本書 26 ページ「[基本設定]ダイアログ」

② 印刷の応用設定

拡大 / 縮小印刷、印刷品質などの設定と、スタンプマークなどの[ページ装飾]ダイアログを開きます。

本書 33 ページ「[応用設定]ダイアログ」

③ プリンタの環境設定

プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

本書 48 ページ「[環境設定]ダイアログ」

④ ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

本書 57 ページ「[ユーティリティ]ダイアログ」

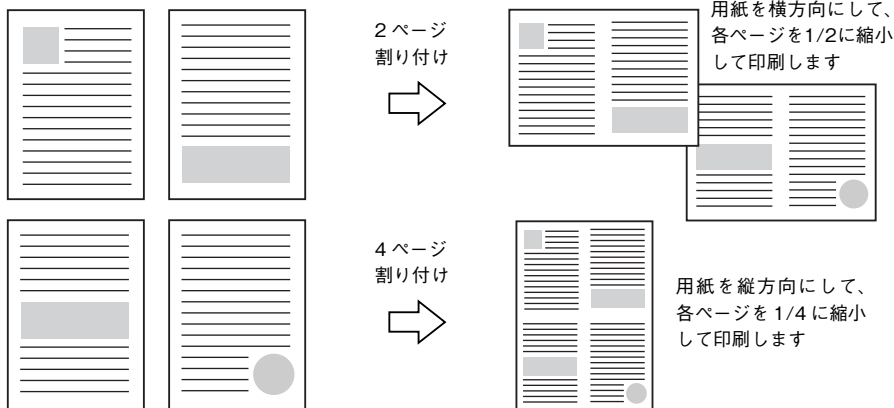
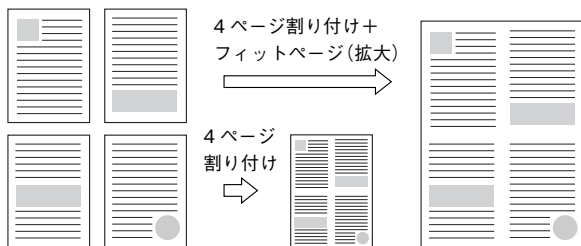
便利な印刷機能

ここでは、本機に搭載されているさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

参考

割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

☞ 本書 22 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 38 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

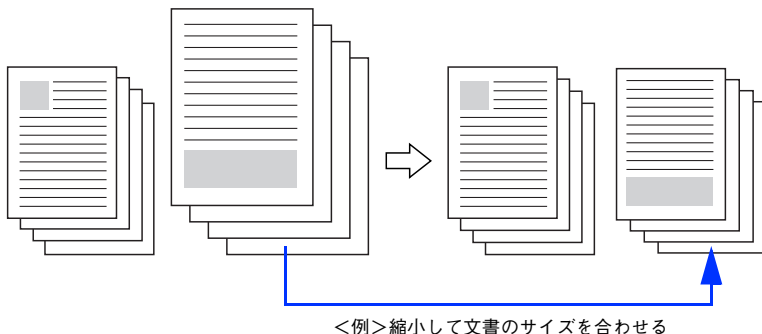
割り付け印刷は［基本設定］ダイアログから［割り付け設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」/28 ページ「⑤ 割り付け」
☞ 本書 31 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

<例>縮小して文書のサイズを合わせる

本機の拡大 / 縮小印刷には以下 2 つの方法があります。

サイズを選択（フィットページ印刷）

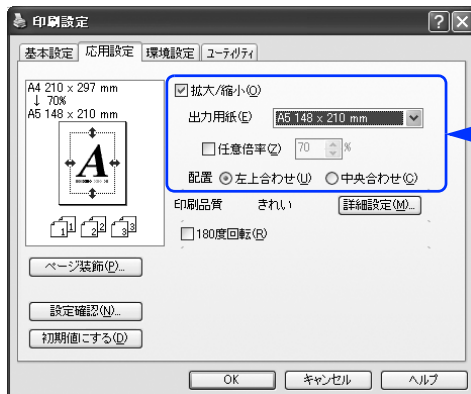
元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて（フィットさせて）印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したい場合は、元のページサイズを［A4］に設定して、出力（印刷）に使用する用紙サイズを［ハガキ］に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

☞ 本書 38 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

拡大 / 縮小率を設定（任意倍率印刷）

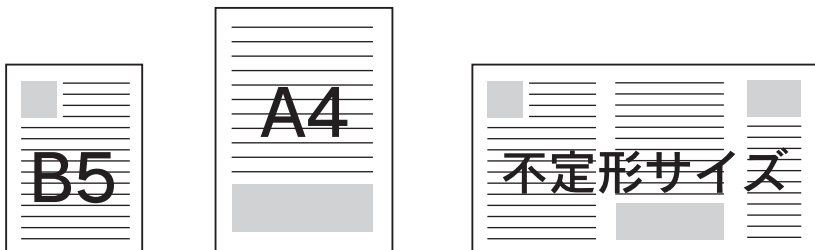
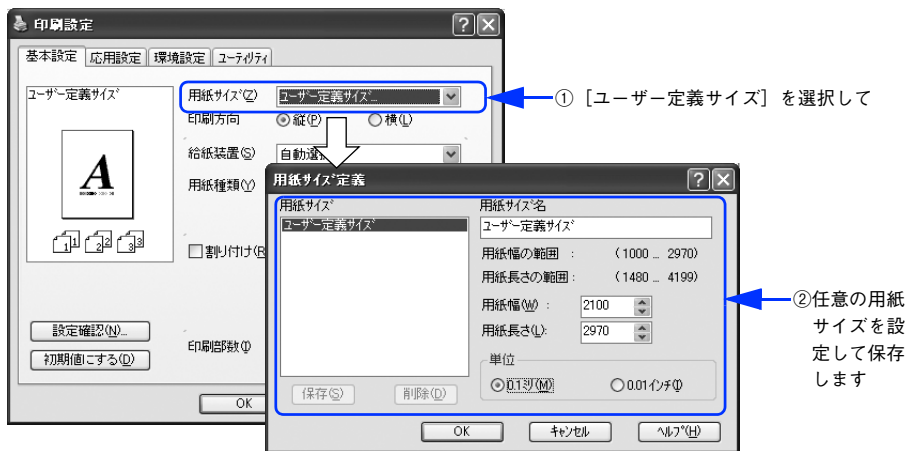
拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。

☞ 本書 39 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

拡大 / 縮小印刷は［応用設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 33 ページ「［応用設定］ダイアログ」/33 ページ「① 拡大 / 縮小」
☞ 本書 37 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

定形サイズ以外の用紙に印刷

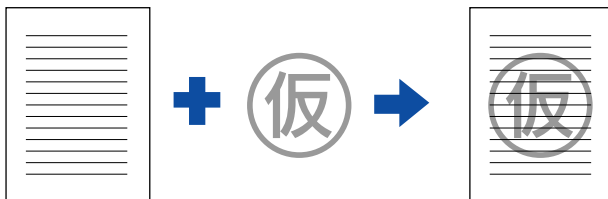
B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（ユーザー定義サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは、［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから［ユーザー定義サイズ］を選択して設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」/26 ページ「① 用紙サイズ」
☞ 本書 29 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは［用紙サイズ］メニューから選択できます。

！注意 不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞ 本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊝」、「重要」、「㊙」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマーク印刷は［応用設定］ダイアログから［ページ装飾］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 33 ページ「［応用設定］ダイアログ」/34 ページ「④ ［ページ装飾］ボタン」
☞ 本書 41 ページ「スタンプマークを印刷するには」

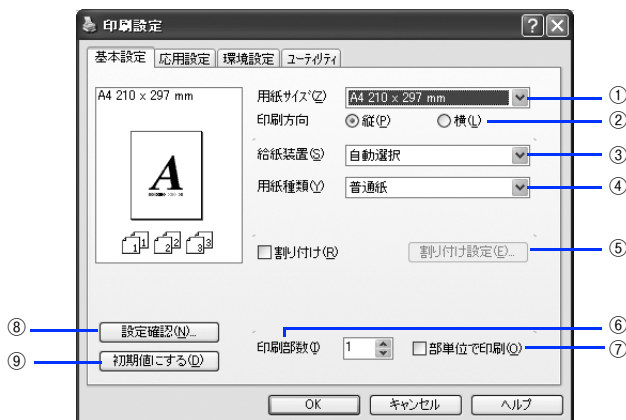
オリジナルスタンプマークの作成

あらかじめ登録されているスタンプマークだけでなく、オリジナルのスタンプマークを作成して登録することもできます。どのようなマークが必要になっても、新たにスタンプを購入する必要がありません。

☞ 本書 44 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

① 用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印（ / ）をクリックして表示させてください。

! 注意

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［動作環境設定］ダイアログの［プリントサーバー用紙サイズを使用する］をチェックしている場合は、本機がサポートしないサイズが表示されます。本機がサポートしないサイズを選択すると、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。
  ☞ 本書 55 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」
  ☞ 本書 206 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートするサイズより大きい A2 などを選択した場合、以下の画面が表示されます。［出力用紙］のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：

任意の用紙サイズを設定するには、リスト内の［ユーザー定義サイズ］を選択します。設定できるサイズは以下の通りです。

- 用紙幅：100.0 ～ 297.0mm（3.94 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 419.9mm（5.83 ～ 16.53 インチ）

☞ 本書 24 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」
☞ 本書 29 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

② 印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかをクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせます。

③ 給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット	用紙カセットから給紙します。

- 用紙カセットにセットした用紙のサイズは、用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルで設定します。また、MP トレイの用紙サイズは、「プリンタ設定」ダイアログの［MP トレイ用紙サイズ］で設定します。
  ☞ 本書 50 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  ☞ 本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［応用設定］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して給紙します。
  ☞ 本書 33 ページ「［応用設定］ダイアログ」

④ 用紙種類
印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
普通紙	• 普通紙タイプの用紙（レターヘッド、再生紙、色付きを含む）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］は［自動選択］が設定されます。
厚紙	• 紙厚が 82 ～ 128g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
OHP シート	• OHP シートに印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑤ 割り付け
2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け］をチェックして［割り付け設定］をクリックします。

本書 20 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
本書 31 ページ「1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには」

⑥ 印刷部数
印刷する部数（1 ～ 999）を指定します。

⑦ 部単位で印刷
2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑥の［印刷部数］で指定します。

! 注 意
アプリケーションソフトで部単位印刷を設定できる場合は、通常アプリケーション側で設定してください（アプリケーションソフトで設定できない場合は、プリンタドライバで［部単位で印刷］を設定します）。ただし、［拡張設定］ダイアログの［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした場合は、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。
本書 53 ページ「⑥ アプリケーションの部単位印刷を優先」

⑧［設定確認］ボタン
プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

⑨［初期値にする］ボタン
［基本設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として設定して 20 件まで登録することができます。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞ 本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

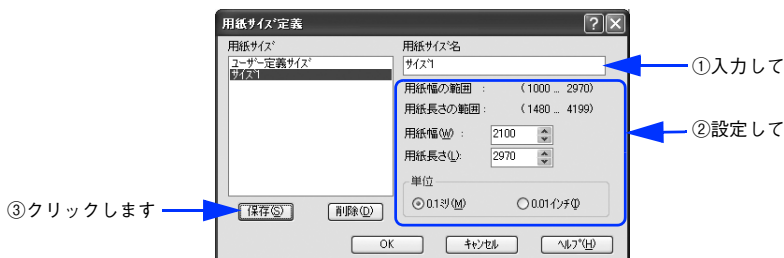
1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

☞ 本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2 プリンタドライバの［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

3 ［用紙サイズ名］に登録名を入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。

数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。設定できるサイズの範囲は次の通りです。

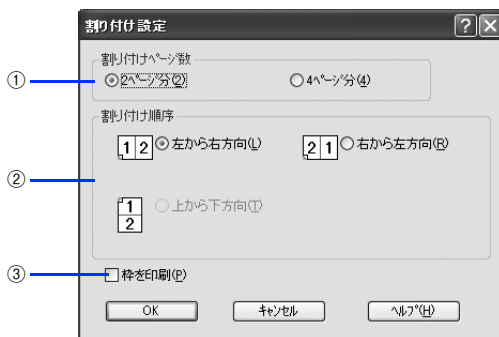
- 用紙幅：100.0 ～ 297.0mm（3.94 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 419.9mm（5.83 ～ 16.53 インチ）

- すでに登録されている用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ] リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、[用紙サイズ] リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、[削除] をクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

4 **[OK] をクリックします。**

クリックします

これで、定義した用紙サイズが [用紙サイズ] リストから選択できるようになります。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

1 枚の用紙に複数ページを割り付けて印刷するには

［基本設定］ダイアログで［割り付け］をチェックして［割り付け設定］をクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

① 割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

② 割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③ 枠を印刷

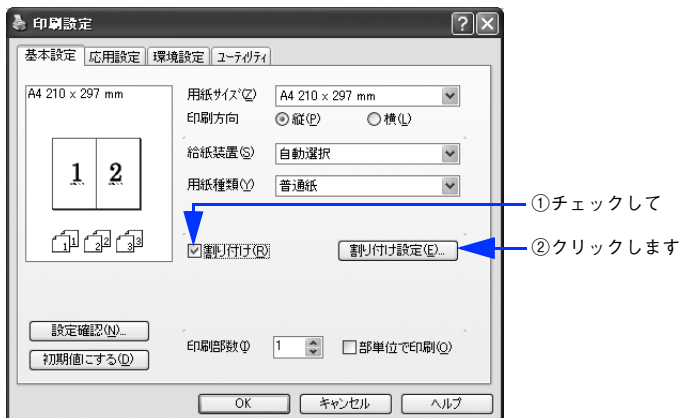
割り付けたページの周りに枠線を印刷します。

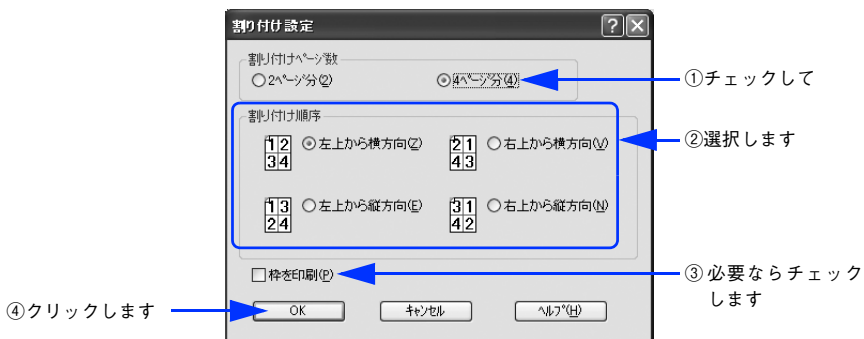
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

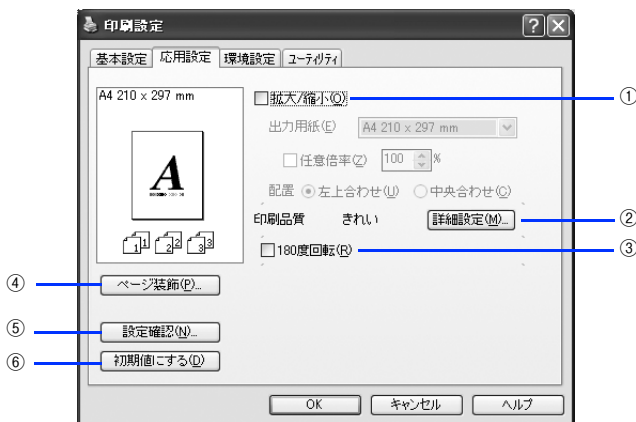
本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2 ［割り付け設定］ダイアログを開きます。

3 ［4 ページ分］を選択して、［割り付け設定］ダイアログの各項目を設定し、［OK］をクリックします。

割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは［枠を印刷］をチェックします。

4 ［OK］をクリックして［基本設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

［応用設定］ダイアログ

プリンタドライバの［応用設定］ダイアログでは、印刷品質などの設定を行います。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

① 拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

☞ 本書 22 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 37 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

② 印刷品質

本機は印刷品質（解像度）の設定を常に［きれい］（600dpi）の状態で印刷します。設定は変更できません。ほとんどの場合、このままでよい印刷結果が得られます（一般的に推奨できる条件で印刷できます）。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［環境設定］ダイアログの［拡張設定］ダイアログ内にある［メモリ不足回避］を有効にする。
  ☞ 本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

［詳細設定］をクリックすると［詳細設定］ダイアログを開いて印刷条件の詳細な設定ができます。

☞ 本書 35 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

③ 180 度回転

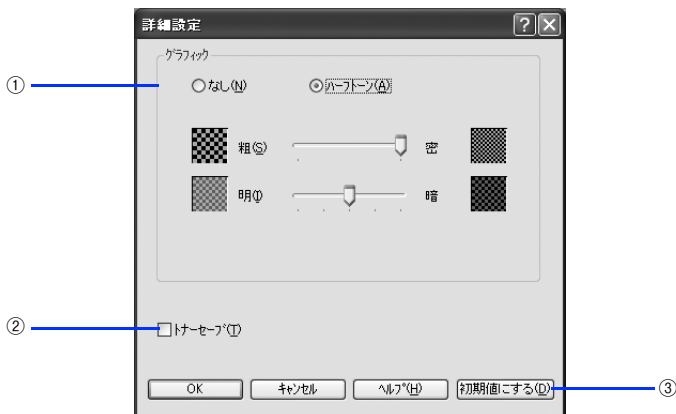
印刷データを 180 度回転して印刷します。

④［ページ装飾］ボタン
「スタンプマーク」と「ヘッダー / フッター」の設定をするダイアログを表示します。
☞ 本書 25 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
☞ 本書 36 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」
☞ 本書 41 ページ「スタンプマークを印刷するには」

⑤［設定確認］ボタン
プリンタドライバの設定一覧を表示します。また、設定の一覧を印刷することができます。

⑥［初期値にする］ボタン
［応用設定］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

［詳細設定］ダイアログ

［応用設定］ダイアログで［印刷品質］－［詳細設定］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開いて印刷条件の詳細な設定ができます。

① グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

項目	説明
なし	グラフィックの印刷処理を行いません。グレイスケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

粗密：

［ハーフトーン］選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 2 段階に調整できます。［密］側にスライドするとより細かく、［粗］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

明暗：

［ハーフトーン］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［明］側にスライドするとより明るく、［暗］側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

② トナーセーブ

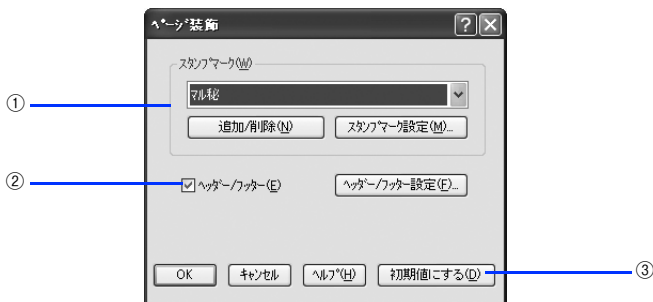
印刷濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

③［初期値にする］ボタン

［詳細設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

［ページ装飾］ダイアログ

［応用設定］ダイアログで［ページ装飾］をクリックすると、［ページ装飾］ダイアログが開きます。［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

① スタンプマーク

印刷データに ㊙ などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。印刷するスタンプマークは、［スタンプマーク］リストから選択します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 25 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
☞ 本書 41 ページ「スタンプマークを印刷するには」
☞ 本書 44 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

② ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター］をチェックして［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］をクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。

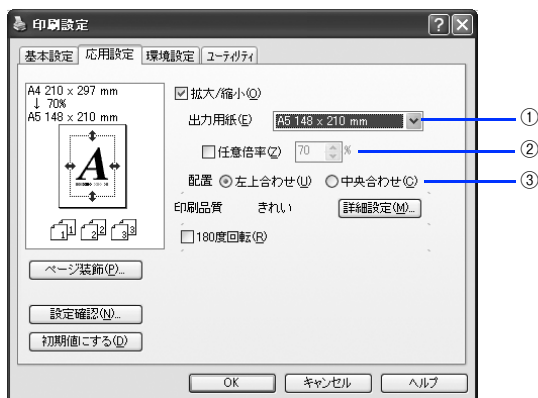
☞ 本書 55 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

③［初期値にする］ボタン

［ページ装飾］ダイアログの設定を初期値に戻します。

拡大 / 縮小して印刷するには

[応用設定]ダイアログの[拡大 / 縮小]をチェックすると、以下の項目が設定できます。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

① 出力用紙

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小(フィットページ)印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。設定した情報が画面左側に表示されます。

[出力用紙]は[基本設定]ダイアログで設定した[用紙サイズ]に対して設定されます。

本書 26 ページ「[基本設定]ダイアログ」

② 任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③ 配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

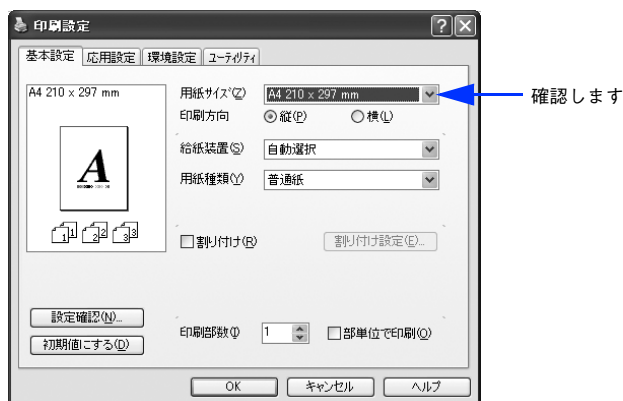
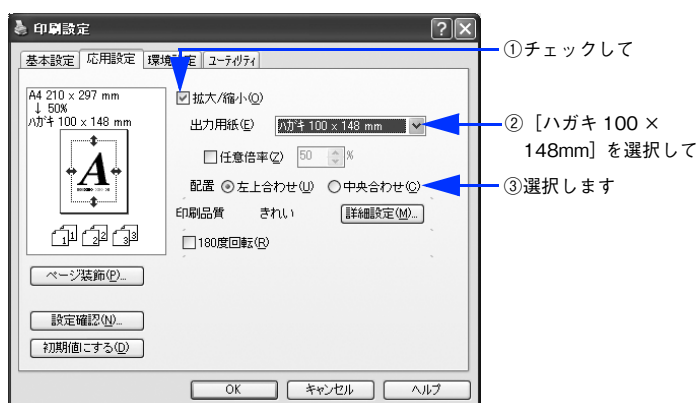
項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。ここではフィットページ機能を使って用紙サイズ A4 の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
   ☞ 本書 16 ページ「設定画面の開き方」

3. **［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。**

4. **［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］をチェックして、［出力用紙］から［ハガキ 100 × 148mm］を選択し、［配置］を任意に選択します。**

5. **［OK］をクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

1 拡大 / 縮小率を計算します。

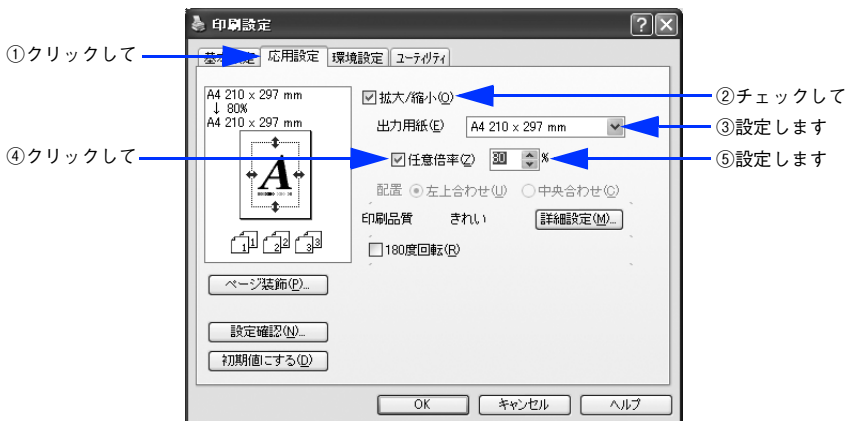
- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大/縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの設定画面を表示します。

☞ 本書 16 ページ「設定画面の開き方」

3 ［基本設定］ダイアログを開いて、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを［用紙サイズ］から選択します。

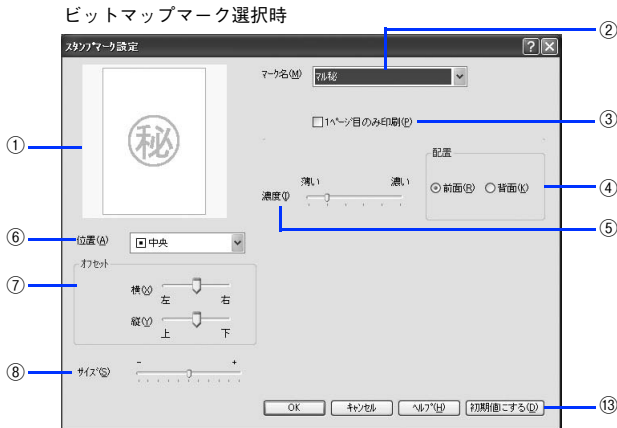
4 ［応用設定］ダイアログを開いて［拡大 / 縮小］をチェックし、プリンタから出力される用紙サイズを［出力用紙］で選択します。さらに［任意倍率］をチェックして［倍率］を設定します。

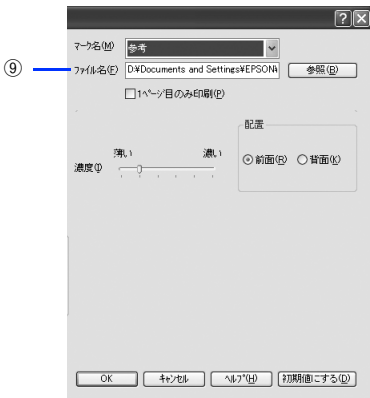
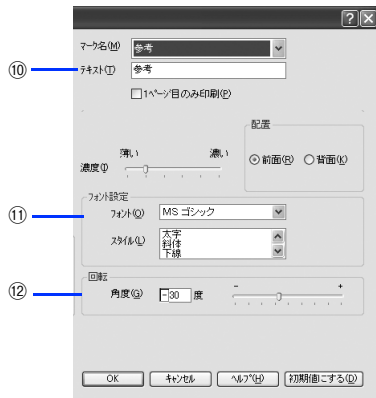
倍率は、数値を直接入力するか、入力ボックス右側の三角マーク（▲ / ▼）をクリックして設定してください。50 ～ 200% の間で倍率を指定できます。

以下のような場合は、［出力用紙］が［任意倍率］に合っていません。

- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

5 ［OK］をクリックしてダイアログを閉じてから、アプリケーションソフトから印刷を実行します。

スタンプマークを印刷するには

［応用設定］ダイアログから開いた［ページ装飾］ダイアログで任意のスタンプマークを選択して［スタンプマーク設定］をクリックすると、［スタンプマーク設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

ビットマップマーク選択時

登録したビットマップマーク選択時

登録したテキストマーク選択時

① プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

② マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③ 1 ページ目のみ印刷

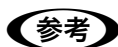
用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④ 配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合があります。

⑤ 濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑥位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します（スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください）。

⑦ オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます（スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください）。

⑧ サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます（スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください）。

［サイズ］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷保証領域を超えないように注意してください。

⑨ ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］をクリックしてファイルを選択し直してください。

⑩ テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 / 削除］をクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑪ フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑫ 回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーで設定してください。

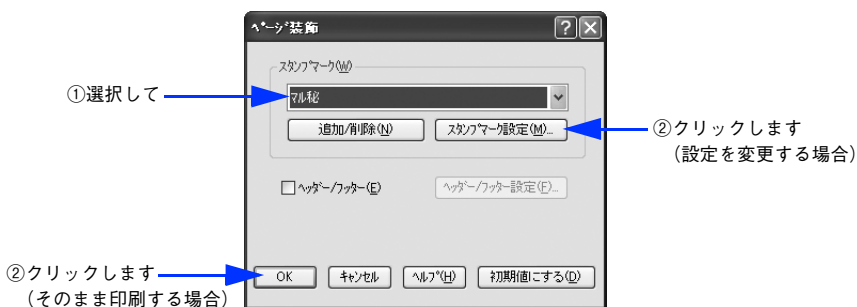
⑬［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期状態に戻します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
本書 16 ページ「設定画面の開き方」

2. **［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］をクリックします。**

3. **［ページ装飾］ダイアログの［スタンプマーク］リストボックスから印刷するスタンプを選択して、［OK］をクリックします。**
   - そのまま印刷する場合は、［OK］をクリックして 6 へ進みます。
   - スタンプマークの設定を変更する場合は、［スタンプマーク設定］をクリックして 4 へ進みます。

4. **スタンプマークの設定を変更してから、［OK］をクリックします。**

5. **［OK］をクリックして［ページ装飾］ダイアログを閉じます。**

6. **［OK］をクリックして［応用設定］ダイアログを閉じ、アプリケーションソフトから印刷を実行します。**

オリジナルスタンプマークの登録方法

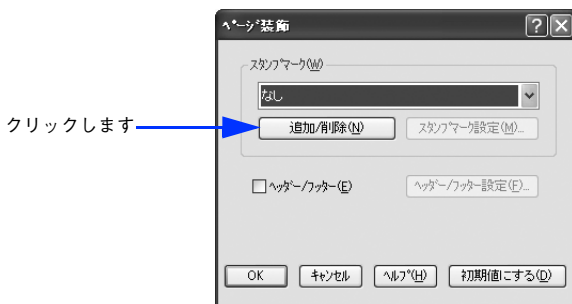
すでに登録されているスタンプマークのほかに、任意のテキスト（文字）やお好みの画像（BMP* 画像）を登録して印刷することができます。

* BMP：画像ファイルを保存する際のファイル形式の 1 つ。

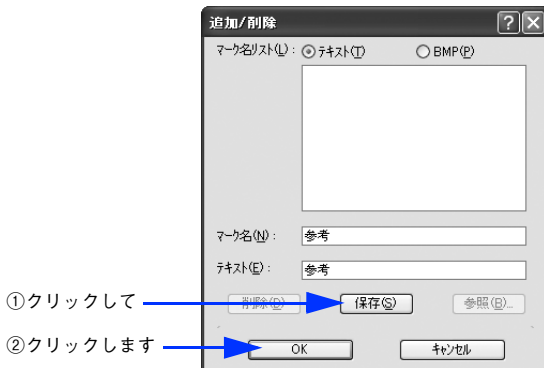
- 画像を登録したい場合は、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は BMP だけです。
- 画像と単語を合計 10 個まで登録できます。

テキストマークの登録方法

1. ［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］をクリックします。

2. ［ページ装飾］ダイアログの［追加 / 削除］をクリックします。

3. ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

先に［テキスト］に文字を直接入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。なお、［マーク名］に直接入力すれば、［テキスト］内容とは別の名称で登録できます。

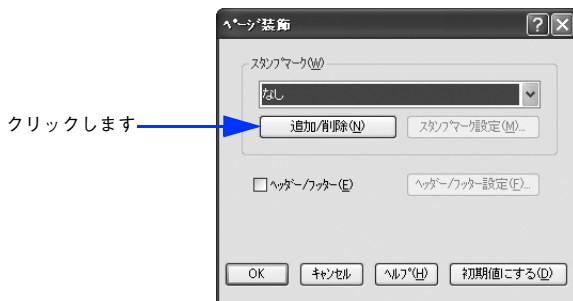
4 ［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

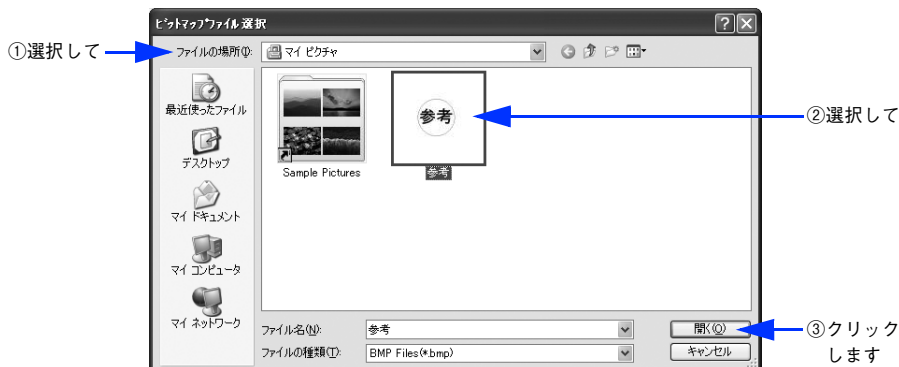
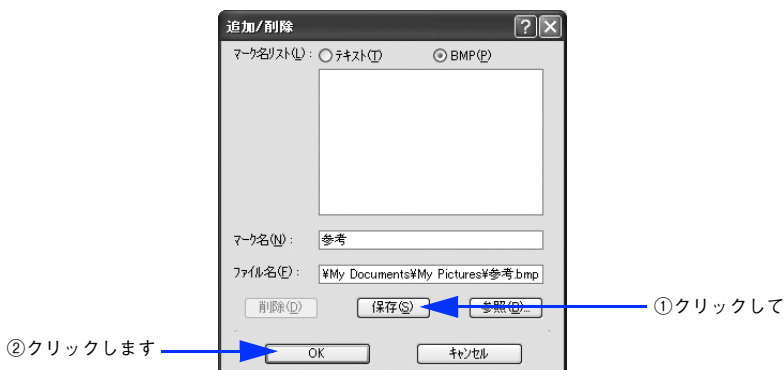
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいマーク名を［マーク名リスト］から選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、［ページ装飾］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］をクリックして必ず一旦閉じてください。

5 ［ページ装飾］ダイアログで［OK］をクリックします。

以上で登録は終了です。登録したスタンプマークは、［スタンプマーク設定］ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。
2. ［応用設定］ダイアログを開いて、［ページ装飾］をクリックします。
3. ［ページ装飾］ダイアログの［追加 / 削除］をクリックします。

4. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］をクリックします。

5 ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［OK］をクリックします。

6 ［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、［マーク名リスト］から削除したいマーク名を選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、［ページ装飾］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログの［OK］をクリックして必ず一旦閉じてください。

7 ［ページ装飾］ダイアログで［OK］をクリックします。

以上で登録は終了です。登録したスタンプマークは、［スタンプマーク設定］ダイアログ左側のプレビュー部で確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

		Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003			
			ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
			管理者	管理者以外	管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ	○	○	○	○	○
	プリンタ設定	◎	―	―	◎	―
	ステータスシート印刷	◎	◎	◎	◎	◎
	拡張設定	◎	◎	◎	―	―
	動作環境設定	◎	△	△	◎	△

アプリケーションソフトから開いた場合

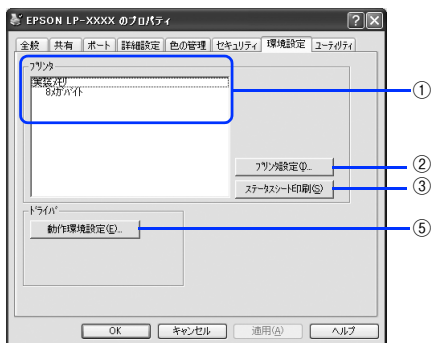
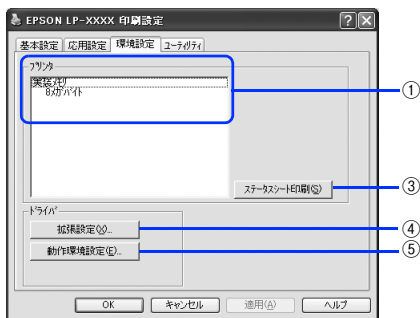
		Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003	
			管理者	管理者以外
設定項目	プリンタ	○	○	○
	プリンタ設定	―	―	―
	ステータスシート印刷	◎	◎	◎
	拡張設定	◎	◎	◎
	動作環境設定	△	△	△

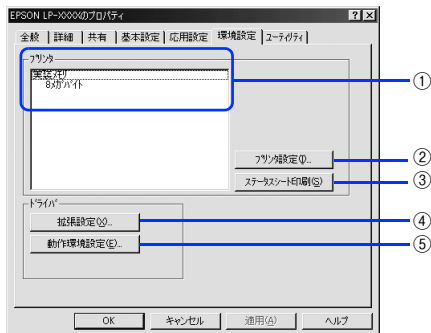
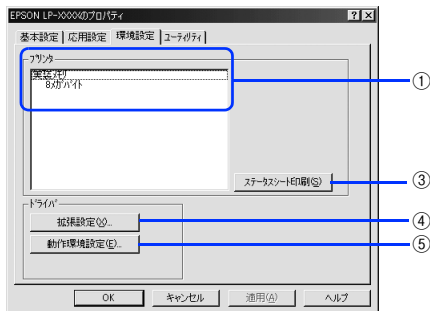
◎：選択可（ダイアログを開いて設定できます）
○：表示のみ（選択・設定できません）
△：確認のみ（選択できますが、設定できません）
―：非表示（選択・設定できません）

Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更でき、［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 16 ページ「設定画面の開き方」

以下に代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

<例> Windows 2000/XP/Server 2003

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合（アプリケーションソフトから開いた場合）

<例> Windows 98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

① プリンタ

プリンタに装着しているメモリ容量を表示します。

②［プリンタ設定］ボタン

クリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、プリンタのさまざまな機能が設定できます。

☞ 本書 50 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合は、［プリンタ設定］ダイアログを開いて設定できません。また、ひんぱんにエラーが発生します。本機を使用する場合は、必ず EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしてください。

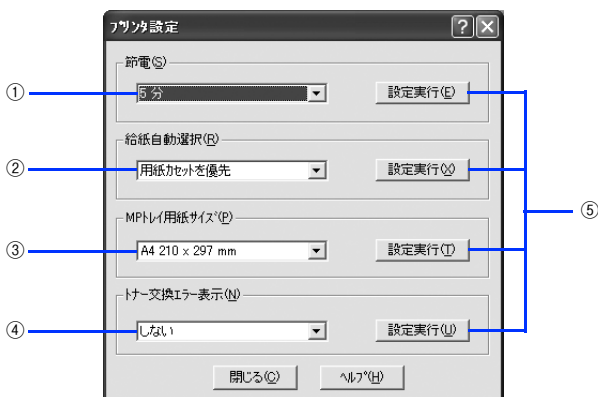
☞ 本書 66 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」
☞ 本書 286 ページ「ひんぱんにエラーや警告が発生する」

③［ステータスシート印刷］ボタン
プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

④［拡張設定］ボタン
印刷位置のオフセット値、白紙節約機能などの設定を行うときにクリックします。
本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑤［動作環境設定］ボタン
印刷データを一時的に保存するためのフォルダを指定します。
本書 55 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［プリンタ設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダ内の本機のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。［環境設定］ダイアログを開き、［プリンタ設定］をクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合は、［プリンタ設定］ダイアログを開いて設定できません。EPSON プリンタウィンドウ !3 のインストールを促す警告ダイアログを表示します。本機を使用する場合は、必ず EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしてください。
本書 66 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」
本書 286 ページ「ひんぱんにエラーや警告が発生する」

①節電
節電状態に入るまでの時間 *（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 5 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

* OFF（節電しない）の設定はできません。

② 給紙自動選択

［基本設定］ダイアログの［給紙装置］が［自動選択］に設定され、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP トレイと用紙カセットどちらの給紙装置を優先して給紙するかを設定できます。

- ［用紙カセットを優先］に設定した場合、用紙カセットを優先します。（初期設定）
- ［MP トレイを優先］に設定した場合、MP カセットを優先します。

③ MP トレイ用紙サイズ

MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。

④ トナー交換エラー表示

トナーがなくなった場合の対応を設定できます。

- ［しない］に設定した場合、トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。（初期設定）
- ［する］に設定した場合、トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑤［設定実行］ボタン

設定を変更した場合に、設定した内容を有効にするときにクリックします。

- 設定を変更しただけでは有効になりません。設定を有効にするには、［設定実行］をクリックしてください。
- 印刷中に［設定実行］をクリックしないでください。

［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］をクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 で、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/ Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いて、［環境設定］タブを選択した場合は表示されません。表示するためには、下記のいずれかの方法を選択してください。

- プリンタドライバのプロパティを開いて［詳細設定］タブを選択し、［標準の設定］をクリックする。
- ［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択する。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く。

① オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

② 印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

③ 白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

④ 用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑤ 高速グラフィック

グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷します。グラフィックが正常に印刷できない場合は、チェックを外してください。

⑥ アプリケーションの部単位印刷を優先

アプリケーションで設定した部単位印刷の設定を優先します。

! 注意

- ［アプリケーションの部単位印刷を優先］の設定を切り替える場合は、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］から［拡張設定］ダイアログを開いてください。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて［拡張設定］ダイアログを開いて［アプリケーションの部単位印刷を優先］を変更しても有効になりません。
- ［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効にした（チェックを外す）場合は、アプリケーションソフトではなく、必ずプリンタドライバで［部単位で印刷］を設定してください。
☞ 本書 28 ページ「⑦ 部単位で印刷」

⑦ ページエラー回避

印刷途中でエラー状態になるなど印刷に問題が発生した場合にチェックしてください。ページエラーが発生しにくくなります。

⑧ メモリ不足回避

プリンタにメモリ不足が発生した場合にチェックしてください。チェックすると印刷品質を落として印刷するため、メモリ不足エラーが発生しにくくなります。

⑨ 自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑩ 印刷中プリンタのモニタを行う

必ずチェックを付けてください。印刷時にプリンタを監視して、プリンタがエラー状態になるとポップアップウィンドウを表示します。

! 注意

チェックを外すと、印刷に影響が出る可能性があります。

⑪ OS のスプールを使用する（Windows 2000/XP/Server 2003）

Windows のスプール機能を使用します。アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になる、印刷時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。この場合は、チェックを外してください。

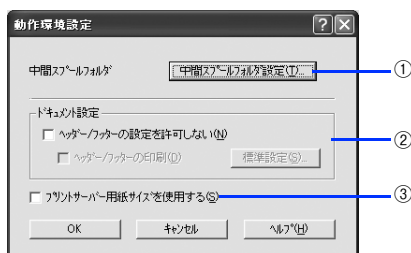
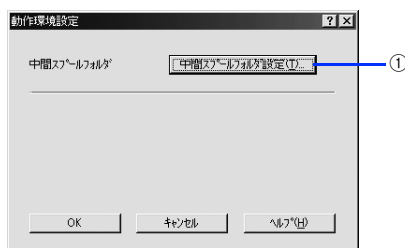
⑫［初期値にする］ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

[動作環境設定]ダイアログ

[環境設定]ダイアログで[動作環境設定]をクリックすると、[動作環境設定]ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の[印刷設定]から[動作環境設定]ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、[プリンタ]/[プリンタと FAX]フォルダからプリンタのプロパティを開き、[動作環境設定]ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー(Windows 2000/Server 2003)または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー(Windows XP)のみ設定できます。

Windows 2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

①[中間スプールフォルダ設定]ボタン

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定する[中間スプールフォルダ選択]ダイアログを開きます。通常は、設定を変更する必要はありません(以下の画面は例で、実際の中間スプールフォルダとは異なります)。

Windows 2000/XP/Server 2003

Windows 98/Me

項目	説明
中間スプールフォルダ選択	中間スプールフォルダを選択します。
設定実行	変更した中間スプールフォルダを有効にします。
初期値にする	中間スプールフォルダを初期設定フォルダに戻します。
閉じる	[中間スプールフォルダ設定]ダイアログを閉じます。

- Windows 2000/XP/Server 2003で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定がすべてのユーザーで「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択すると印刷できるようになります。

② ドキュメント設定（Windows 2000/XP/Server 2003）

ヘッダー/フッターの印刷を設定できます。[ページ装飾]ダイアログのヘッダー/フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

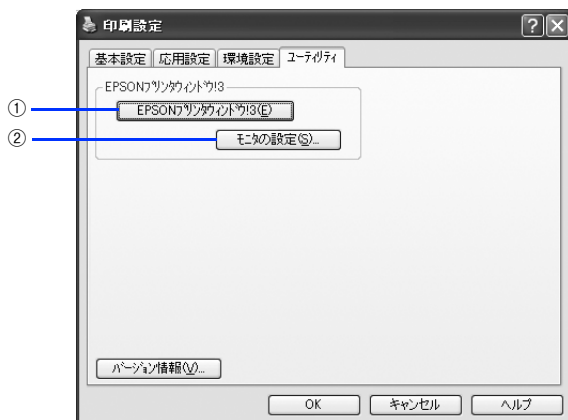
	[ヘッダー / フッターの設定を許可しない]		
	チェックなし	チェックあり	
	ー	[ヘッダー / フッターの印刷]	
		チェックなし	チェックあり
[ページ装飾] ダイアログの [ヘッダー / フッター] チェックボックス	設定を変更できます。	チェックなしのまま設定は変更できません。	チェックありのまま設定は変更できません。
[ページ装飾] ダイアログの [ヘッダー / フッター設定] ボタン	設定を変更できます。	ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	ボタンをクリックしてヘッダー/フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー / フッターの印刷は [ページ装飾] ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows 2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー / フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー / フッターは印刷できません。	ヘッダー/フッターの印刷は[動作環境設定] ダイアログで設定します。[標準設定]をクリックして [ヘッダー / フッター設定] ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタのプロパティを開き、［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- ヘッダー/フッター印刷を管理する必要がある場合は、管理者権限のあるユーザー（Windows 2000/Server 2003）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）で設定してください。

③ プリントサーバー用紙サイズを使用する（Windows 2000/XP/Server 2003）

プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙サイズの他に、OS に登録されている独自の用紙サイズが［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから選択可能になります。ただし、本機がサポートしない用紙サイズは使用しないでください。

［ユーティリティ］ダイアログ

［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトの EPSON プリンタウィンドウ !3 に関わる設定を行います。

本機を使用する場合は、必ず EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしてください。インストールされていないと、ひんぱんにエラーが発生します。
本書 66 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」
本書 286 ページ「ひんぱんにエラーや警告が発生する」

① EPSON プリンタウィンドウ !3

クリックすると、プリンタの状態やトナー残量が監視できる EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動します。
本書 58 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」

②［モニタの設定］ボタン

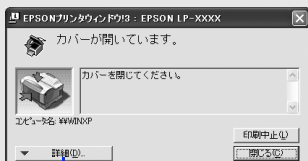
クリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示され、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。
本書 61 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

プリンタの状態をコンピュータでモニタするには

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

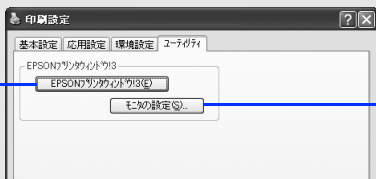
プリンタエラーを表示します

ポップアップウィンドウ

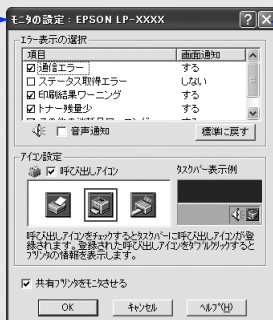
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

- ［ユーティリティ］ダイアログから
- タスクバーの呼び出しアイコンから

動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく前に

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく上での制限事項について説明します。

Windows 98/Me で共有プリンタを監視する場合の制限事項

サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルが設定されている環境で共有プリンタを監視する場合には、IPX/SPX 互換プロトコルに加えて TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。

Windows XP をご使用時の制限事項

Windows XP のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷することはできません。EPSON プリンタウィンドウ !3 に通信エラーが発生します。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

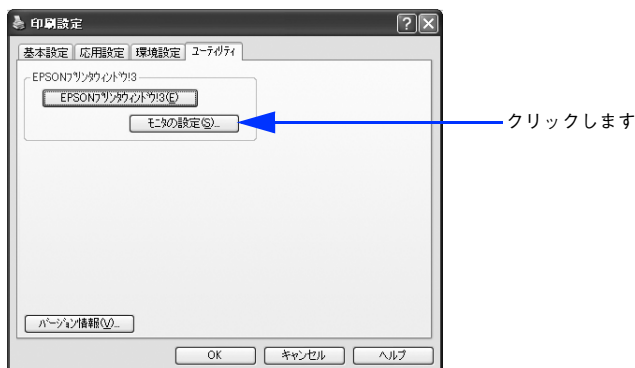
EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

モニタの設定

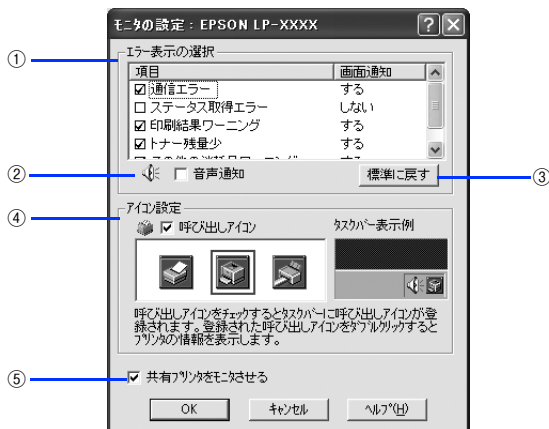
EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開いて［モニタの設定］をクリックします。

<例> Windows XPでアプリケーションソフトから開いた場合

［方法 2］

上記［方法 1］の［モニタの設定］ダイアログで EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバーにある呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

① エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニング（警告）を、画面通知するかどうかを選択します。チェックを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現れ、対処方法が表示されます。

② 音声通知

エラー発生時に音声 * でも通知します。

* お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）場合のみ。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を初期設定に戻します。

④ アイコン設定

［呼び出しアイコン］にチェックを付けると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタや好みに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスで右クリックすると、メニューが表示されて EPSON プリンタウィンドウ！3 を起動または［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤ 共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

本書 67 ページ「プリンタを共有するには」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。さらに、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

☞ 本書 63 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

［方法 1］

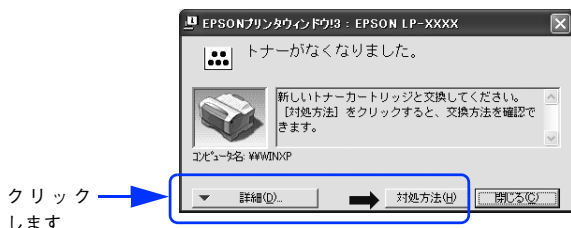
プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開いて［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。

［方法 2］

上記［方法 1］の［設定］をクリックして表示される［モニタの設定］ダイアログで、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバー上にある呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンで呼び出しアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

☞ 本書 60 ページ「モニタの設定」

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に表示されます。

- ［詳細］をクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］が表示されたときに、このボタンをクリックすると対処方法、または対処方法を選択するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

① アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

② プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 64 ページ「対処が必要な場合は」

③ コンピュータ名

コンピュータの名前を表示します。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

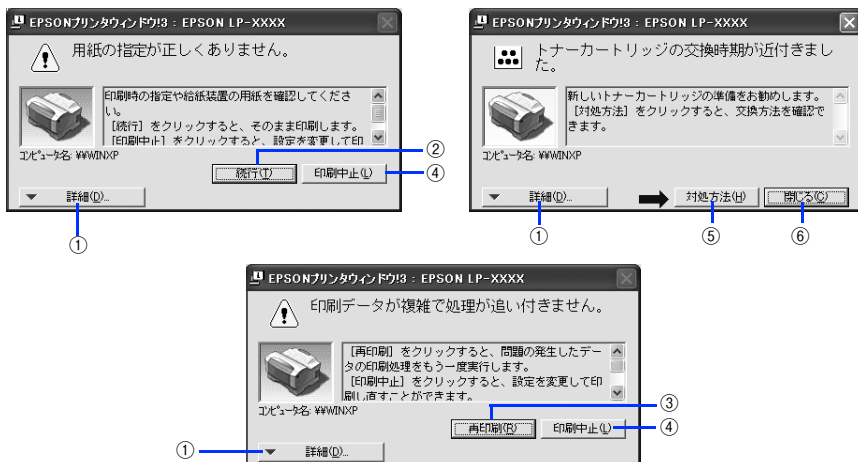
⑥ 用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

⑦ トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［詳細］ボタン

クリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

☞ 本書 63 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［続行］ボタン

表示されているエラーを無視して印刷を続行します。続行すると画面と異なる状態で印刷されたり、エラーの発生したページが印刷されないことがあります。

③［再印刷］ボタン

問題の発生したページから印刷処理をもう一度行います。［環境設定］ダイアログの［ページエラー回避］が選択されていない（チェックを付けない）ときのみ表示される場合があります。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

⑥［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

Windows 共有プリンタを監視できない場合は、以下の設定がされているかを確認してください。

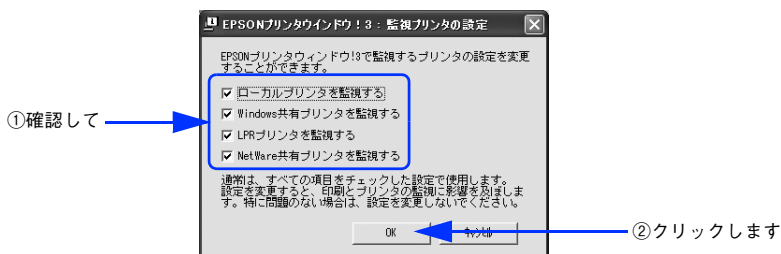
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされていること。
- Windows 98/Me で共有プリンタを監視する場合、サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、TCP/IP プロトコルが設定されていること。

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1 監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。

Windows の［スタート］をクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］から［EPSON］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2 監視しないプリンタのチェックを外し、［OK］をクリックして、ダイアログを閉じます。

以上で設定は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順

本機を正しくご利用いただくには、EPSON プリンタウィンドウ !3 が必ず必要です。万一本機のプリンタドライバだけをインストールして EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンしてインストールする必要があります。

1. **Windows を起動して「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

2. **［インストール中止］をクリックしてインストーラを終了します。**

3. **「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」内の「EPW3」フォルダを開いて、その中の「EPWSETUP.EXE」をダブルクリックして実行します。**

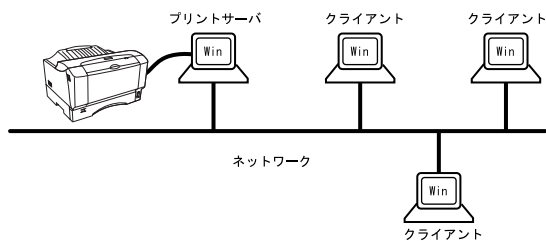
D:¥EPW3¥EPWSETUP.EXE　（D ドライブの場合）

［マイコンピュータ］から CD ドライブアイコンをダブルクリックするとインストーラが起動します。Windows のエクスプローラを使うか、［マイコンピュータ］内の CD ドライブアイコンを右クリックして［開く］を選択してフォルダを開いてください。

後は画面に表示される指示に従って EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしてください。

プリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。

- ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。
- プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割を果たします。
- ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。

プリントサーバの設定

最初に、プリントサーバにプリンタドライバがインストールされていることを確認してください。プリンタドライバがインストールされていない場合は、「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照して添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からインストーラを起動してインストールしてください。

プリンタドライバをインストールするには、Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

Windows 2000/XP/Server 2003 プリントサーバの設定

Windows 2000/XP/Server 2003 が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限(Administrators)のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

1 Windows の[スタート]をクリックして[プリンタ]/[プリンタと FAX]を開きます。

- **Windows XP の場合**

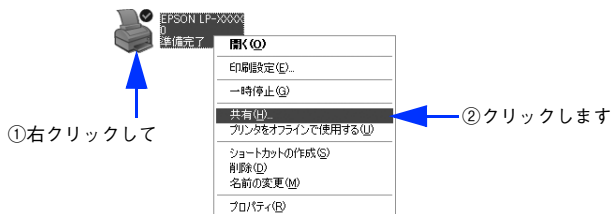
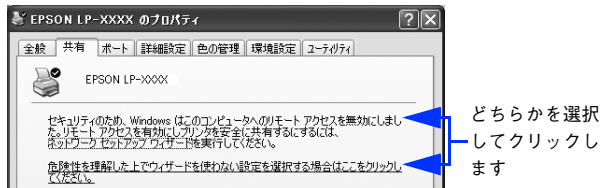
① [スタート] - [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、❷ へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
③ [プリンタと FAX] をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**

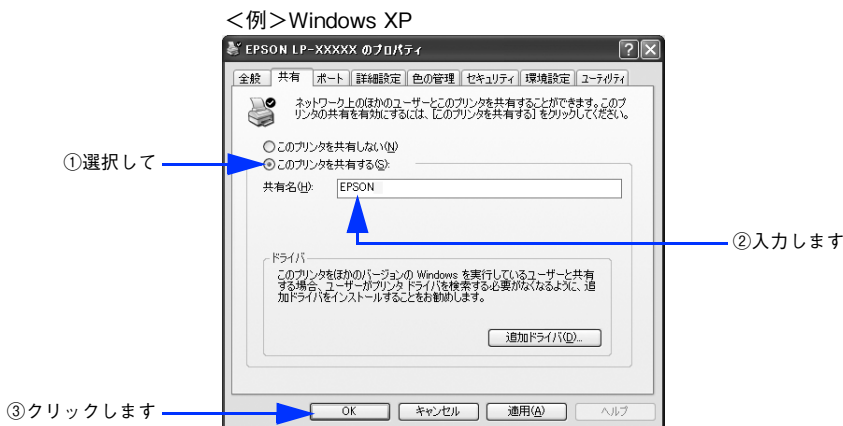
[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、❷ へ進みます。

- **Windows 2000 の場合**

[スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックします。

2 LP-V1000 のアイコンを右クリックして、[共有] をクリックします。

Windows XP で以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 **［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力し、［OK］をクリックします。**

Windows XP/Server 2003 の場合は、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。

<例>Windows XP

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

4 **EPSON プリンタウィンドウ!3 の［モニタの設定］ダイアログを開いて、［共有プリンタをモニタさせる］を有効にします。**

プリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるようにします。［モニタの設定］ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 60 ページ「モニタの設定」

以上プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。クライアント側の設定については、以下のページを参照してください。

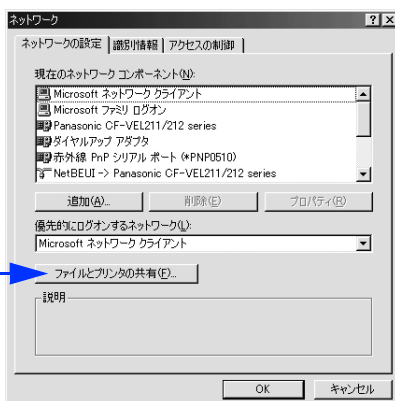
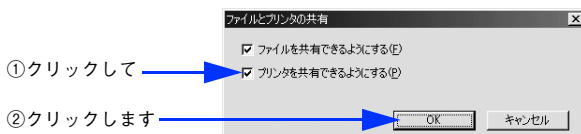
☞ 本書 73 ページ「クライアントの設定」

Windows 98/Me プリントサーバの設定

Windows 98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windows の［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。**

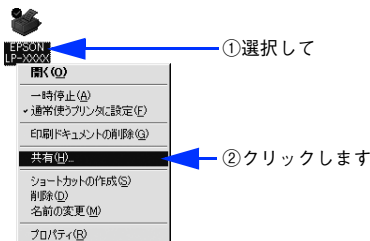
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

⑤ ［OK］をクリックします。

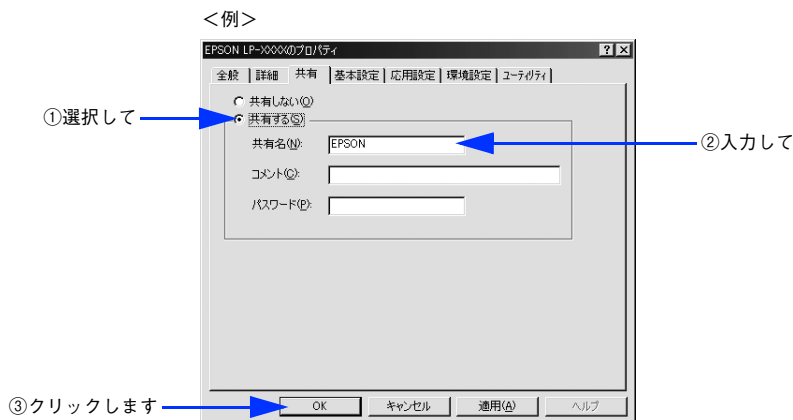
クリックします

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 98/Me の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］をクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、❶ の手順でコントロールパネルを開いて ❻ から設定してください。

⑥ コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-V1000 のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］をクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

＜例＞

参考	エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSON プリンタウィンドウ!3 の［モニタの設定］ダイアログを開いて、［共有プリンタをモニタさせる］を有効にします。

プリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるようにします。［モニタの設定］ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 60 ページ「モニタの設定」

以上プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。クライアント側の設定については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 73 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

クライアント側のセットアップは以下の手順に従ってください。

1 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からインストーラを起動し、プリンタドライバをインストールします。

「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照して添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からインストーラを起動してインストールしてください。

Windows 2000/Server 2003 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンしてインストールする必要があります。

2 インストールしたプリンタドライバの接続先をネットワークプリンタに変更します。

本書 74 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。また、ネットワーク環境でプリンタを共有する場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってクライアントにプリンタドライバをインストールしてから、以下の手順に従ってプリンタの接続先をネットワークプリンタに変更してください。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

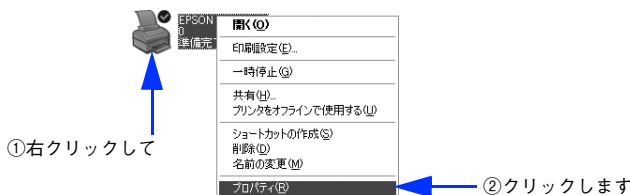
1 Windows の［スタート］をクリックして［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

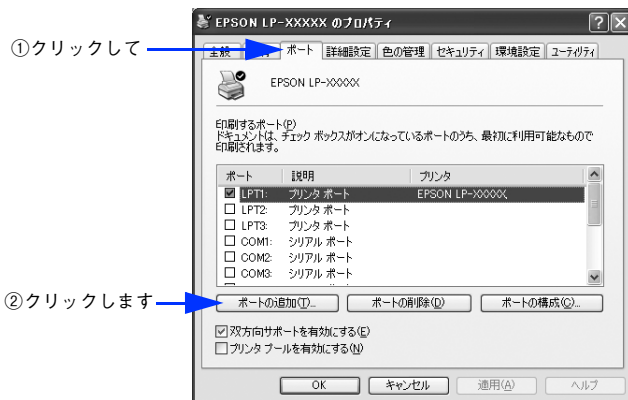
- **Windows XP の場合**

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

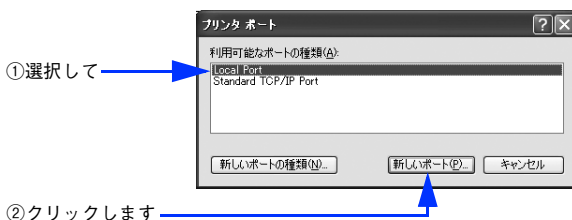
- **Windows 2000 の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

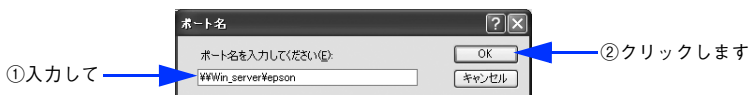
2 LP-V1000 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］をクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックを付けます。

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］をクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

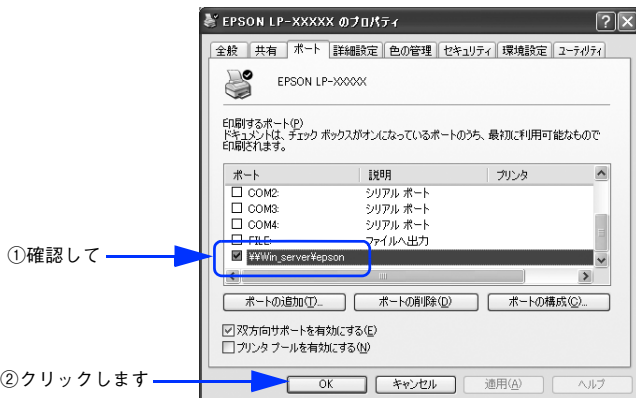
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP/Server 2003 をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］をクリックします。

5 **ポート名を入力して［OK］をクリックします。**

ポート名は以下のように入力します。
¥¥目的のプリンタが接続されたコンピュータ名¥共有プリンタ名

<例>

6 **［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］をクリックします。**

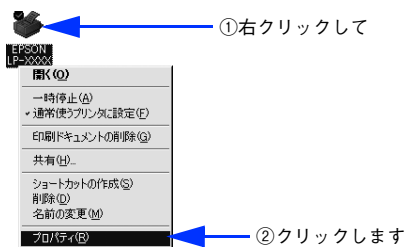
7 **ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］をクリックします。**

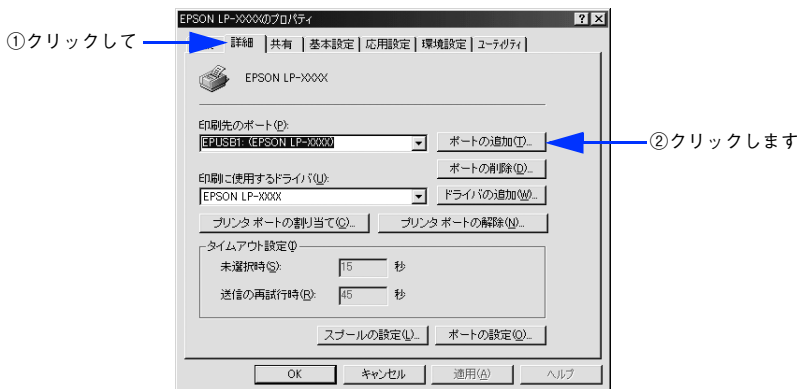
<例>

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows 98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 LP-V1000 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］をクリックします。

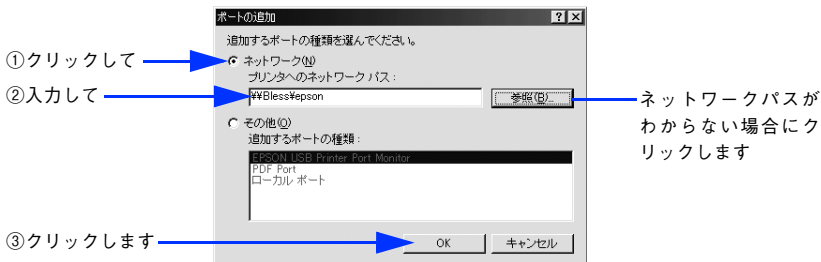
- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］をクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］をクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

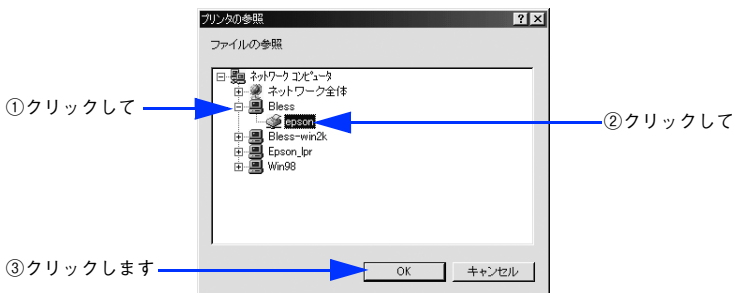
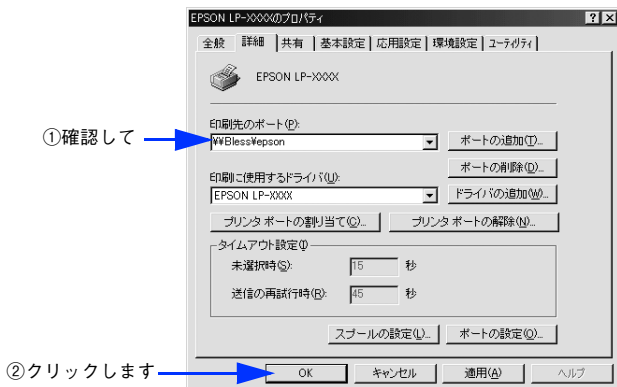
- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRNが表示されない場合はLPT1を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用のUSBデバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］をクリックします。

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥目的のプリンタが接続されたコンピュータ名¥共有プリンタ名

<例>

ポートの追加
追加するポートの種類を選んでください。
①クリックして　ネットワーク(N)
プリンタへのネットワーク パス：
②入力して　¥¥Bless¥epson　参照(B)...
ネットワークパスがわからない場合にクリックします
その他(O)
追加するポートの種類：
EPSON USB Printer Port Monitor
PDF Port
ローカル ポート
③クリックします　OK　キャンセル

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］をクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］をクリックします。

<例>

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］をクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化

本機をパラレル接続している場合、印刷データの転送方法として DMA 転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA 転送とは

通常、印刷データはコンピュータの CPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法では CPU に負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP* コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPU を経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法を DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

* ECP：Extended Capability Port の略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA 転送を設定する前に

プリンタドライバで DMA 転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- **ご利用のコンピュータは DOS/V 機で ECP コントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **BIOS* セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS を設定してください。

* BIOS：Basic Input/Output System の略。パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

この BIOS の設定は、本機のプリンタソフトウェアを一旦削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってプリンタソフトウェアを再度インストールしてください。

本書 89 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

- **エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**

以上の確認と設定が済みましたら、お使いの OS ごとの説明に進んでください。

Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールする必要があります。

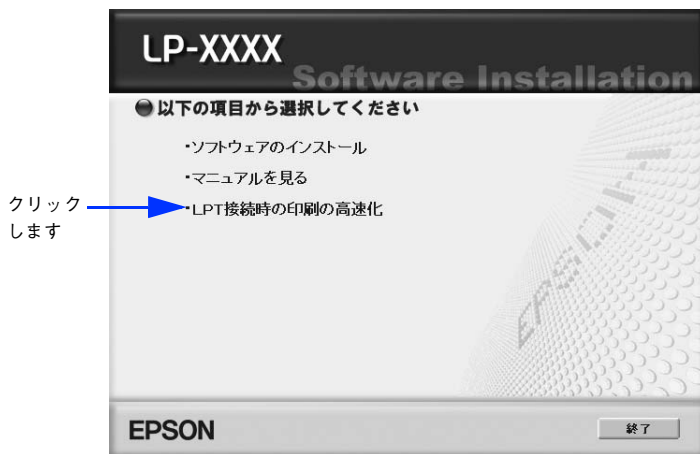
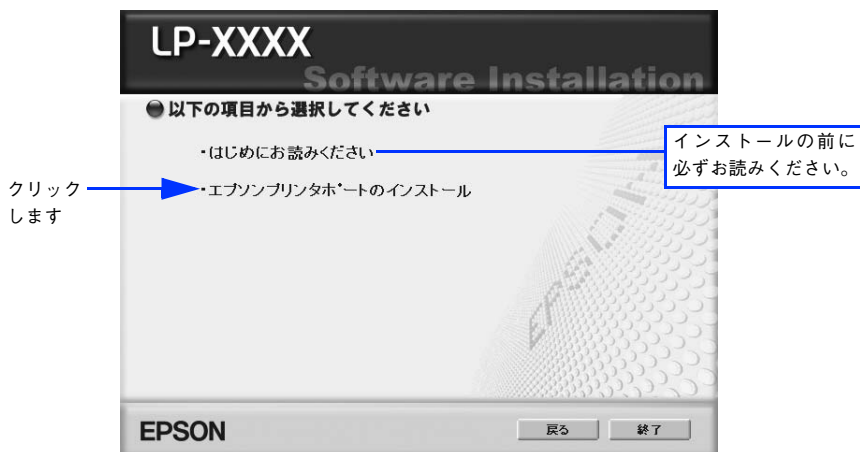
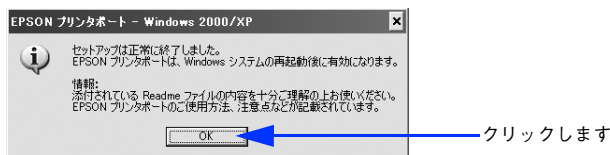
- BIOS の設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSON プリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows Server 2003 では使用できません。

1 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、［続ける］をクリックして次へ進みます。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［LPT 接続時の印刷の高速化］を選択して次に進みます。

5 ［はじめにお読みください］をクリックして参考情報をお読みいただいてから、［エプソンプリンタポートのインストール］をクリックしてインストールを実行します。

6 インストールが終了したら［OK］をクリックします。

7 Windows を再起動します。

！注意	必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、印刷ができなくなったり、動作が不安定になります。

8 LP-V1000 プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。

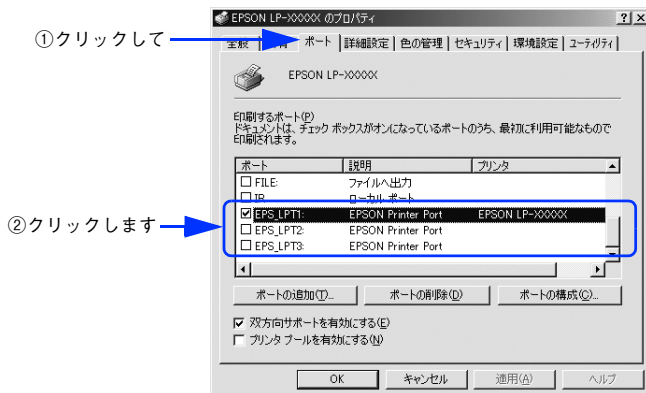
- **Windows XP の場合**

① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、⑩ へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。
④ LP-V1000 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

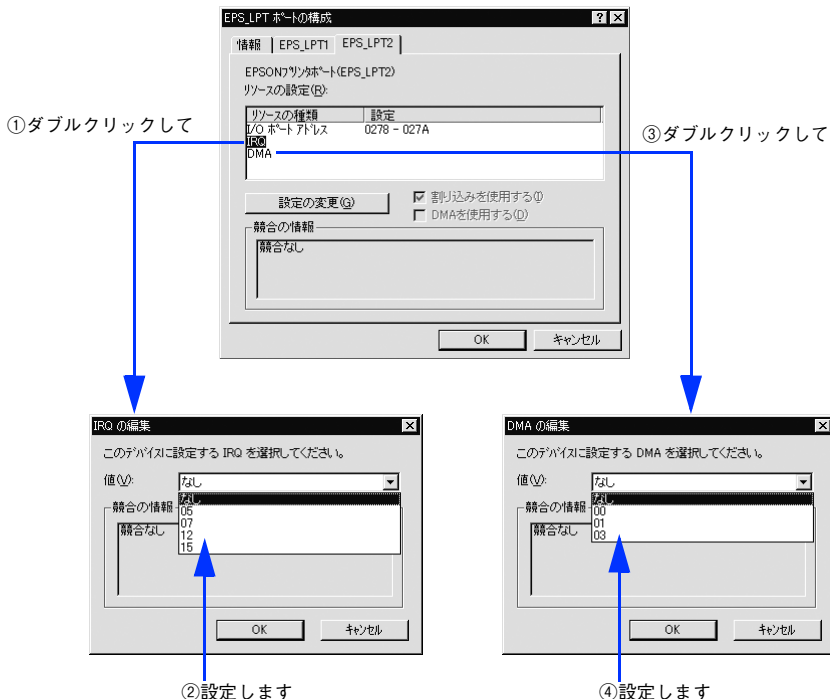
① ［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。
② LP-V1000 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

9 ［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］にチェックを付けます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］をクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の ⑩ へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の ⑩ へ進みます。

⑩ EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順で IRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。

① [ポートの構成] をクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

③ [OK] をクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

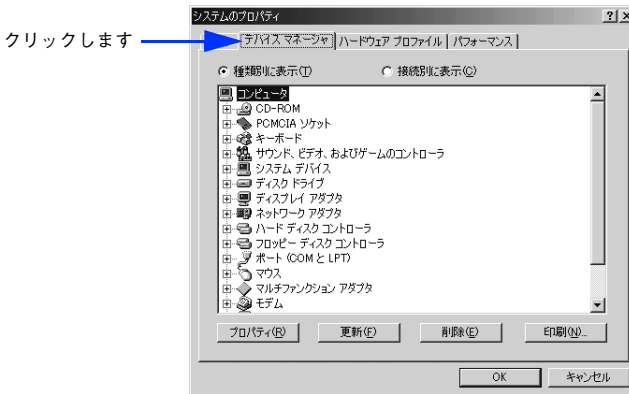
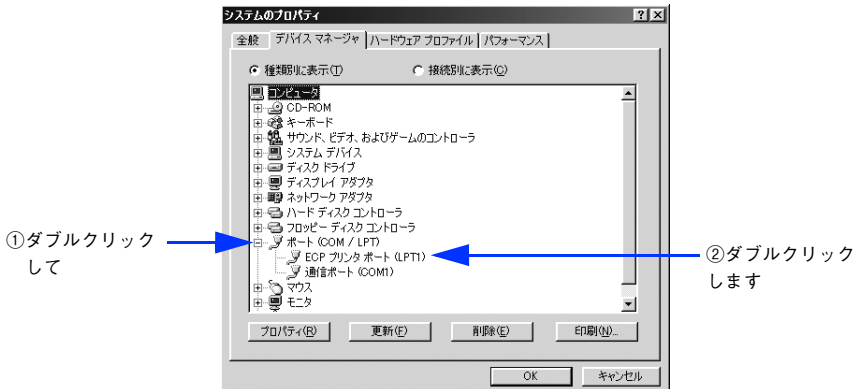
これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

プリンタドライバを再インストールした場合には、⑧ ～ ⑩ に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

Windows 98/Me の設定確認

1. **Windows の［コントロールパネル］を開きます。**
   ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

2. **［システム］アイコンをダブルクリックします。**

3. **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

4. **［ポート（COM/LPT）］をダブルクリックして開き、本機が接続されているポートをダブルクリックします。**
   プリンタの接続先を変更していない場合は［ECP プリンタポート（LPT1)］を選択します。

5 ［リソース］タブをクリックし、［自動設定］にチェックが付いていること、［競合するデバイス］に競合がないことを確認します。

競合するデバイスが表示された場合は、以下の手順で設定を変更してください。
①すべての I/O ポートアドレスをメモ用紙に控えて、［自動設定］のチェックを外します。
②［基にする設定］または［設定の登録名］リストでメモに控えた I/O ポートアドレスと［DMA］、［IRQ］（割り込み要求）の設定が表示される基本設定を探して選択します。

競合デバイスが解消しない場合は、お使いのコンピュータメーカーにお問い合わせください。

6 ［OK］をクリックします。

以上で設定の確認は終了です。

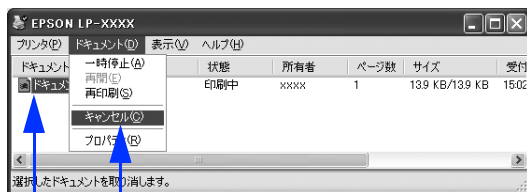
一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA 転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせください。

印刷の中止方法

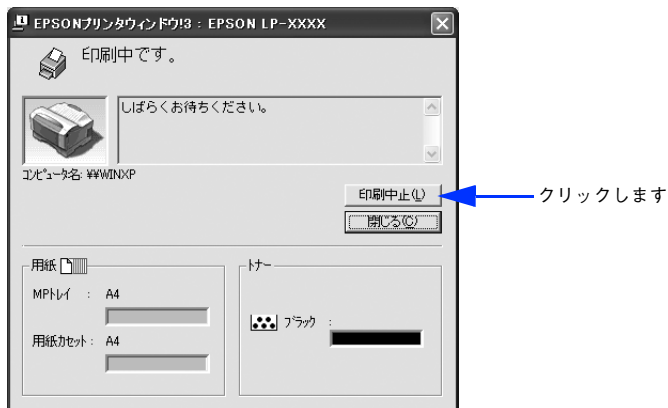
印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データを削除します。

プリンタドライバからの中止方法

1 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2 **中止したい印刷データをクリックして選択し、[ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 からの中止方法

1. プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。
2. ［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。
3. ［EPSON プリンタウィンドウ !3］画面の［印刷中止］をクリックします。

印刷を中止するタイミングによっては、印刷キュー内の他の印刷データを消してしまうことがありますのでご注意ください。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

- USB プリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で本機を USB 接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- Windows 2000/XP/Server 2003 を複数のユーザーで使用している環境で、プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において EPSON プリンタウィンドウ !3 の［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから削除してください。
  本書 61 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

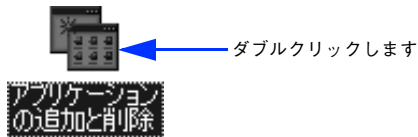
- Windows XP
  ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
- Windows Server 2003
  ［スタート］－［コントロールパネル］にカーソルを合わせます。
- Windows 98/Me/2000
  ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

- **Windows XP/Server 2003 の場合**

  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

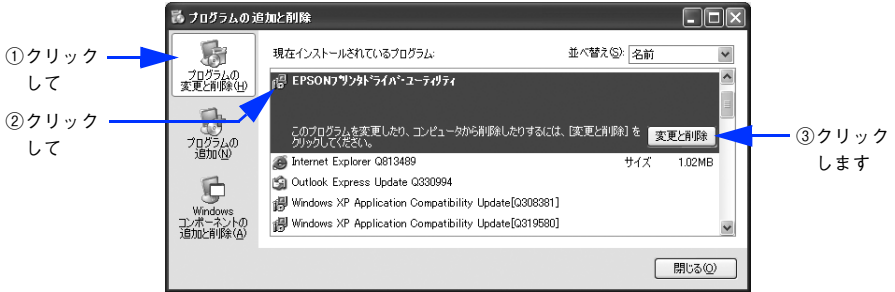
  ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択して［変更と削除］または［追加と削除］をクリックします。**

- **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：**

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

［プログラムの変更と削除］－［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］－［変更と削除］をクリックして以下のページへ進みます。

☞ 本書 93 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

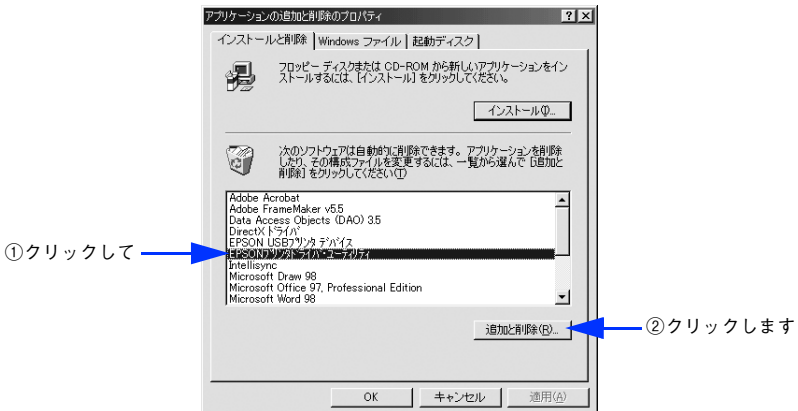
<例> Windows XP の場合

Windows 98/Me の場合

［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］－［追加と削除］をクリックして以下のページへ進みます。

☞ 本書 93 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

<例> Windows 98 の場合

①クリックして

②クリックします

- **USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：**
  ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。［EPSON USB プリンタデバイス］－［追加と削除］をクリックして以下のページへ進みます。
  ☞ 本書 94 ページ「USB プリンタデバイスドライバの削除」

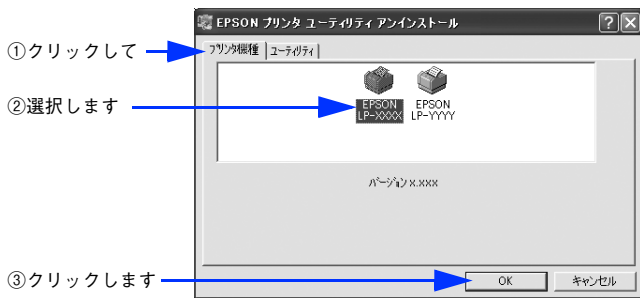
＜例＞ Windows 98 の場合

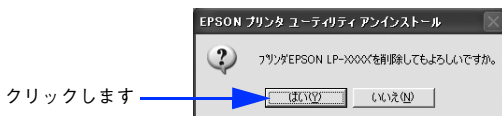
インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。
①コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 91 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ **［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-V1000 のアイコンを選択して［OK］をクリックします。**

❻ **削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。**

削除が始まります。

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら［はい］をクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❼ **終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB プリンタデバイスドライバの削除

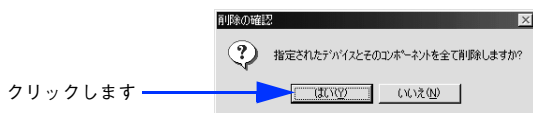
Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

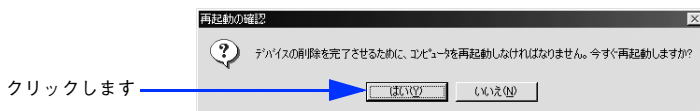
- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USB プリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

91 ページ手順 4 から続けてください。

5 ［はい］をクリックします。

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。

6 ［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。

以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

EPSON プリンタポートの削除

Windows 2000/XP で EPSON プリンタポートを削除するには、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了し、Windows の［スタート］－［すべてのプログラム］/［プログラム］－［EPSON］－［EPSON プリンタポートアンインストール］をクリックして画面の指示に従い、Windows を再起動してください。

Mac OS 9 をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS 9 でお使いの際に関係する情報を説明しています。

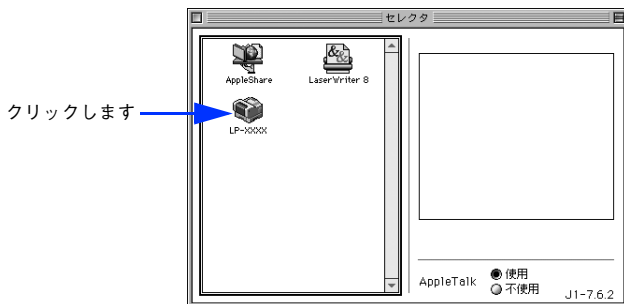
印刷を始める前に

「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［セレクタ］でプリンタを選択する手順を詳しく説明します。なお、オプション製品をプリンタに装着した場合は必ず［セレクタ］でプリンタを再選択してください。

- すでに本機を選択している場合は、再度選択する必要はありません。
- 他のプリンタを選択しない限り、印刷のたびに選択する必要はありません。
- 本機を接続したコンピュータ がネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかのコンピュータから本機を共有することができます。設定については以下のページを参照してください。
  本書 132 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
  本書 137 ページ「プリンタを共有するには」

1 プリンタの電源をオン（ I ）にします。

2 アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。

3 プリンタドライバ［LP-V1000］を選択します。

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

④ USB ポートを選択します。

USB ポートを選択します。同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1)］、［USB ポート（2)］などと表示します。使用するポート番号を選択します。

USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

⑤ ［バックグラウンドプリント］の［入 / 切］を設定して、ダイアログ左上のクローズボックスをクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながらコンピュータでほかの作業ができます。ただし、ご使用のコンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。
- ［セットアップ］をクリックすると、プリンタの基本動作が設定できます。
☞ 本書 132 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

以上でプリンタの選択は終了です。印刷を始めていただけます。
☞ 本書 99 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

用紙設定

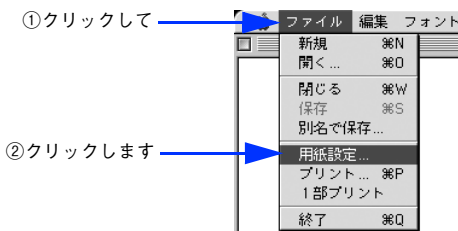
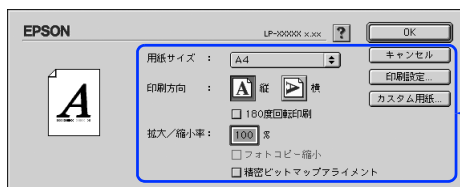
実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText での手順を例に説明します。

用紙設定をする前にセレクタでプリンタドライバ（LP-V1000）を選択してください。

本書 97 ページ「印刷を始める前に」

1. ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして開きます。

2. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）をクリックします。

3. 印刷する用紙サイズや印刷の向きなど必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 107 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
本書 109 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

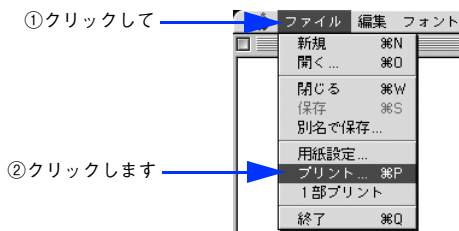
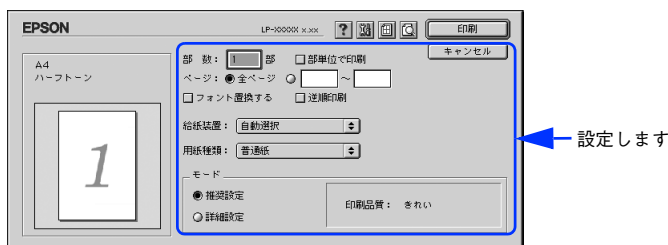
4. ［OK］をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷設定の手順

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」

3 ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

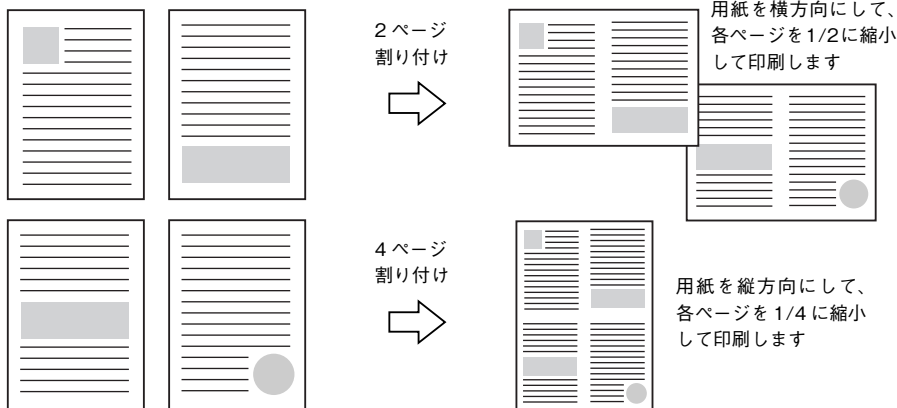
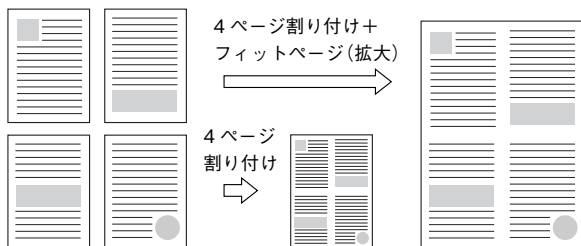
便利な印刷機能

ここでは、本機に搭載されているさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

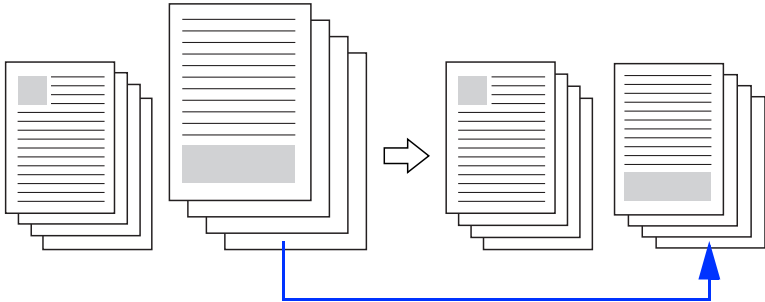
参考

割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

☞ 本書 103 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 122 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

割り付け印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］/［割り付け設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」/115 ページ「⑪（［レイアウト］アイコン）」
本書 120 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
本書 130 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

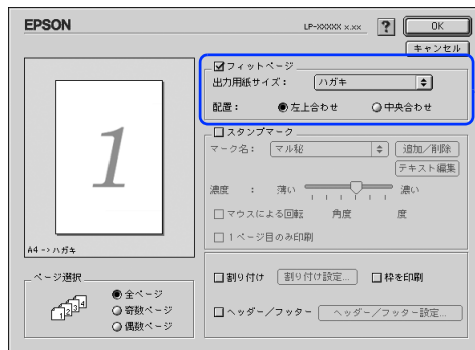
ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

＜例＞縮小して文書のサイズを合わせる

本機の拡大 / 縮小印刷には以下 2 つの方法があります。

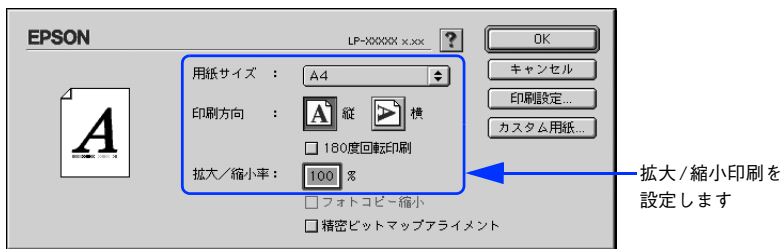
サイズを選択（フィットページ印刷）

元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて（フィットさせて）印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したい場合は、元のページサイズを［A4］に設定して、出力（印刷）に使用する用紙サイズを［ハガキ］に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

拡大 / 縮小印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

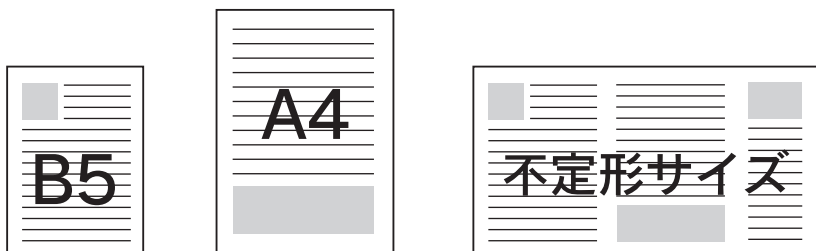
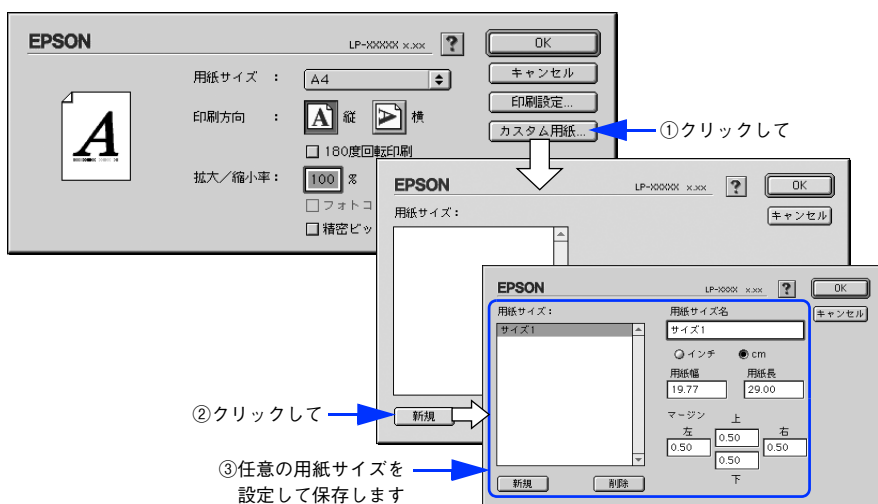
☞ 本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」/115 ページ「⑪（［レイアウト］アイコン）」
☞ 本書 120 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 122 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

拡大 / 縮小率を設定（任意倍率印刷）

拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。[ページ設定] ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 107 ページ「[用紙設定] ダイアログ」
☞ 本書 111 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（カスタム用紙サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは［用紙設定］ダイアログの［カスタム用紙］から設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

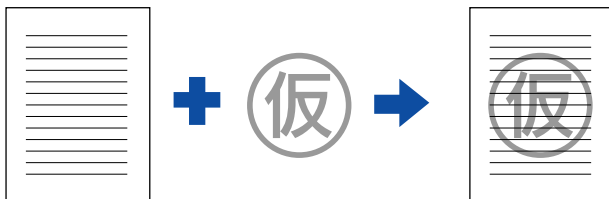
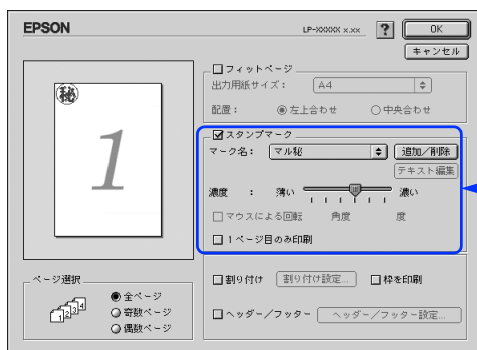
☞ 本書 107 ページ「［用紙設定］ダイアログ」/108 ページ「⑧［カスタム用紙］ボタン」
☞ 本書 109 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

☞ 本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊜」、「重要」、「㊙」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマーク印刷は［プリント］ダイアログから［レイアウト］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

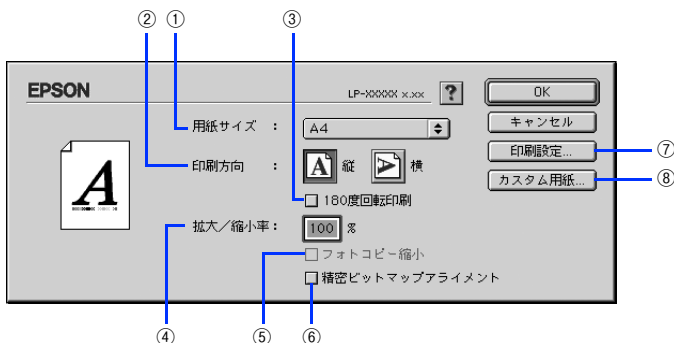
☞ 本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」/115 ページ「⑪（［レイアウト］アイコン）」
☞ 本書 120 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 124 ページ「スタンプマークを印刷するには」

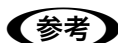
オリジナルスタンプマークの作成

あらかじめ登録されているスタンプマークだけでなく、オリジナルのスタンプマークを作成して登録することもできます。どのようなマークが必要になっても、新たにスタンプを購入する必要がありません。

☞ 本書 126 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

① 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。

本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙に自動的に拡大 / 縮小して印刷（フィットページ印刷）を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。

☞ 本書 122 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

② 印刷方向

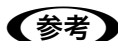
用紙に対する印刷の向きを、［縦］・［横］のいずれかをクリックして選択します。

③ 180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④ 拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

☞ 本書 103 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 111 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷」

フィットページ印刷を行うと、簡単に拡大 / 縮小印刷が行えます。

☞ 本書 122 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

⑤ フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥ 精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。［フォトコピー縮小］を選択している場合は、選択できません。

⑦［印刷設定］ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」

⑧［カスタム用紙］ボタン

用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

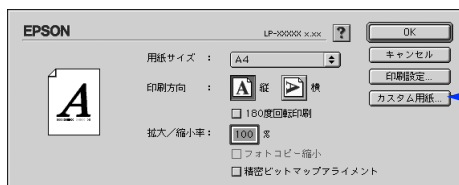
☞ 本書 105 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」
☞ 本書 109 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として 64 件まで登録して印刷することができます。

1 プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを開きます。

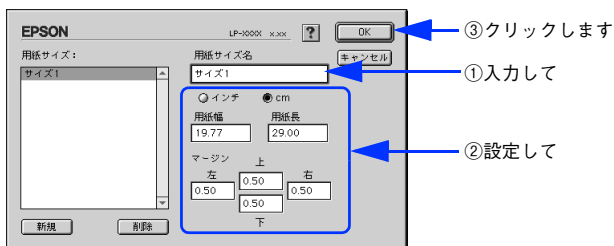
☞ 本書 99 ページ「用紙設定」

2 ［カスタム用紙］をクリックします。

3 ［新規］をクリックします。

- 登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックしてから変更してください。
- 登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックしてから［削除］をクリックしてください。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

4 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］をクリックします。**

設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：10.00 ～ 29.70cm（3.94 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：14.80 ～ 42.00cm（5.83 ～ 16.53 インチ）

これで設定した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

拡大 / 縮小率を自由に設定できる任意倍率印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

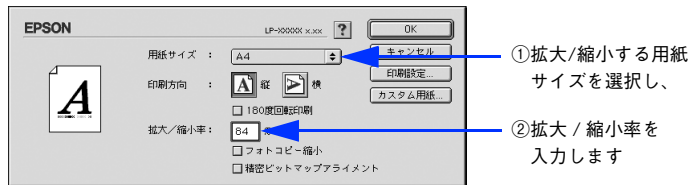
1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大/縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを表示します。

☞ 本書 99 ページ「用紙設定」

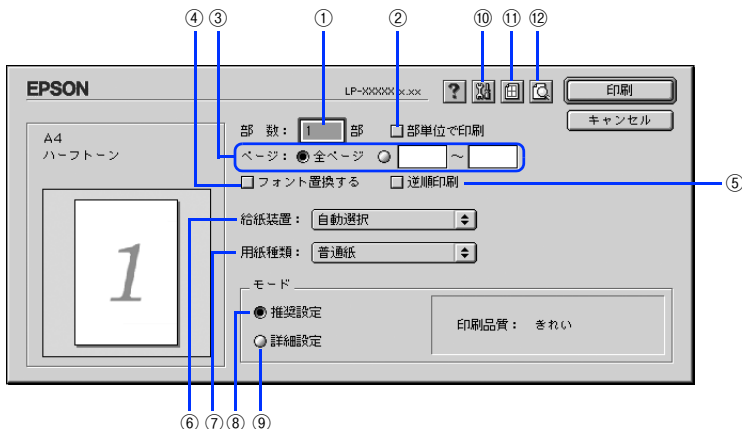
3 拡大 / 縮小印刷に使用する［用紙サイズ］を選択して、［拡大 / 縮小率］に 1 で求めた値を入力します。

25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

［拡大 / 縮小率］に合った［用紙サイズ］を選択してください。以下のような場合は、［用紙サイズ］が［拡大 / 縮小率］に合っていません。

- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認し、［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。

[プリント] ダイアログ

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

① 部数

1 ～ 999 の範囲で印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、②の [部単位で印刷] を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

② 部単位で印刷

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の [部数] で指定します。

③ ページ

すべてのページを印刷する場合は [全ページ] を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

④ フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷するには、クリックしてチェックを付けます。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。

フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いのコンピュータに以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OS の CD-ROM よりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KL ー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB ー等幅

⑤ 逆順印刷

先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑥ 給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	標準の MP トレイから給紙します。
用紙カセット	標準の用紙カセットから給紙します。

- 用紙カセットにセットした用紙のサイズは、用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルで設定します。また、MP トレイの用紙サイズは、「プリンタ設定」ダイアログの［MP トレイ用紙サイズ］で設定します。
  ☞ 本書 135 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  ☞ 本書 118 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙サイズ］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  ☞ 本書 120 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑦ 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
普通紙	• 普通紙タイプの用紙（レターヘッド、再生紙、色付きを含む）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］は［自動選択］が設定されます。
厚紙	• 紙厚が 82 ～ 128g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
OHP シート	• OHP シートに印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑧ 推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。本機は印刷品質（解像度）の設定を常に［きれい］（600dpi）の状態で印刷します。設定は変更できません。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。
- ［拡張設定］ダイアログにある［メモリ不足回避］を有効にする。
  ☞ 本書 118 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑨ 詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、［設定変更］と詳細設定メニューが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	［保存 / 削除］で保存した設定を選択できます。
［設定変更］	［詳細設定］ダイアログを開きます。 本書 116 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］	［詳細設定］ダイアログの設定を保存したり削除できます。 **保存するには** ① あらかじめ［詳細設定］ダイアログで設定しておきます。 ② ［プリンタ］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 EPSON LP-XXXX x.xx 設定リスト 新規 設定確認 ? キャンセル 削除 保存 ③クリックします ［カスタム設定 1 ～ 10］として 10 組まで保存できます。 **削除するには** ① ［プリンタ］ダイアログの［詳細設定］－［保存 / 削除］を順番にクリックします。 EPSON LP-XXXXX x.xx 設定リスト 新規 カスタム設定1 設定確認 印刷品質：高品質 フォント置換：しない トナーセーブ：オフ グラフィック：ハーフトーン 画像調整：1 明暗調整：3 ? キャンセル 削除 保存 ②削除する設定名をクリックして ③クリックします ④ 確認ダイアログで［OK］をクリックします。

⑩ ([拡張設定] アイコン)

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行います。

本書 118 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

⑪ ([レイアウト] アイコン)

レイアウトに関する設定ができます。

本書 120 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

⑫ ([プレビュー] アイコン)

アイコンをクリックすると［印刷］が［プレビュー］に変わります。[プレビュー] をクリックすると、[プレビュー] ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

※※※ EPSON LP-XXXX 用プリンタドライバについて ※※※

このファイルには EPSON LP-XXXX プリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
詳しい取り扱いに関しては、取扱説明書を参照してください。

--- インストーラについて ---
■ウイルス感染防止プログラムが起動していると、正常にインストーラプログラムが動作しません。ウイルス感染防止プログラムをオフにしてから、インストールを開始して下さい。

--- プリンタフォント使用機能について ---
■プリンタフォントを使用して印刷する場合、文字と図形等を重ねて印刷すると、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、“プリンタフォント使用” のチェックをはずしてください。
■回転文字を印刷する場合、アプリケーションによってはプリンタフォントを使用できないものがあります。
■特殊文字（省略記号、単位、装飾文字、装飾英字、ローマ字、ギリシャ文字、ロシア文字、罫線の文字）を “プリンタフォント使用” で印刷した場合、正しく印字されない場合があります。この場合、“プリンタフォント使用” のチェックをはずしてください。
■180度回転を設定した場合、プリンタフォントは使用できません。

--- プレビュー機能について ---
■180度回転はプレビューに反映されません。
■図形やイメージなどの下に文字があるデータの場合、実際の印刷とプレビューが異なる場合があります。

--- その他 ---
■セレクタのセットアップの最高解像度を「高解像度」に設定した場合、アプリケーションによっては正常に印刷できない場合があります。この場合、最高解像度を「標準」にしてください。
■他のプリンタを使用して作成した文書を印刷する場合、印刷方向以外は初期設定になります。この場合の用紙サイズは A4になります。

- [用紙設定] ダイアログで [180 度回転印刷] を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- データや印刷設定によっては、プレビューと印字結果が異なる場合があります。

	表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。
1 / 3	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	[プレビュー] ダイアログを閉じるボタンです。
印刷	印刷を開始するボタンです。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを拡大して表示します。

［詳細設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード］で［詳細設定］－［設定変更］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

① グラフィック

グラフィックスイメージを処理する方法を選択します。

項目	説明
白黒	モノクロ印刷を行います。グレースケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

画像調整：

［ハーフトーン］選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 2 段階に調整できます。［細かい］側にスライドするとより細かく、［粗い］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

［細かい］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になる場合があります。コピーをする場合は、［細かい］にしないで印刷することをお勧めします。

明暗調整：

［ハーフトーン］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［薄い］側にスライドするとより明るく、［濃い］側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。5 段階に調整できます。

② 印刷品質

本機は、印刷品質（解像度）の設定を常に［きれい］（600dpi）の状態で印刷します。設定は変更できません。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。
- 印刷データの容量や色数を減らす。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。
- ［拡張設定］にある［メモリ不足回避］を有効にする。
  本書 118 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

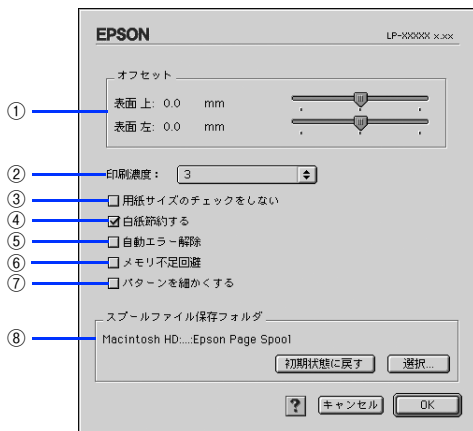
③ フォント置換する
細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷するには、クリックしてチェックを付けます。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。

フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いのコンピュータに以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OS の CD-ROM よりインストールしてお使いください。
- リュウミンライト－ KL、リュウミンライト－ KL －等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB －等幅

④ トナーセーブ
印刷濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

① オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

② 印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

③ 用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

④ 白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑤ 自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑥ メモリ不足回避

プリンタにメモリ不足が発生した場合にチェックしてください。チェックすると印刷品質を落として印刷するため、エラーを回避できることがあります。

⑦ パターンを細かくする
網掛け等のパターンを細かくする場合にチェックします。

⑧ スプールファイル保存フォルダ
印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

項目	説明
［選択］	［拡張設定］ダイアログで［選択］をクリックして以下の画面を表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］をクリックします。 ①選択して　Epson Page Spool　Macintosh HD　取り出し　デスクトップ　新規　キャンセル　選択 "Epson Page Spool"　選択　②クリックします
［初期状態に戻す］	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

[レイアウト] ダイアログ

[プリント] ダイアログで [レイアウト] アイコンをクリックすると、[レイアウト] ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。

① ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

② フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

本書 103 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
本書 122 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

- 拡大 / 縮小の倍率は [用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- [用紙設定] ダイアログの [拡大 / 縮小率] は無効になります。
  本書 107 ページ「[用紙設定] ダイアログ」

③ スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

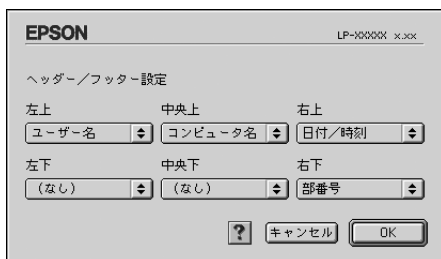
本書 106 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
本書 124 ページ「スタンプマークを印刷するには」
本書 126 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④ 割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

本書 101 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
本書 130 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

⑤ ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、[ヘッダー / フッター設定] をクリックします。

[ヘッダー / フッター設定] ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、[OK] をクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷

本機にセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷することができます。[レイアウト] ダイアログ内のフィットページ機能を使います。

① 出力用紙サイズ

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。

② 配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

- 拡大 / 縮小の倍率は [用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- [用紙設定] ダイアログの [拡大 / 縮小率] は無効になります。
  本書 107 ページ「[用紙設定] ダイアログ」

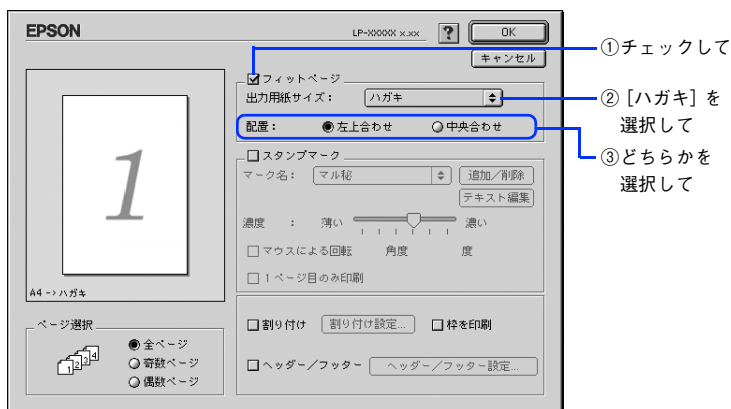
フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

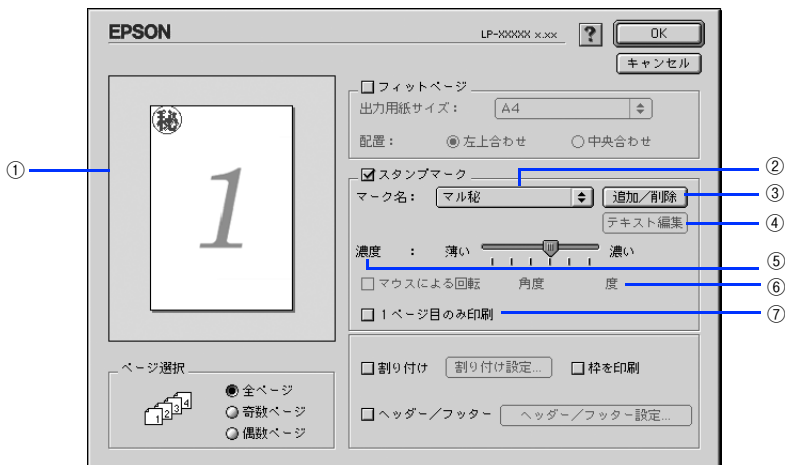
1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**
本書 100 ページ「印刷設定の手順」

3. **をクリックします。**
［レイアウト］ダイアログが表示されます。

4. **［フィットページ］をチェックして、各項目を選択します。**
この場合［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

5. **［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログのスタンプマーク機能を使用します。

① プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

② マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ（PICT * 画像 ）マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

* PICT：Mac OS の標準グラフィックファイル形式。

☞ 本書 126 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］をクリックすると、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤ 濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥ マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてプレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］に回転角度を直接入力します。

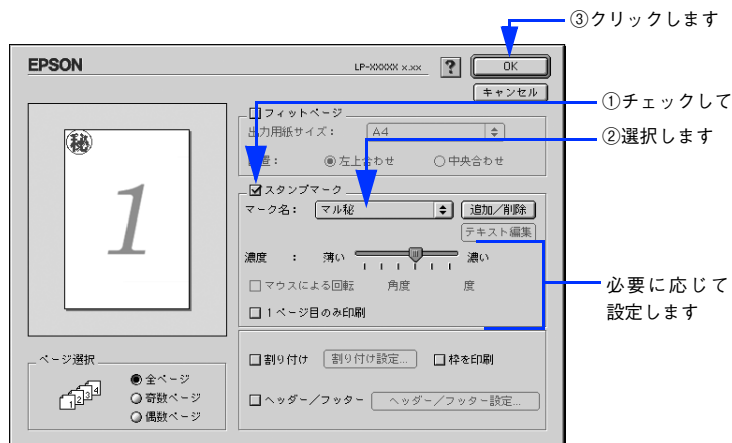
⑦ 1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**
   本書 100 ページ「印刷設定の手順」

2. **をクリックします。**
   ［レイアウト］ダイアログが表示されます。

3. **［スタンプマーク］をチェックして、各項目を設定します。**

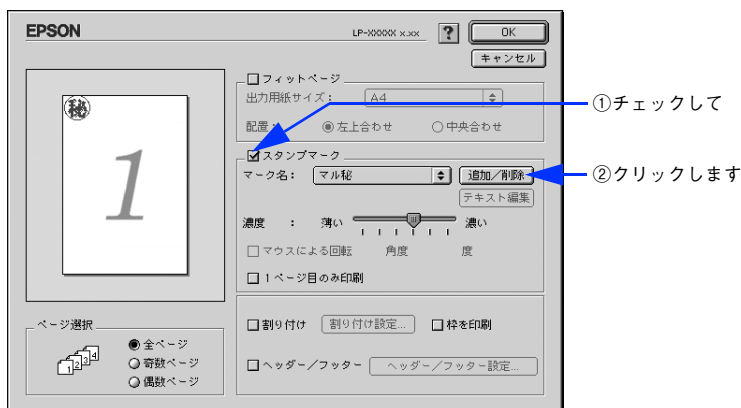
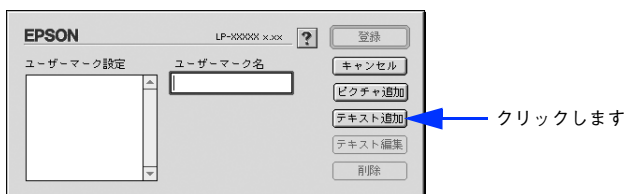
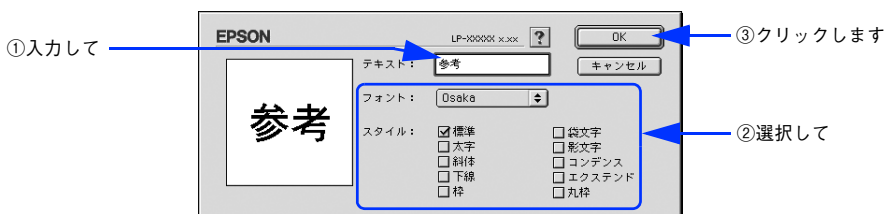
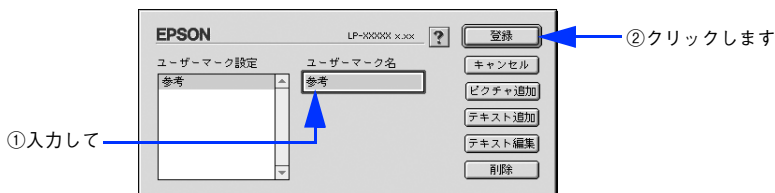
4. **［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、お好みの画像や任意の単語を 32 個まで登録して印刷することができます。

- 画像を登録したい場合は、以下の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は PICT だけです。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をチェックしてから、［追加／削除］をクリックします。

2 ［テキスト追加］をクリックします。

3 ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］をクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］をクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

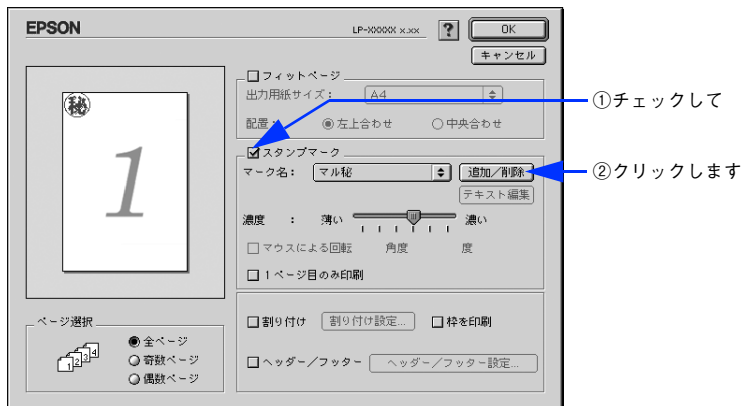
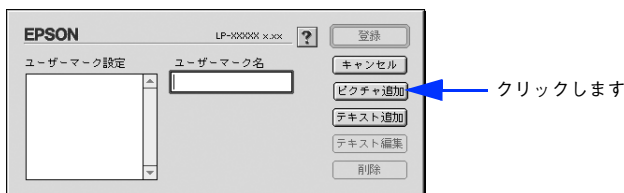
- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］をクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］をクリックします。

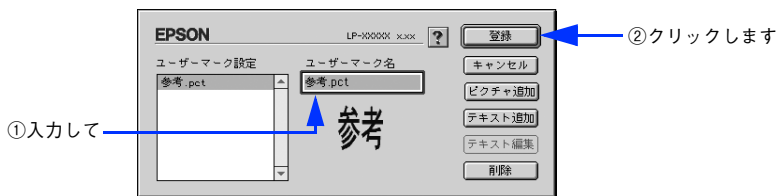
画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

画像マークの登録方法

1. アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をチェックし、［追加 / 削除］をクリックします。

3. ［ピクチャ追加］をクリックします。

4. ❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］をクリックします。
［作成］をクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

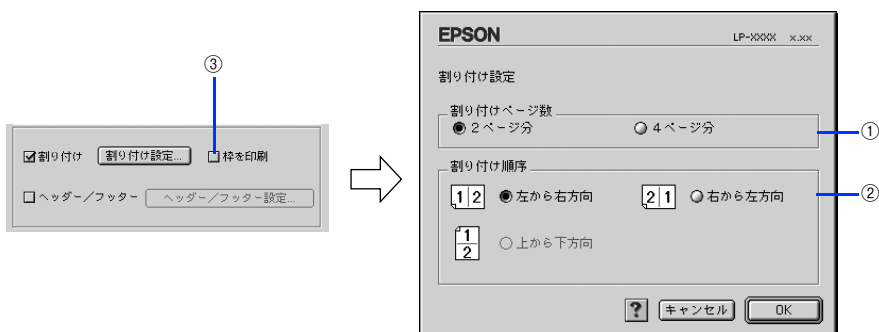
5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］をクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］をクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］－［割り付け設定］をクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

① **割り付けページ数**
1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

② **割り付け順序**
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

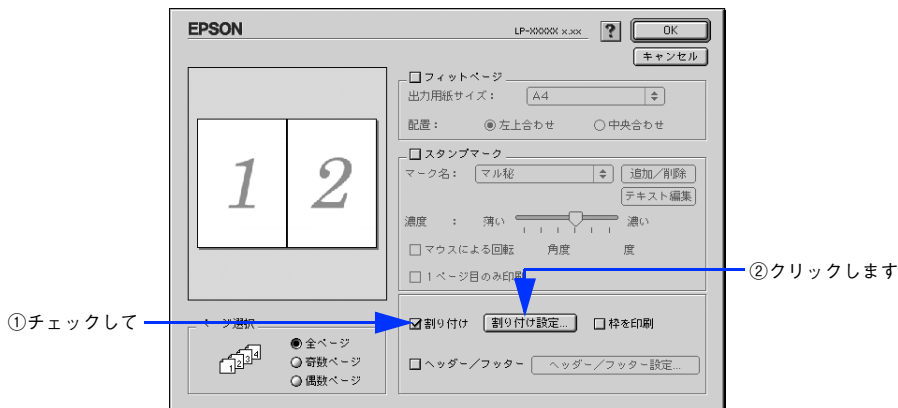
③ **枠を印刷**
割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

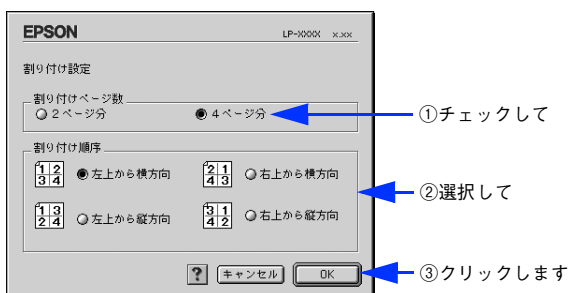
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**
本書 100 ページ「印刷設定の手順」

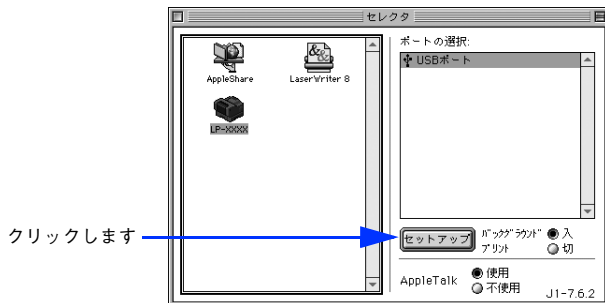
2 **をクリックします。**
［レイアウト］ダイアログが表示されます。

3 ［割り付け］をチェックして、［割り付け設定］をクリックします。

4 ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

5 ［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。

［プリンタセットアップ］ダイアログ

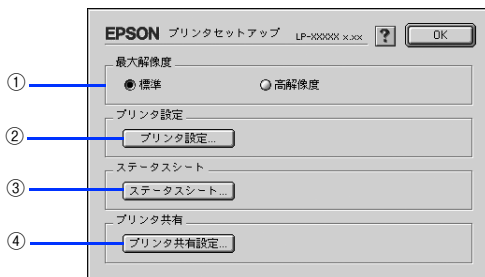
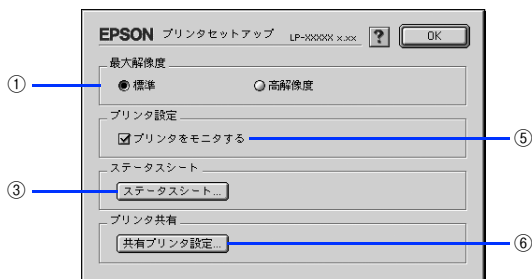
［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。以下のページを参照してアップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］をクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。

☞ 本書 97 ページ「印刷を始める前に」

印刷中は設定を変更できません。

本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可するコンピュータ側と共有プリンタを使用する側のコンピュータで、表示されるダイアログが以下のように異なります。

Mac OS 9 でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。

☞ 本書 137 ページ「プリンタを共有するには」

共有を許可する側のコンピュータ

共有プリンタを使用する側のコンピュータ

① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を 72dpi/300dpi/600dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。

②［プリンタ設定］ボタン

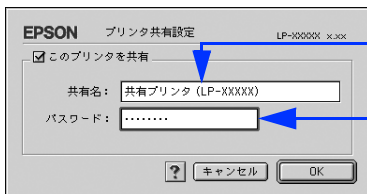
このボタンをクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、プリンタのさまざまな機能が設定できます。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 135 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

③［ステータスシート］ボタン

ステータスシートを印刷する場合にクリックします。

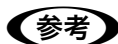
④［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数のコンピュータで共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側のコンピュータで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］をクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させます。ネットワーク上のほかのコンピュータのセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。

⑤ プリンタをモニタする

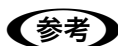
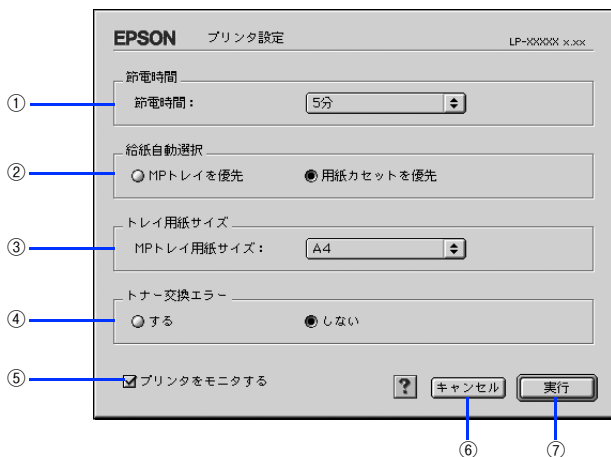
共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

⑥［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側のコンピュータで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］をクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］をクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

［プリンタ設定］ダイアログ

セレクタから［プリンタセットアップ］ダイアログを開き、［プリンタ設定］をクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。

設定を変更した場合は、必ず［実行］をクリックしてダイアログを閉じてください。

① 節電時間

節電状態に入るまでの時間＊（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 5 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

＊　OFF（節電しない）の設定はできません。

② 給紙自動選択

［プリント］ダイアログの［給紙装置］が［自動選択］に設定され、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、どちらの給紙装置を優先して給紙するかを設定できます。

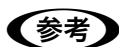
- ［MP トレイを優先］に設定した場合、MP トレイを優先します。
- ［用紙カセットを優先］に設定した場合、用紙カセットを優先します。（初期設定）

③ トレイ用紙サイズ（MP トレイ用紙サイズ）

MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。

④ トナー交換エラー
トナーがなくなった場合の対応を設定できます。

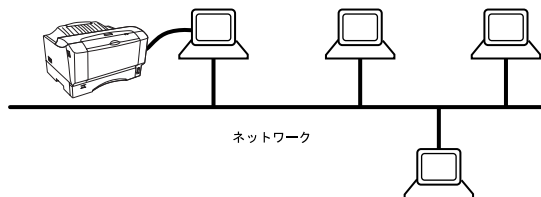
- ［しない］に設定した場合、トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。（初期設定）
- ［する］に設定した場合、トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑤ プリンタをモニタする
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

［バックグラウンドプリント］を［切］に設定すると、EPSON プリンタウィンドウ !3 はプリンタの監視をしなくなります。

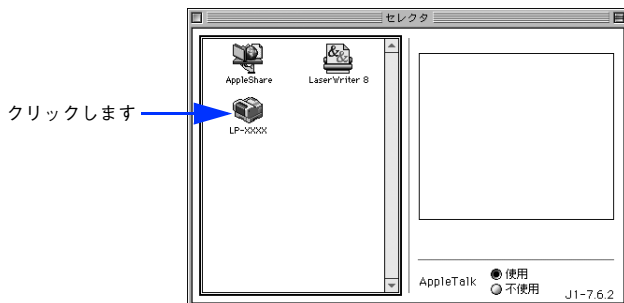
⑥［キャンセル］ボタン
変更した設定を無効にします。

⑦［実行］ボタン
設定を変更した場合は必ずクリックしてください。設定値が本機に書き込まれて有効となります。

プリンタを共有するには

プリンタを直接接続したコンピュータがネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかのコンピュータから共有することができます。

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続したコンピュータで以下の設定を行ってください。

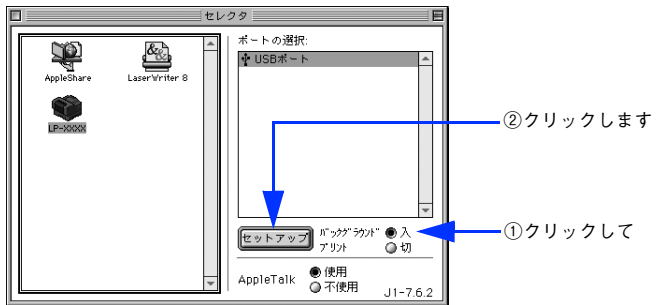
1. **プリンタの電源をオン（ I ）にします。**
2. **Mac OS 9 を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3. **プリンタドライバ［LP-V1000］を選択します。**

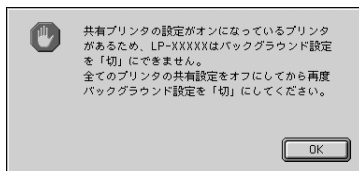
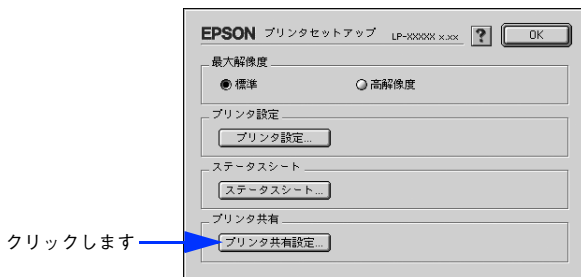
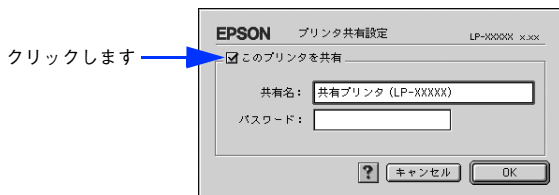
QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
本書 339 ページ「Mac OS システム条件」

❹ USB ポートを選択します。

同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。

USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

❺ ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定して、［セットアップ］をクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 148 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］をクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 132 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

6 ［プリンタ共有設定］をクリックします。

7 ［このプリンタを共有］をチェックします。

8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。

- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、必ず［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXXX）」を作成しています。しばらくお待ちください。

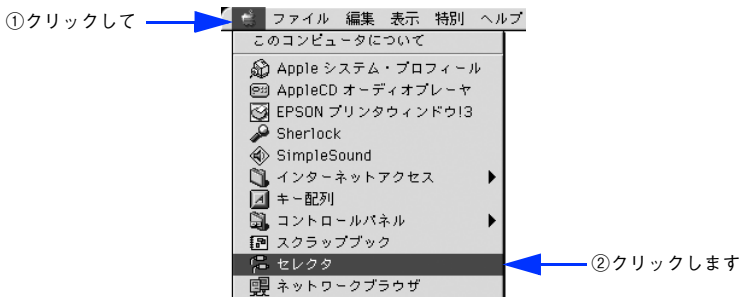
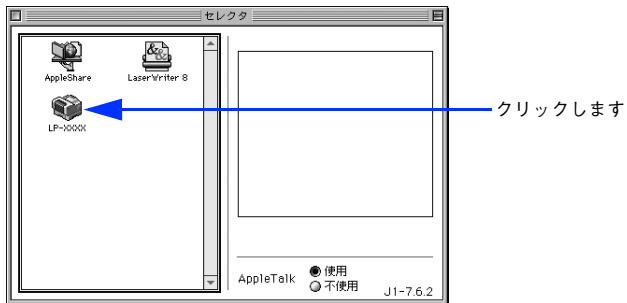
9 ［OK］をクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

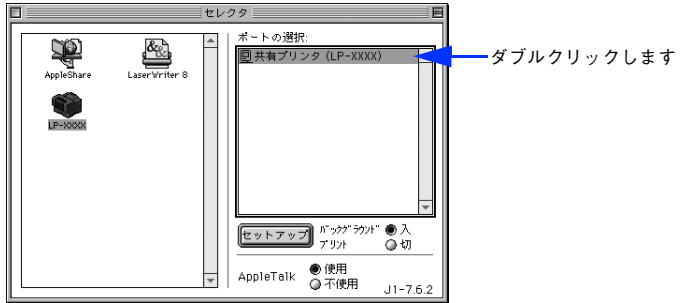
共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーのコンピュータから以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

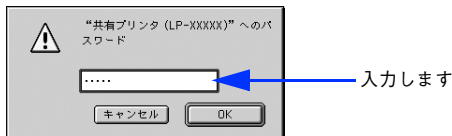
1. **ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（Ｉ）になっていることを確認します。**

2. **Mac OS 9 を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3. **プリンタドライバ［LP-V1000］を選択します。**

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
☞ 本書 339 ページ「Mac OS システム条件」

❹ 共有プリンタをダブルクリックして選択します。

- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、❺ へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、❻ へ進んでください。

- 共有プリンタの名前は、共有を許可しているコンピュータのユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、［セットアップ］を押すと［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。❻ へ進んでください。

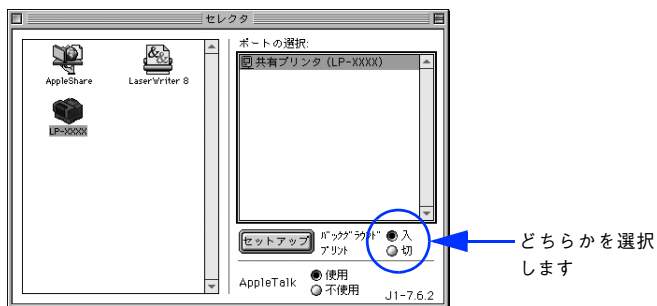
❺ 共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。

共有プリンタのパスワードは、共有を許可しているコンピュータのユーザーにお尋ねください。

6 **［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］をクリックしてダイアログを閉じます。**

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 132 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

7 **［バックグラウンドプリント］を設定します。**

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 148 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながらコンピュータでほかの作業ができます。ただし、ご使用のコンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 **［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。**

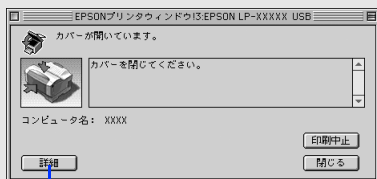
以上で共有プリンタに接続しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

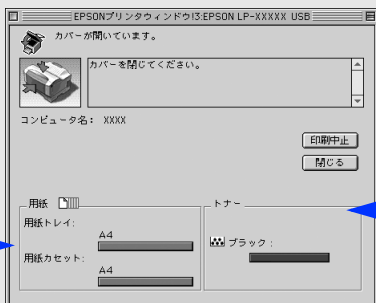
プリンタの状態をコンピュータでモニタするには

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

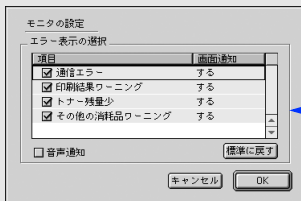
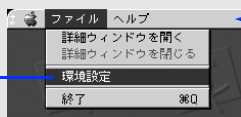
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

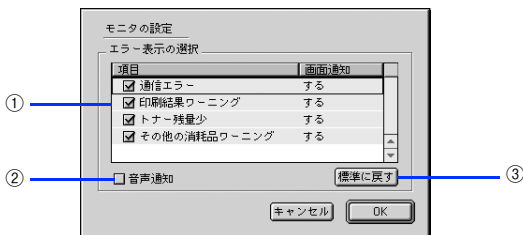
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

［アップル］メニューの EPSON プリンタウィンドウ !3 から［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような場合にエラー表示するかなどを設定できます。

［ファイル］メニューの［環境設定］から［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなど EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定できます。

① エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択してチェックを付けます。チェックを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが表示されます。

② 音声通知

エラー発生時に音声 * でも通知します。

*　お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）場合のみ。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を初期設定に戻します。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することが可能です。

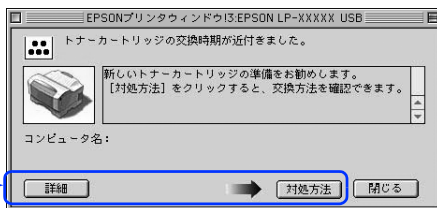
本書 146 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ［詳細］をクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］が表示されたときに、このボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

① アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

② プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を表示し、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞ 本書 147 ページ「対処が必要な場合は」

③ コンピュータ名

現在印刷中のコンピュータ名を表示します。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

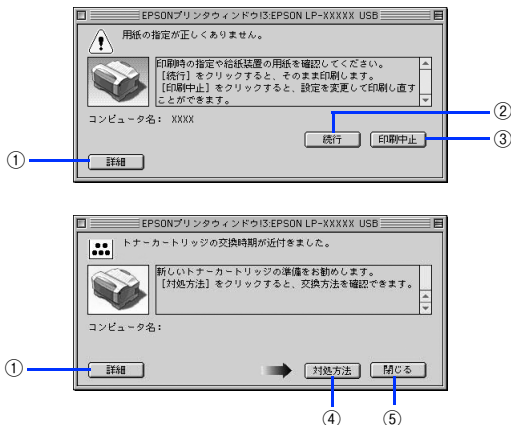
⑥ 用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

⑦ トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に表示されます。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

①［詳細］ボタン

［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

☞ 本書 146 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［続行］ボタン：

表示されているエラーを無視して印刷を続行します。続行すると画面と異なる状態で印刷されたり、エラーの発生したページが印刷されないことがあります。

③［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

④［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

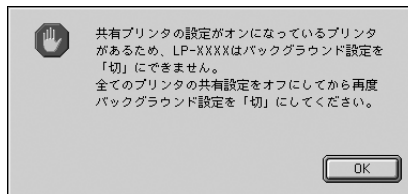
⑤［閉じる］ボタン

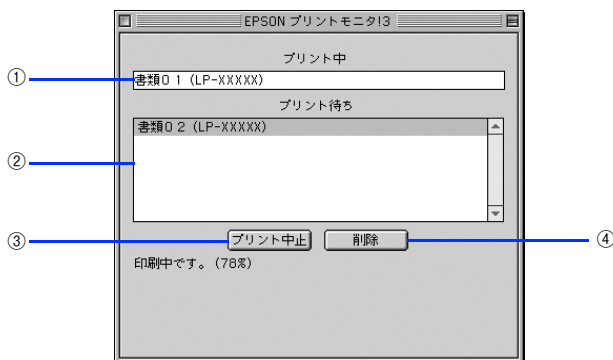
ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、コンピュータがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。

バックグラウンドプリントを行う場合は、Mac OS 9 ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

- ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中もコンピュータで他の作業ができますが、コンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。
- プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が起動します。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

① プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

② プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。

印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

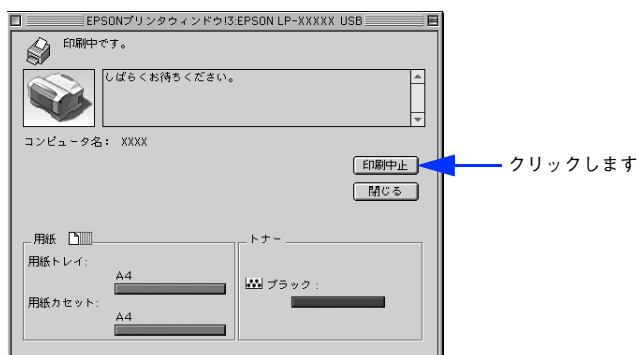
④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイルをクリックして、［削除］をクリックします。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

- **コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- **EPSON プリンタウィンドウ !3 から印刷を中止します。**
  EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウを開いて［印刷中止］をクリックします。
  ☞ 本書 145 ページ「プリンタの状態を確かめるには」

! 注意	印刷を中止するタイミングによっては、印刷キュー内の他の印刷データを消してしまうことがありますのでご注意ください。

- **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSONプリンタモニタ!3から印刷を中止します。**

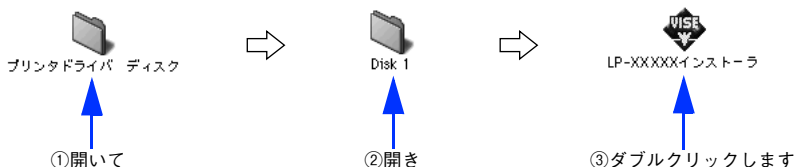
① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
② EPSON プリントモニタ !3 で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
☞ 本書 149 ページ「印刷状況を表示する」

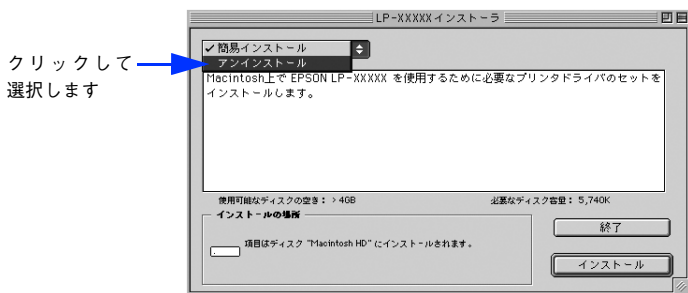
プリンタソフトウェアの削除方法

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタソフトウェアをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

1. **起動しているアプリケーションソフトを終了します。**

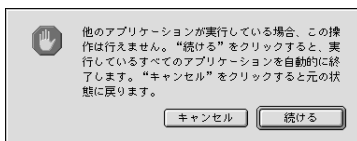
2. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

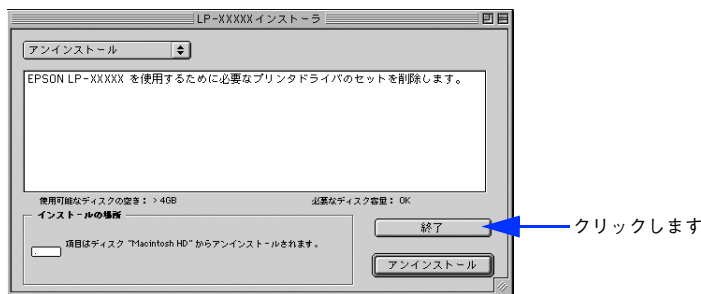
3. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［プリンタドライバ ディスク］-［Disk1］の順に開き、［LP-V1000 インストーラ］をダブルクリックします。**
   ［プリンタドライバ ディスク］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

4. **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5. **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

6 ［アンインストール］をクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参考

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。
アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［終了］をクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

Mac OS X をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS X（v10.2 以降）でお使いの際に関係する情報を説明しています。

印刷を始める前に

Mac OS X をお使いの方へのお願い

- Mac OS X でのご利用にあたっては、OS あるいはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細については下記ホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support
- プリンタドライバに依存しないOSの機能については、Mac OS Xの説明書やヘルプも参照してください。

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加

「セットアップガイド」（紙マニュアル）の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］にプリンタを追加する手順を詳しく説明します。オプション製品をプリンタに装着した場合は、OS バージョンに応じて以下のように追加してください。

- Mac OS X v10.2：［プリントセンター］にプリンタを再度追加してください（古いプリンタは新しいプリンタに置き換わります）。
- Mac OS X v10.3：［プリンタ設定ユーティリティ］から一旦プリンタを消して、再度追加し直してください。

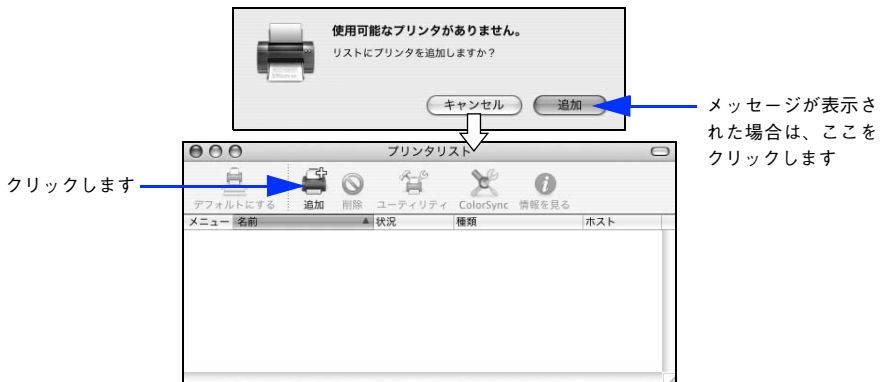
- すでに本機を追加している場合は、再度追加する必要はありません。
- 追加したプリンタを削除しない限り、印刷のたびに追加する必要はありません。
- 複数のプリンタを追加している場合は、通常（デフォルトで）使うプリンタを選択できます（プリンタはアプリケーションソフトの［プリント］ダイアログからも選択できます）。
- Mac OS X のバージョンによって、［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X v10.3 以降）、［プリントセンター］（Mac OS X v10.2）と名称が異なります。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.3 の画面を使用しています。

1. **プリンタの電源をオン（｜）にします。**

2. **［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］をダブルクリックします。**

Mac OS X v10.3 以降の場合は、［システム環境設定］で［プリントとファックス］をクリックして、［プリント］ダイアログの［プリンタを設定 ...］をクリックしても［プリンタ設定ユーティリティ］が開きます。詳しくは、Mac OS X のヘルプをご覧ください。

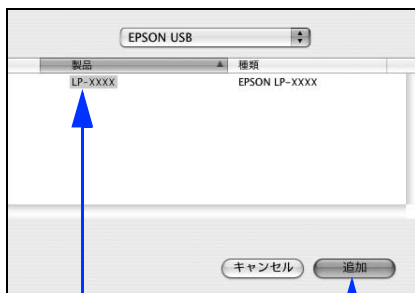
3. **［追加］をクリックします。**

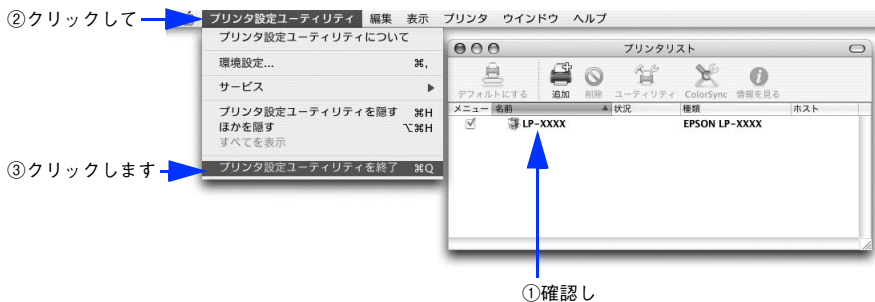
- 使用可能なプリンタがない場合は、メッセージが表示されることがあります。メッセージ画面の［追加］をクリックして ❹ へ進みます。
- USB 接続でプリンタ（LP-V1000）が追加されていない場合は、［追加］をクリックして ❹ へ進みます。
- プリンタ（LP-V1000）がすでに追加されていれば、［追加］をクリックしないでそのまま ❻ へ進みます。

- Mac OS X v10.2 で USB 接続の場合、電源オンで自動的にプリンタは追加されます（プリンタ名が表示されます）。そのまま ❻ へ進んでください。
- Mac OS X v10.3 以降の場合は、USB 接続でも自動的に追加されません。❹ へ進んで手順通りに手動で追加してください。

❹ ［EPSON USB］または［USB］を選択します。

選択します

プリンタ名がリストに表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

❺ お使いのプリンタ名（LP-V1000）を選択して、［追加］をクリックします。

①選択して　②クリックします

6 プリンタ名（LP-V1000）がリストに登録されたことを確認して、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］/［プリントセンターを終了］をクリックします。

- 複数のプリンタを追加している場合は、通常使うプリンタ（デフォルトプリンタ）として追加されます。
- デフォルトプリンタを変更するには、プリンタの名前をクリックして［デフォルトにする］をクリックします（プリンタ名が太文字で表示されます）。
- 印刷時に［プリント］ダイアログで別のプリンタを選択すると、そのプリンタが新しいデフォルトプリンタになります。
- すでに追加してあるプリンタ名を選択して［削除］をクリックすると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からは消えますが、プリンタドライバそのものは削除されずに残っています。

以上でプリンタの追加は終了です。印刷を始めることができます。

本書 158 ページ「印刷の手順」

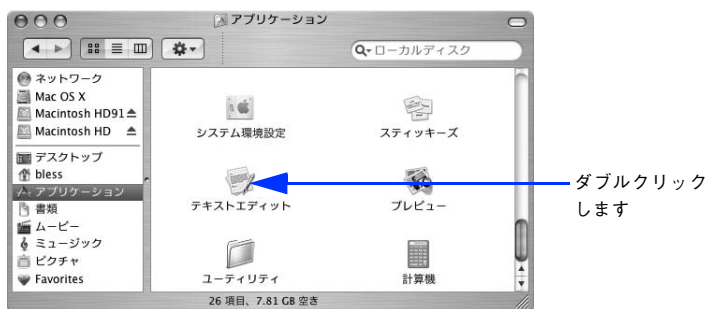
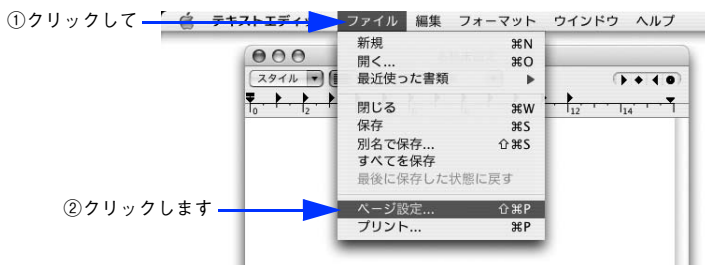
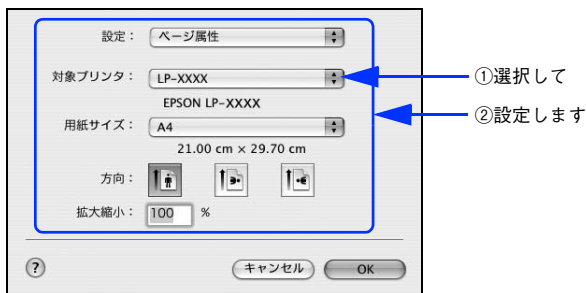
印刷の手順

ページ設定

実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、「テキストエディット」を例に説明します。

用紙設定をする前に、お使いのプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に登録されているか確認してください。
本書 154 ページ「印刷を始める前に」

1 ［アプリケーション］フォルダ内の［テキストエディット］アイコンをダブルクリックして起動します。

すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして開きます。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。

3 ［対象プリンタ］メニューからお使いのプリンタ（LP-V1000）を選択して、印刷する用紙サイズや印刷の向きなど必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
本書 165 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

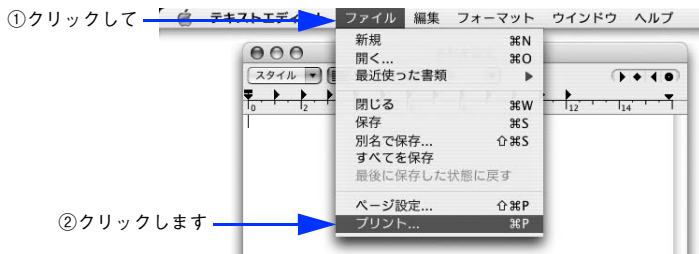
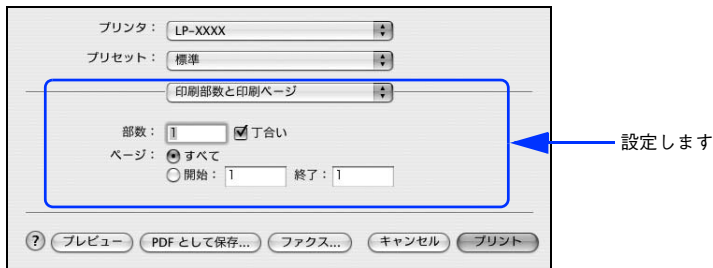
4 ［OK］をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

プリント設定

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

2 **印刷に必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 169 ページ「[プリント] ダイアログ」
☞ 本書 170 ページ「[印刷部数と印刷ページ] ダイアログ」
☞ 本書 171 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
☞ 本書 173 ページ「[出力オプション] ダイアログ」
☞ 本書 174 ページ「[スケジューラ] ダイアログ」
☞ 本書 175 ページ「[用紙処理] ダイアログ」
☞ 本書 177 ページ「[プリンタの設定] ダイアログ」
☞ 本書 182 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ 本書 180 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」
☞ 本書 184 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」
☞ 本書 185 ページ「[一覧] ダイアログ」

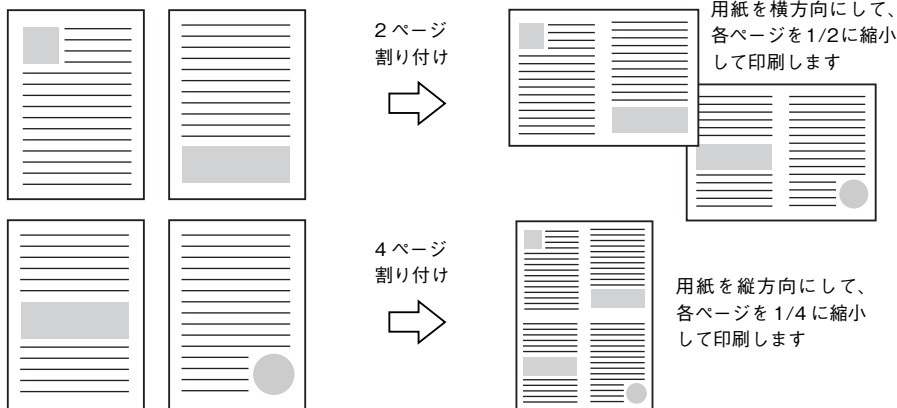
[スケジューラ]、[用紙処理]、[ColorSync] ダイアログなど、Mac OS X が用意するダイアログは、バージョンによって利用できない場合があります。

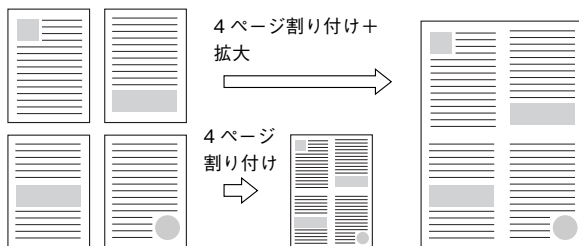
3 **[プリント] をクリックして、印刷を実行します。**

便利な印刷機能

ここでは、本機で利用できるさまざまな機能のうち、便利な印刷機能の概略をまとめて紹介します。

割り付け印刷で用紙を節約

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総用紙枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

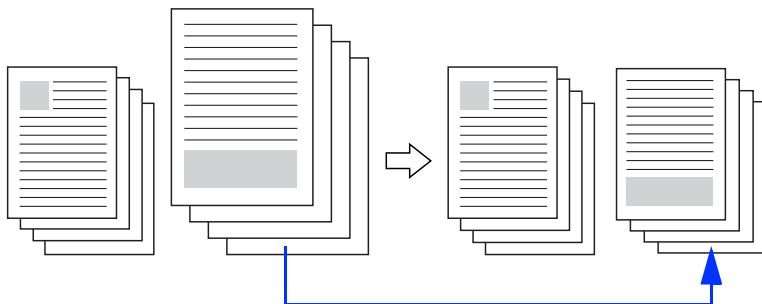
割り付け印刷は、連続した 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して元の指定サイズの用紙に割り付けて印刷します。例えばハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能を同時に使用して、大きな A4 サイズなどの大きなサイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

☞ 本書 163 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 168 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

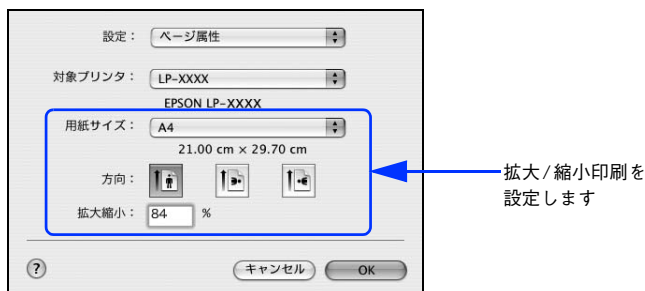
割り付け印刷は［プリント］－［レイアウト］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 171 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 172 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

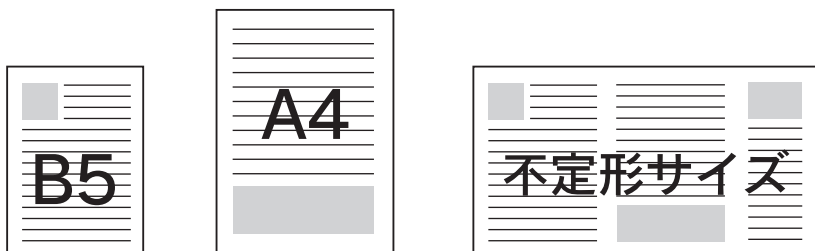
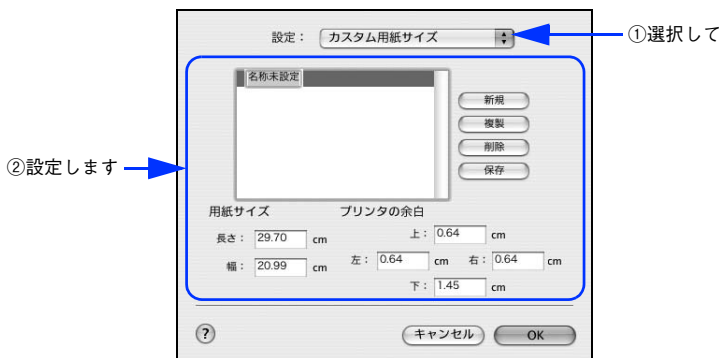
ページを拡大または縮小して印刷

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

＜例＞縮小して文書のサイズを合わせる

拡大 / 縮小印刷は［ページ設定］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 165 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
☞ 本書 168 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（カスタム用紙サイズ）として登録しておくことができます。

不定形紙サイズは［ページ設定］－［カスタム用紙サイズ］ダイアログを開いて設定してください。

機能の詳細や設定手順は、以下のページを参照してください。

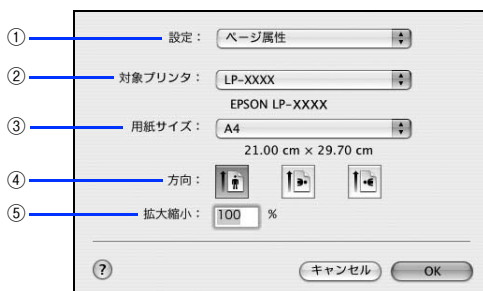
☞ 本書 165 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
☞ 本書 166 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

定義した不定形紙サイズは、［ページ設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

☞ 本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

［ページ設定］ダイアログ

［ページ設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

① 設定

［ページ属性］、［カスタム用紙サイズ］、［一覧］ダイアログを切り替えます。

項目	説明
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大・縮小率を設定します。
カスタム用紙サイズ	用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙サイズ］メニューから選択できます。 ☞ 本書 164 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」 ☞ 本書 166 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
一覧	［ページ設定］ダイアログの設定一覧を確認できます。

② 対象プリンタ

どのプリンタを対象にページ属性を設定するか、プリンタ名を選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリンタ設定ユーティリティ］／［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

③ 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

④ 方向

用紙に対する印刷の向きをクリックして選択します。

⑤ 拡大縮小

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。

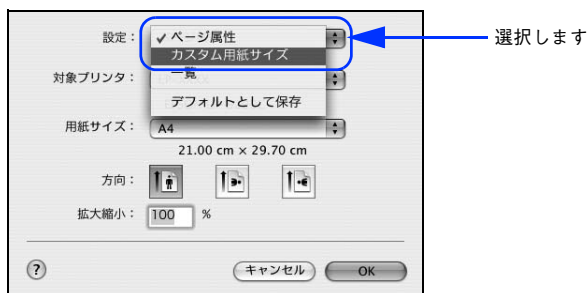
☞ 本書 163 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ 本書 168 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズをカスタム用紙サイズとして登録することができます。

1 **プリンタドライバの［ページ設定］ダイアログを開きます。**

☞ 本書 158 ページ「ページ設定」

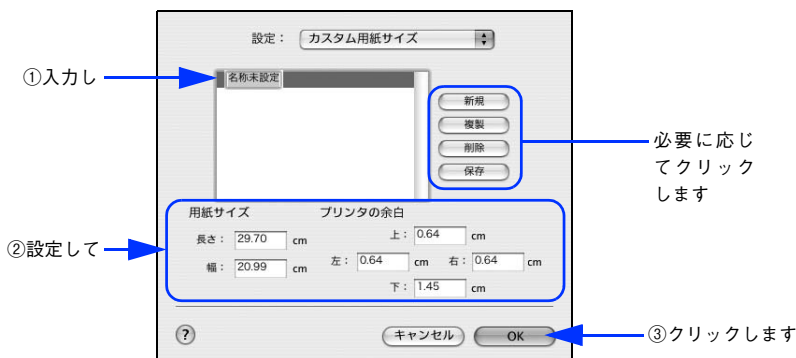
2 **［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。**

3 **［新規］をクリックします。**

4 **用紙サイズ名、用紙サイズ（長さ、幅）、プリンタの余白（上下左右）を設定し、[OK] をクリックします。**

本機で使用できる用紙サイズの範囲は以下 *1 の通りです。

- 用紙幅：10.00 ～ 29.70cm（3.94 ～ 11.69 インチ *2）
- 用紙長さ：14.80 ～ 42.00cm（5.83 ～ 16.53 インチ *2）

*1 本機で有効な値です。設定を保存した際に、入力した値が OS の計算により変わる場合があります。

*2 設定の単位をインチにするには、[システム環境設定] から [言語環境] を開き、[数] タブをクリックして [計測単位] を [ヤード・ポンド法] に設定します。

- すでに登録されている用紙サイズを複製する場合は、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、[複製] をクリックします。必要に応じて設定を変更してから [保存] をクリックします。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、[削除] をクリックします。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して [保存] をクリックします。
- カスタム用紙サイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。また、本機のプリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

5 **[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。**

ここで定義した用紙サイズが [ページ属性] の [用紙サイズ] リストから選択できるようになります。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

不定形紙への印刷は、いくつか注意していただく点がありますので、以下のページを参照してから印刷を実行してください。

☞ 本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷

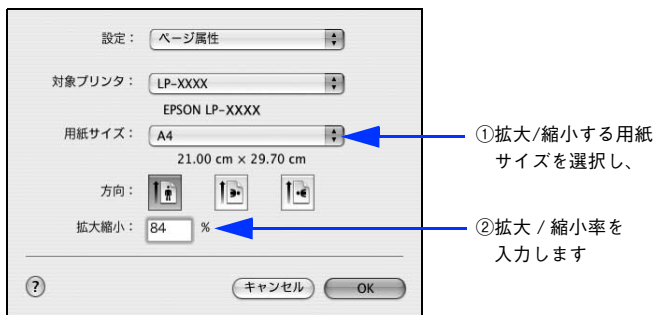
拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大/縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの［ページ設定］ダイアログを開きます。

本書 158 ページ「ページ設定」

3 拡大 / 縮小印刷に使用する［用紙サイズ］を選択して、［拡大縮小］に 1 で求めた値を入力します。

［拡大縮小］で設定した拡大 / 縮小率に合った［用紙サイズ］を選択してください。以下のような場合は、［用紙サイズ］が［拡大縮小］に合っていません。
- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認して［ページ設定］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログを表示して印刷を実行します。

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。設定を行うダイアログは、メニューから選択してください。

① プリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

② プリセット

［プリント］ダイアログのすべての設定を保存し、あとでまとめて呼び出すことができます。必要な設定を変更したら、メニューから［別名で保存］を選択して保存名を指定して保存してください。

保存した設定を変更したり、名称変更や削除もできます。対象となる設定名を［プリセット］メニューから選択して、さらに［保存］、［名称変更］、または［削除］をメニュー選択してください。

③ 設定ダイアログメニュー

［プリント］ダイアログの設定画面を切り替えます。

④ プレビュー

印刷されるままの状態を画面で確認できます。

⑤ PDF として保存

印刷する代わりに、PDF ファイルとして保存できます。

⑥ ファックス

Mac OS X のバージョンによっては、印刷する代わりにファックス送信できます。

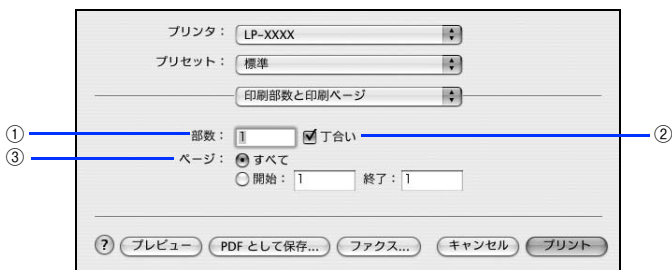
⑦ キャンセル

印刷を中止します。

⑧ プリント

印刷を実行します。

［印刷部数と印刷ページ］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［印刷部数と印刷ページ］を選択すると、印刷部数や印刷範囲を設定できます。

① 部数

印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、②の［丁合い］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

② 丁合い

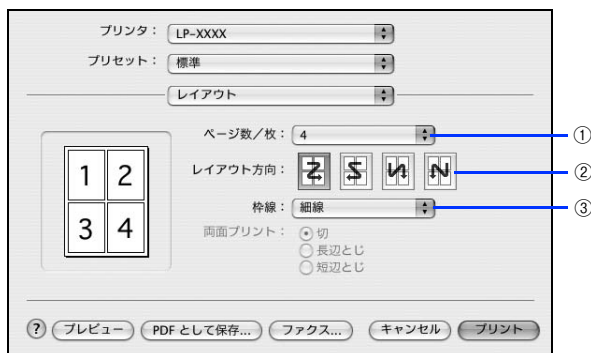
2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

③ ページ

すべてのページを印刷する場合は［すべて］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを入力します。

［印刷部数と印刷ページ］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］を選択すると、連続したページを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷できます。

① ページ数 / 枚

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

☞ 本書 161 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ 本書 172 ページ「1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには」

② レイアウト方向

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。

③ 枠線

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときに、線の種類を選択します。

- ［レイアウト］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。
- ［レイアウト］ダイアログにある［両面プリント］は Mac OS X の標準機能ですが、本機では使用できません。

1 枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷するには

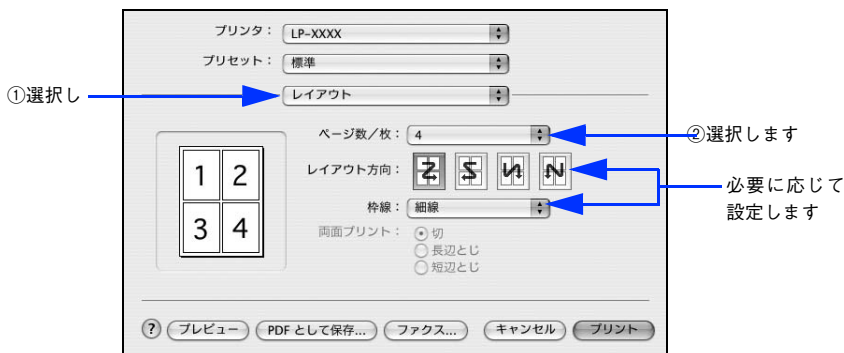
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

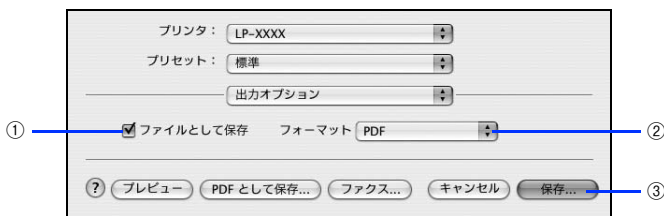
   ☞ 本書 159 ページ「プリント設定」

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**

   ［レイアウト］ダイアログの設定項目について詳しくは、以下のページを参照してください。

   ☞ 本書 171 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

3. **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

［出力オプション］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［出力オプション］を選択すると、印刷する代わりにファイルとして保存できます。

① ファイルとして保存

印刷する代わりにファイルとして保存する場合に、チェックします。

② フォーマット

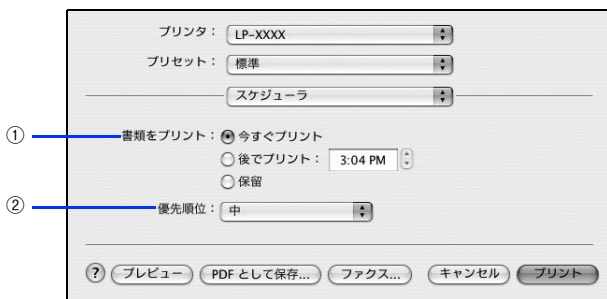
ファイルとして保存する場合の保存形式（フォーマット）を選択します。

③ 保存

ファイルとして保存する場合は、［保存］になります。保存名と保存先を指定してから、さらに［保存］をクリックしてください。

［出力オプション］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。

[スケジューラ] ダイアログ

[プリント] ダイアログで [スケジューラ] を選択すると、印刷を実行するタイミングを設定することができます。詳細に関しては、Mac OS のヘルプを参照してください。

① 書類をプリント

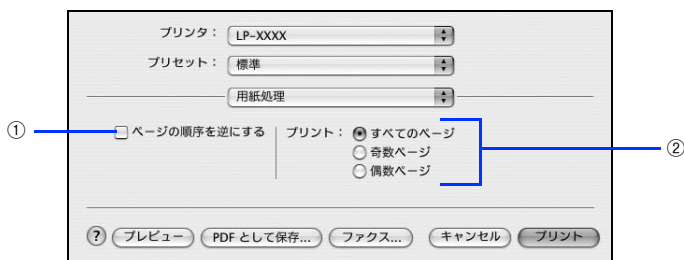
通常は [今すぐプリント] のまま、すぐに印刷します。印刷する時間を指定する場合は、[後でプリント] に印刷を開始する時間を入力します。[保留] をクリックすると、印刷を実行しても一時的に保留にできます。

② 優先順位

印刷の優先順位を選択します。

[スケジューラ] ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。

［用紙処理］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［用紙処理］を選択すると、先頭ページからではなく最後のページから逆に印刷する逆順印刷の設定ができます。

① ページの順序を逆にする

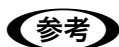
最後のページから最初のページへ逆順所に印刷します。

② プリント

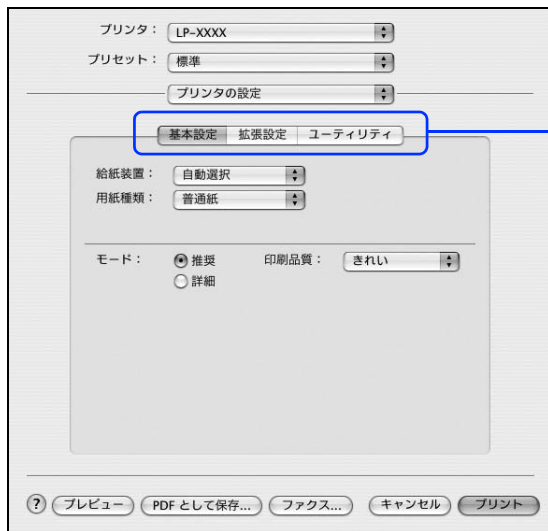
すべてのページを印刷するか、奇数または偶数ページだけを印刷するかを選択できます。

［用紙処理］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。

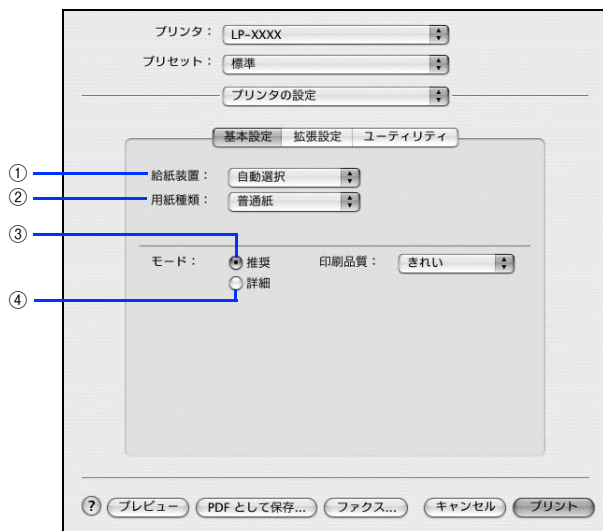
［ColorSync］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［ColorSync］を選択すると、カラーマネージメントに関する設定ができます。Mac OS X の標準機能ですが、本機では使用しません。

［ColorSync］ダイアログの機能は OS に標準搭載されているものです。詳しくは Mac OS X の［Mac ヘルプ］を参照してください。

［プリンタの設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［プリンタの設定］を選択すると、［基本設定］、［拡張設定］、または［ユーティリティ］ダイアログが選択できるようになり、印刷に関わるさまざまな機能が設定できます。

各ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 178 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ 本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ 本書 184 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

① 給紙装置

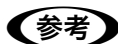
給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。

- 用紙カセットにセットした用紙のサイズは、用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルで設定します。また、MP トレイの用紙サイズは、EPSON リモートパネル！の［トレイ用紙サイズ］で設定します。
  ☞ 本書 193 ページ「EPSON リモートパネル！」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をチェックしていない場合）。
  ☞ 本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

② 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
普通紙	• 普通紙タイプの用紙（レターヘッド、再生紙、色付きを含む）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］は［自動選択］が設定されます。
OHP シート	• OHP シートに印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 82 ～ 128g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

③ 推奨モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨］でよい印刷結果が得られます。本機は印刷品質（解像度）の設定を常に［きれい］（600dpi）の状態で印刷します。設定は変更できません。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［環境設定］ダイアログの［拡張設定］ダイアログ内にある［メモリ不足回避］を有効にする。
  ☞ 本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

④ 詳細モード

［詳細］をクリックすると、［設定変更］が表示されます。［詳細設定変更］ダイアログを開きます。

☞ 本書 180 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

［詳細設定変更］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［詳細］－［設定変更］をクリックすると、［詳細設定変更］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

① グラフィック

グラフィックスイメージを処理する方法を選択します。

項目	説明
白黒	モノクロ印刷を行います。グレースケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

画像調整：

［ハーフトーン］選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 2 段階に調整できます。［細かい］側にスライドするとより細かく、［粗い］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

［細かい］にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になる場合があります。コピーをする場合は、［細かい］にしないで印刷することをお勧めします。

明暗調整：

［ハーフトーン］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［薄い］側にスライドするとより明るく、［濃い］側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。5 段階に調整できます。

② 印刷品質
本機は、印刷品質（解像度）の設定を常に［きれい］（600dpi）の状態で印刷します。設定は変更できません。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。
- 印刷データの容量や色数を減らす。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。
- ［拡張設定］内にある［メモリ不足回避］を有効にする。
  ☞ 本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

③ 印刷モード
印刷モードを選択します。

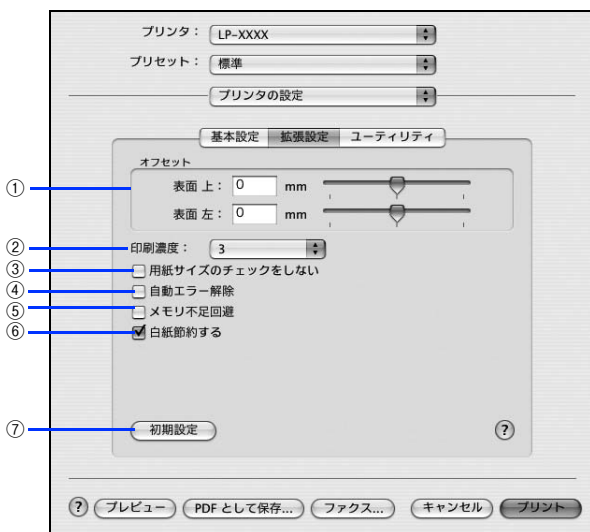
印刷モード	説 明
標準（Mac）	高品質な印刷結果を得ることができます。印刷の処理を主にコンピュータ側で行います。
CRT 優先	［標準（Mac）］で印刷しても、画面通りの印刷結果が得られない場合に使用してください。印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送るため、印刷に時間がかかります。通常、このモードを選択する必要はありません。

お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、［標準（Mac）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。

④ トナーセーブ
印刷濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

［拡張設定］ダイアログ

［プリンタの設定］ダイアログで［拡張設定］を選択すると、印刷に関わるさまざまな拡張機能を設定できます。

① オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

② 印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

③ 用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

④ 自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑤ メモリ不足回避

プリンタにメモリ不足が発生した場合にチェックしてください。チェックすると印刷品質を落として印刷するため、エラーを回避できることがあります。

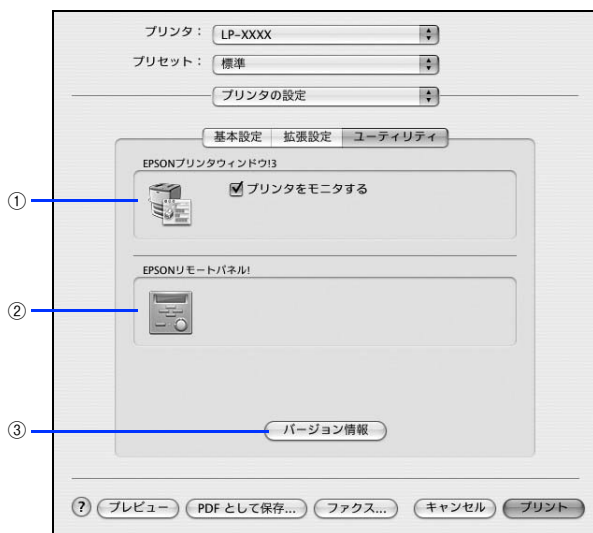
⑥ 白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑦ 初期設定

［拡張設定］ダイアログの設定を初期設定に戻します。

[ユーティリティ] ダイアログ

[プリンタの設定] ダイアログで [ユーティリティ] を選択すると、プリンタのユーティリティ機能を設定できます。

① EPSON プリンタウィンドウ !3

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使ってプリンタをモニタしますので、[プリンタをモニタする] にチェックを付けます。また、アイコンをクリックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面が表示されます。

☞ 本書 188 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」

! 注意

- [プリンタをモニタする] にチェックが付いていることを、必ず確認してください。
- [プリンタをモニタする] にチェックが付いていないと、エラーが発生した場合にエラーを解除できない場合があります。

② EPSON リモートパネル !

EPSON リモートパネル ! を起動する場合に、アイコンをクリックします。

☞ 本書 193 ページ「EPSON リモートパネル !」

③ [バージョン情報] ボタン

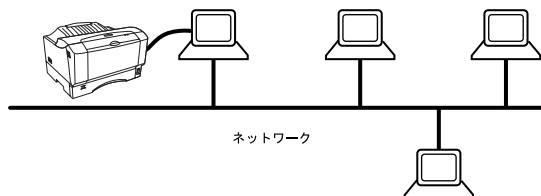
プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［一覧］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［一覧］を選択すると、［プリント］ダイアログのすべての設定を一覧で表示しますので、設定を一度に確認できます。

［一覧］ダイアログは Mac OS X の標準機能です。

プリンタを共有するには

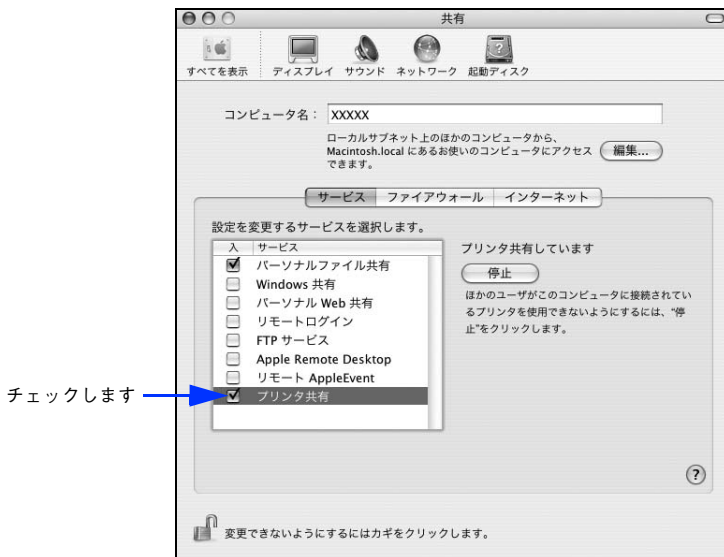
プリンタを直接接続したコンピュータがネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかのコンピュータから共有することができます。

- Mac OS X v10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーのコンピュータが Mac OS X v10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- ネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどのコンピュータからでも直接［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からプリンタを追加して印刷することができます。
- 本書 154 ページ「印刷を始める前に」

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続したコンピュータで以下の設定を行ってください。

1. **プリンタの電源をオン（ I ）にします。**

2. **［Dock］または［アプリケーション］フォルダから［システム環境設定］を開き［共有］をクリックします。**

3 ［プリンタ共有］をチェックします。

- プリンタの共有を停止する場合は、［停止］をクリックします。
- 上記画面の［コンピュータ名］、［Rendezvous 名］、［ネットワークアドレス］は、ネットワーク環境によって異なります。

4 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］をクリックします。

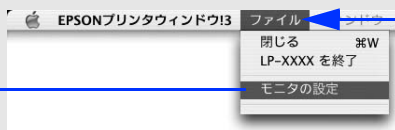
以上で、共有の設定は終了です。

共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタは、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

- Mac OS X v10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーのコンピュータが Mac OS X v10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- 共有プリンタの電源がオフ（○）でも、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に共有プリンタが表示されたままの場合があります。
- 共有プリンタを直接接続しているコンピュータがシステム終了すると、共有プリンタは各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］から自動的に消えます。
- 各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に複数のプリンタが追加されている場合は、共有プリンタをデフォルトプリンタとして選択するか、印刷のたびに共有プリンタを選択してください。

プリンタの状態をコンピュータでモニタするには

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して、［ファイル］メニューから［モニタの設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。

① エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。リスト内のエラー状況を選択して［通知する］をチェックすると、チェックを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現れ、対処方法が表示されます。

② 音声通知

エラー発生時に音声 * でも通知します。

* お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）場合のみ。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

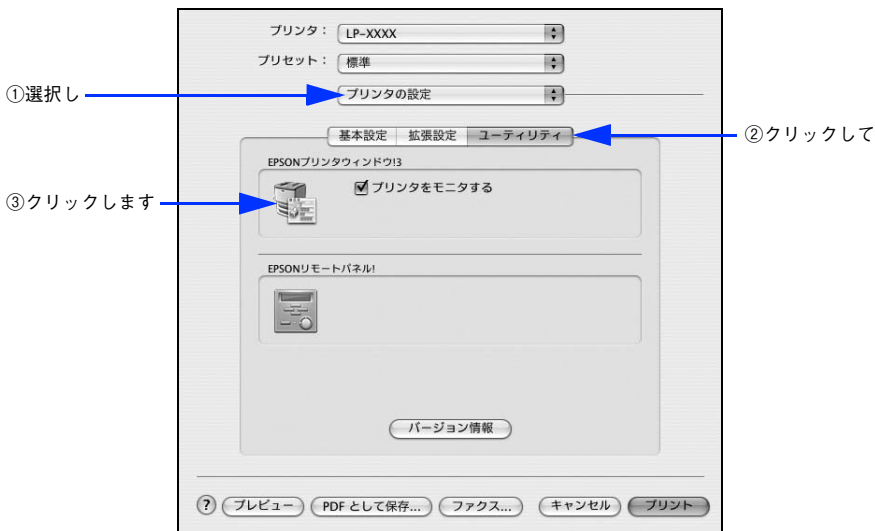
プリンタの状態を確かめるには

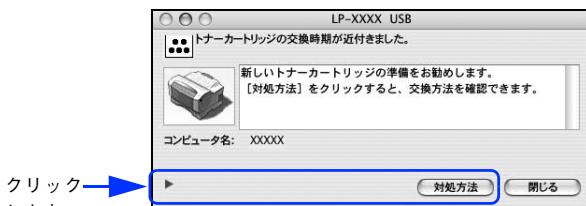
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

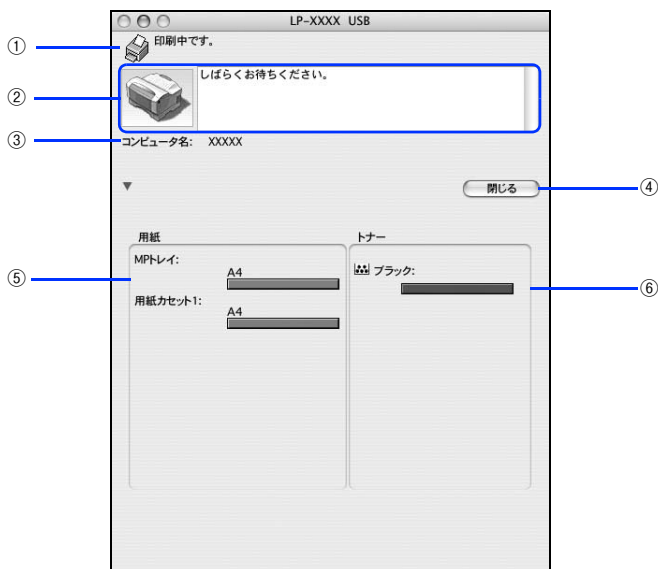
☞ 本書 191 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で追加 / 選択されているか確認してください。

［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

［プリンタの設定］ダイアログで［ユーティリティ］を選択して［EPSON プリンタウィンドウ !3］のアイコンをクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ▶（［詳細］）をクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］が表示されたときに、このボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

① アイコン / メッセージ
プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

② プリンタ / メッセージ
プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。
☞ 本書 192 ページ「対処が必要な場合は」

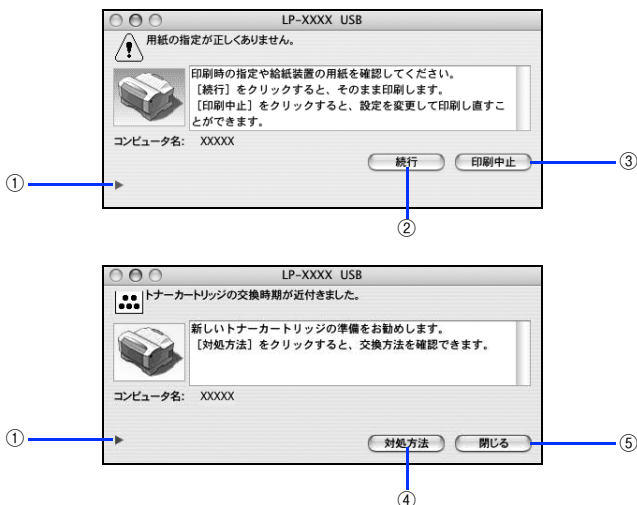
③ コンピュータ名
現在印刷中のコンピュータ名を表示します。

④［閉じる］ボタン
ウィンドウを閉じます。

⑤ 用紙
給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

⑥ トナー
セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

① ▶（[詳細]）ボタン
クリックすると、[プリンタ詳細] ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
☞ 本書 191 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」

② [続行] ボタン：
表示されているエラーを無視して印刷を続行します。続行すると画面と異なる状態で印刷されたり、エラーの発生したページが印刷されないことがあります。

③ [印刷中止] ボタン
現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

④ [対処方法] ボタン
順を追って対処方法を詳しく説明します。

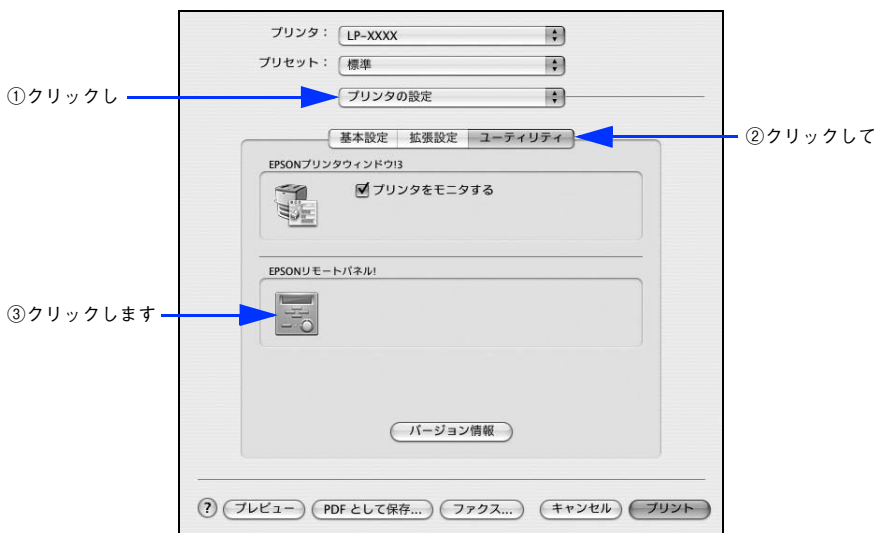
⑤ [閉じる] ボタン
ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

EPSON リモートパネル！

本機のさまざまな機能を設定したり、現在のプリンタの状態、設定値や消耗品の情報などを記載したステータスシートを印刷するには、EPSON リモートパネル！をお使いください。

EPSON リモートパネル！の操作方法

1. **プリンタの電源をオン（｜）にします。**

2. **［プリンタの設定］ダイアログで［ユーティリティ］を選択して、［EPSON リモートパネル！］アイコンをクリックします。**

3 **プリンタ名（LP-V1000）を確認して、［ステータスシート］または［設定］をクリックします。**

- ［ステータスシート］をクリックすると、現在のプリンタの状態、設定値や消耗品の情報などを記載したステータスシートを印刷します。
- ［設定］をクリックすると、［EPSON リモートパネル！：設定］ダイアログが開きます。必要な設定を行ってから［実行］をクリックしてダイアログを閉じます。

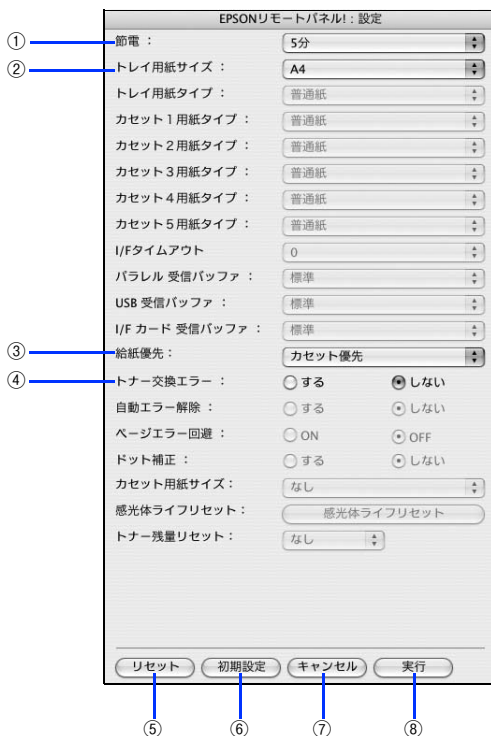
☞ 本書 195 ページ「［EPSON リモートパネル！：設定］ダイアログ」

- プリンタの情報が取得できない場合は、警告メッセージが表示されます（プリンタ名は表示されません）。プリンタが正しく接続されているか、またプリンタの電源がオンになっているかどうか確認してください。
- 印刷中は［設定］をクリックしても［EPSON リモートパネル！：設定］ダイアログは開きません。
- ［EPSON リモートパネル！：設定］ダイアログで設定を変更したら、必ず［実行］をクリックしてダイアログを閉じてください。

4 **［終了］をクリックします。**

以上で操作は終了です。

[EPSON リモートパネル！：設定］ダイアログ

[EPSON リモートパネル！：設定］ダイアログでは、以下の機能を設定できます。

- 本機に必要のない設定はグレーで表示されています（設定は変更できません）。
- 設定を変更した場合は、必ず［実行］をクリックしてダイアログを閉じてください。

① 節電

節電状態に入るまでの時間＊（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 5 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

＊　OFF（節電しない）の設定はできません。

② トレイ用紙サイズ

MP トレイにセットした用紙サイズを設定します。

③ **給紙優先**

［基本設定］ダイアログの［給紙装置］が［自動選択］に設定され、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、どちらの給紙装置を優先して給紙するかを設定できます。

- ［カセット優先］に設定した場合、用紙カセットを優先します。（初期設定）
- ［トレイ優先］に設定した場合、MP トレイを優先します。

④ **トナー交換エラー**

トナーがなくなった場合の対応を設定できます。

- ［しない］に設定した場合、トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。（初期設定）
- ［する］に設定した場合、トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑤ **［リセット］ボタン**

プリンタ本体に記憶されている設定値と［EPSON リモートパネル !：設定］ダイアログに表示されている設定値を、工場出荷時の初期値に戻します。確認のダイアログが表示されますので、リセットを実行する場合は［実行］をクリックしてください。

⑥ **［初期設定］ボタン**

［EPSON リモートパネル !：設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。ただし、設定表示が初期設定になるだけですので、初期設定を有効にするには必ず［実行］をクリックしてください。

⑦ **［キャンセル］ボタン**

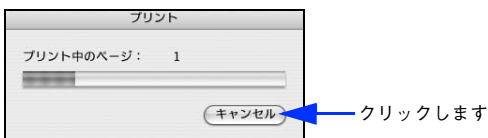
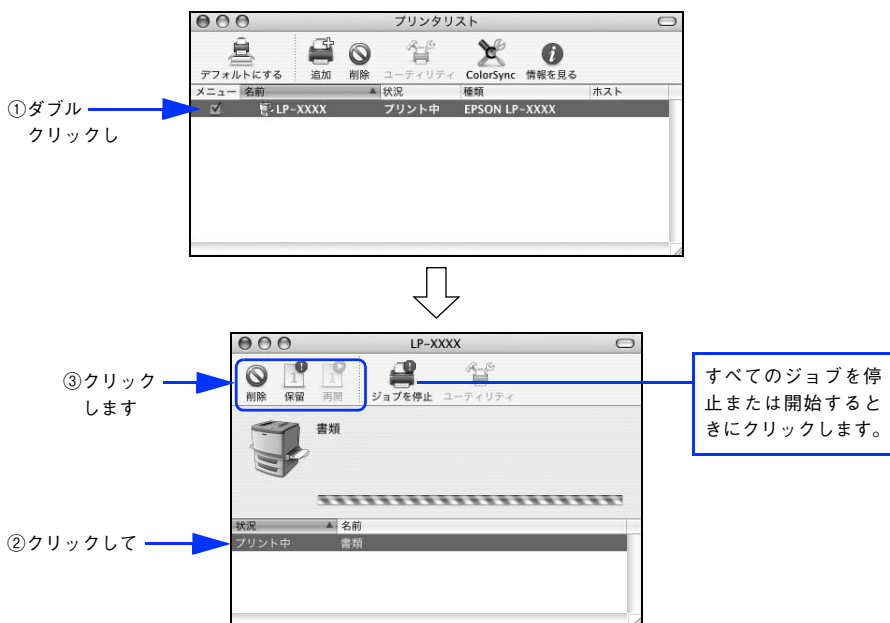
変更した設定を無効にします。

⑧ **［実行］ボタン**

設定を変更した場合は必ずクリックしてください。設定値が本機に書き込まれて有効となります。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。
コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

- **アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷中のダイアログが表示されている場合は、印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。**

- **印刷中は［Dock］に［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］が現れます。［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。**

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

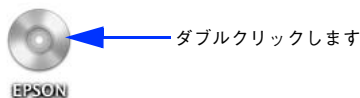
プリンタソフトウェアの削除方法

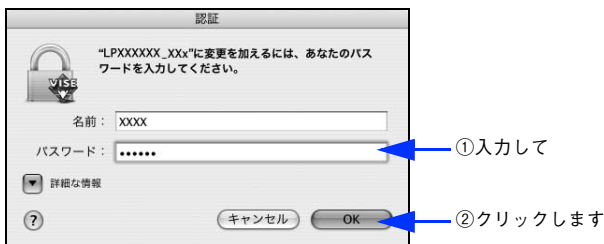
プリンタソフトウェアを削除する手順は以下の通りです。

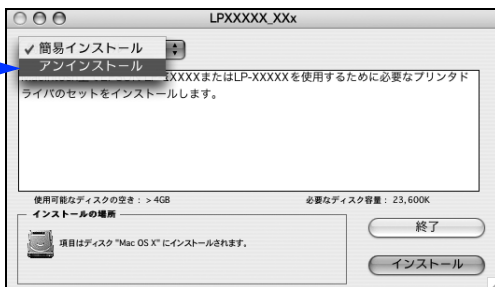
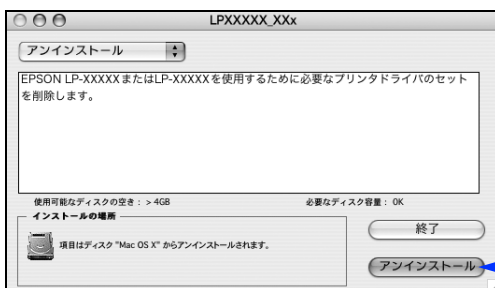
参考	プリンタソフトウェアのアンインストール（削除）は、管理者権限をお持ちの方が行ってください。

1. **起動しているアプリケーションソフトを終了します。**

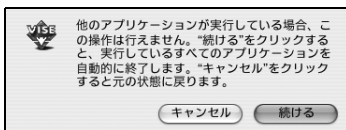
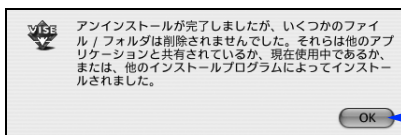
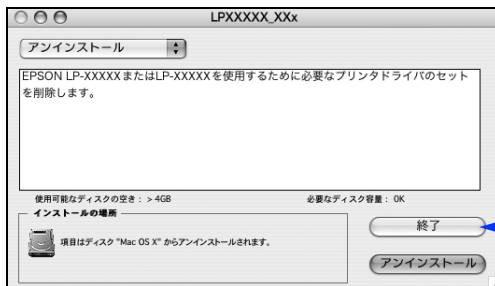
2. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

3. **デスクトップ上の［EPSON］CD-ROM アイコンをダブルクリックして開きます。**

4. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Mac OS X 専用ソフトウェア］－［プリンタドライバ］の順に開き、［LPV1000_xxx*］をダブルクリックします。**
［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。
* 例えば「10a」のようにインストーラのバージョンを表示します。

5. **［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。**

6. **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**
ライセンス内容を表示する画面を最後までスクロールしてお読みいただいてから［同意］をクリックします。

7 **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

8 **［アンインストール］をクリックします。**

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参考

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。
アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

9 **［OK］をクリックします。**

⑩ ［終了］をクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などを説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これら以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。

☞ 本書 219 ページ「特殊紙への印刷」

使用可能な一般の用紙		説明
普通紙	コピー用紙 上質紙 再生紙 *1	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙、または再生紙です。 紙厚は 64 ～ 81.4g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	郵便ハガキ *2	郵便ハガキが使用可能です。往復郵便ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。 ☞ 本書 219 ページ「ハガキへの印刷」
	封筒 *3	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号です。紙厚が 75 ～ 85g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞ 本書 222 ページ「封筒への印刷」
	厚紙 *4	紙厚が 82 ～ 128g/m^2 の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。 ☞ 本書 224 ページ「厚紙への印刷」
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。 ☞ 本書 225 ページ「ラベル紙への印刷」
	OHP シート	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートをお使いください。 ☞ 」本書 226 ページ「OHP シートへの印刷」
	不定形紙	用紙幅が 100 ～ 297mm、用紙長が 148 ～ 420mm、紙厚が 64 ～ 128g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞ 本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

*1 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。また、4 連郵便ハガキは使用できません。
☞ 本書 265 ページ「給紙ローラの清掃」

*3 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

*4 厚紙の紙厚は 81.4g/m^2 を超えて 128g/m^2 以下のものを指しますが、本書では「82 ～ 128g/m^2」と記載する場合があります。

- 用紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙：スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、郵便ハガキ（インクジェット紙）など
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

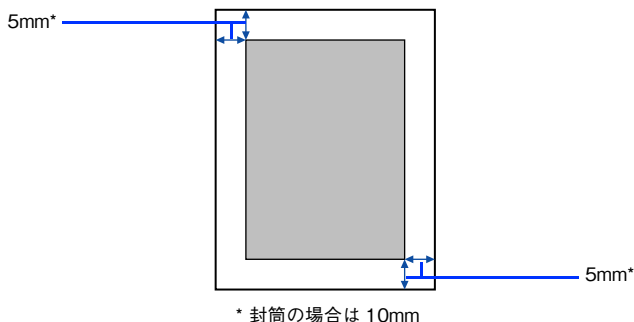
- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（郵便ハガキ以外で 164g/m^2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

耐熱温度約 200 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm（封筒の場合は 10mm）を除く領域の印刷を保証します。

* 封筒の場合は 10mm

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

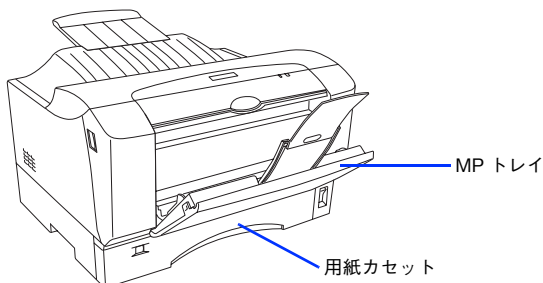
用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

普通紙は本機下部の用紙カセットと正面の MP トレイどちらにもセットできます。特殊紙は MP トレイにのみセットできます。

A5 サイズの厚紙、郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒（洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号）、または不定形紙の場合、一定時間内に印刷 30 枚を超えた段階で印刷速度が半分またはそれ以下になります。その場合は、10 分程度印刷を休止すれば元の印刷速度に復帰します。

各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。特殊紙を使用する場合は、必ず MP トレイにセットしてください。また、特殊紙は用紙別にセット方法や注意事項が異なりますので以下のページを参照してください。

☞ 本書 219 ページ「特殊紙への印刷」

給紙方法	用紙種類		用紙サイズ （ ）内は省略表記です。	紙厚	容量[*1]
MP トレイ	普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Executive（EXE）、F4	64 ～ 81.4g/m^2	30 枚[*2]
	特殊紙	郵便ハガキ	100 × 148mm（ハガキ）	190g/m^2	10 枚[*2]
		往復郵便ハガキ	148 × 200mm（W ハガキ）		
		封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号	75 ～ 85g/m^2	5 枚[*2]
		厚紙[*3]	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Executive（EXE）、F4	82 ～ 128g/m^2	10 枚[*2]
		ラベル紙	A4、Letter（LT）	82 ～ 128g/m^2	10 枚[*2]
		OHP シート	A4、Letter（LT）	100g/m^2	10 枚[*2]
		不定形紙[*4]	幅：100 ～ 297mm 長さ：148 ～ 420mm	64 ～ 81.4 g/m^2	30 枚[*2]
				82 ～ 128g/m^2	10 枚[*2]
用紙カセット	普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）	64 ～ 81.4g/m^2	250 枚[*5]

*1 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大枚数表示までです。最大枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 3mm までセット可能です。

*3 厚紙の紙厚は 81.4g/m^2 を超えて 128g/m^2 以下のものを指しますが、本書では「82 ～ 128g/m^2」と記載する場合があります。

*4 不定形紙に印刷する場合は、プリンタドライバのユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズを設定してから印刷してください。

*5 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 22mm までセット可能です。

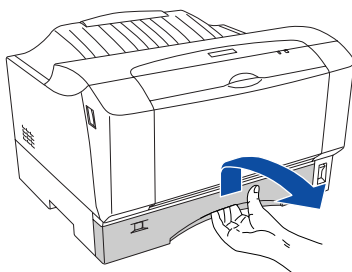
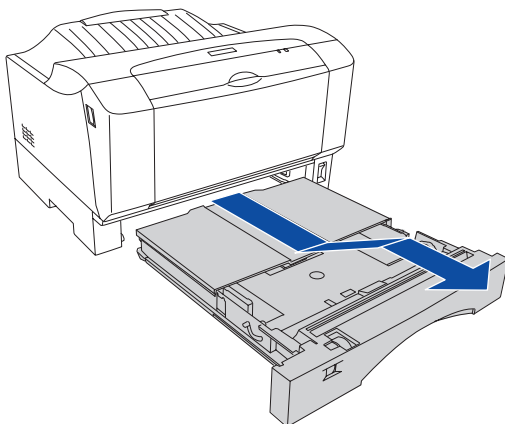
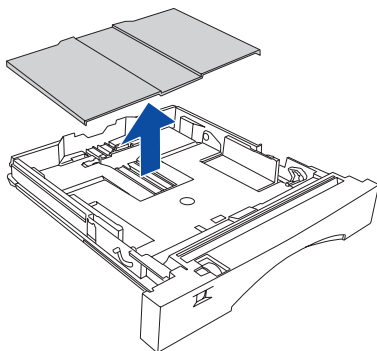
用紙カセットへの用紙のセット

本機に標準装備されている用紙カセットにセットできる用紙の種類や容量については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 206 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

用紙カセットに用紙（普通紙）をセットする場合は、以下の手順に従ってください。なお、セットできる用紙サイズは、A5、A4、A3、B5、B4、Letter（LT）、Legal（LGL）です（普通紙でもその他の用紙サイズはセットできません）。

1 用紙カセットをプリンタから取り外します。

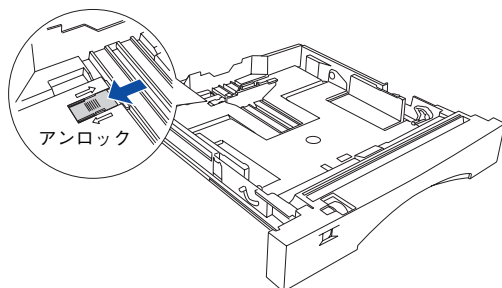
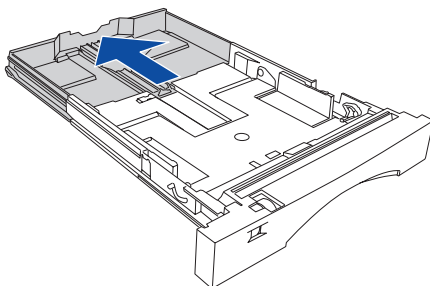
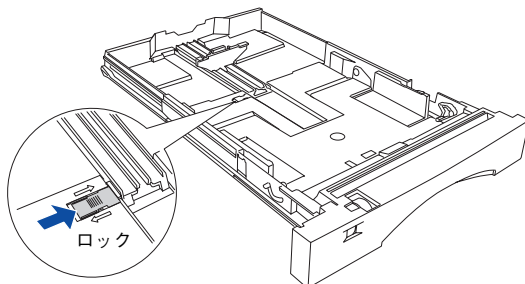
① 用紙カセットの先端を少し持ち上げながら引き出します。

② 用紙カセットを手前に引き出して、先端を少し持ち上げながら引き抜きます。

2 **用紙カセットのカバーを取り外します。**

3 **用紙サイズに合わせて用紙カセットのサイズを調整します。**

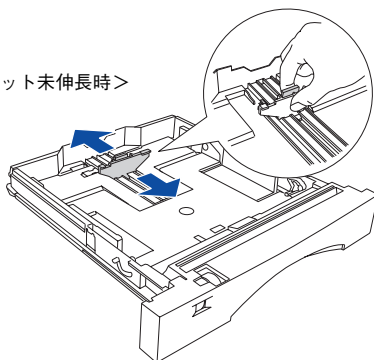
A5、A4、B5、Letter（LT）サイズの用紙をセットする場合

用紙カセットを延長する必要はありません。❹ へ進んでください。

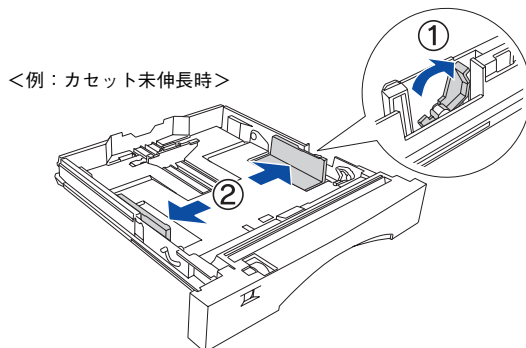
A3、B4、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合

用紙カセットを引き伸ばす必要があります。

① ロックレバーを解除します。

② 用紙カセットの後部を止まるまで引き出します。

③ ロックレバーを固定します。

！注意 ロックレバーが正しい位置でロックされていることを確認してください。

4 用紙ガイド（奥側）を用紙サイズの表示位置にセットします。

！注意 用紙ガイドが正しい位置にセットされていることを確認してください。

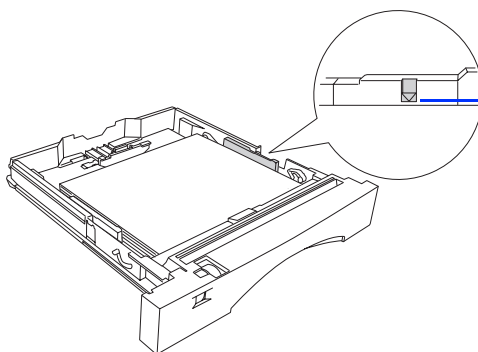
5 ロックレバーを解除して、用紙ガイド（左右）を広げます。

① 右側の用紙ガイド外側に付いているロックレバーを解除します。
② 右側の用紙ガイドをつまんで外側へずらすと、左側の用紙ガイドも広がります。

6 印刷する面を上にして、用紙をセットします。

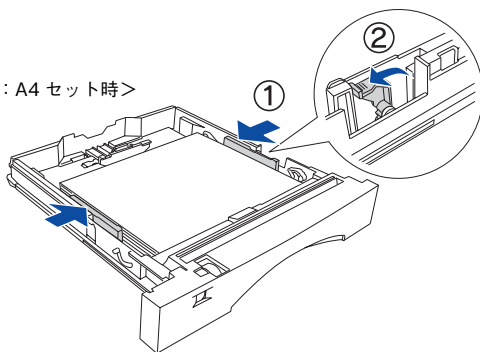
- 普通紙で 250 枚までセットできます。実際にセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なります。
- 用紙サイズによって、用紙をセットする方向が異なります。

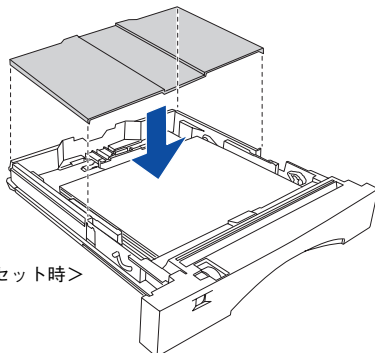
横長にセットする定形紙	縦長にセットする定形紙
A5、A4、B5、Letter（LT）	B4、A3、Legal（LGL）

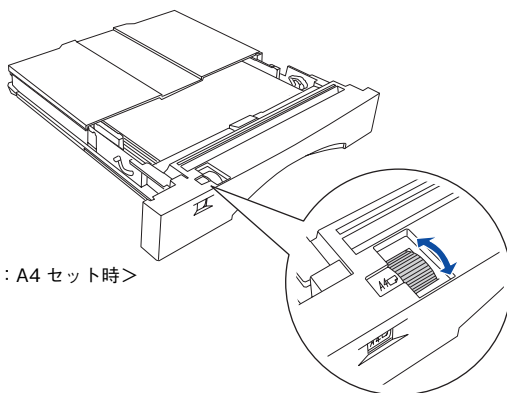
⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

!注意 最大セット枚数表示を超えて用紙カセット一杯になるまで無理に用紙をセットしないでください。正常に給紙できず、紙詰まりの原因となります。

セットできる最大枚数など詳しい用紙情報については，以下のページを参照してください。
☞ 本書 340 ページ「プリンタの仕様」

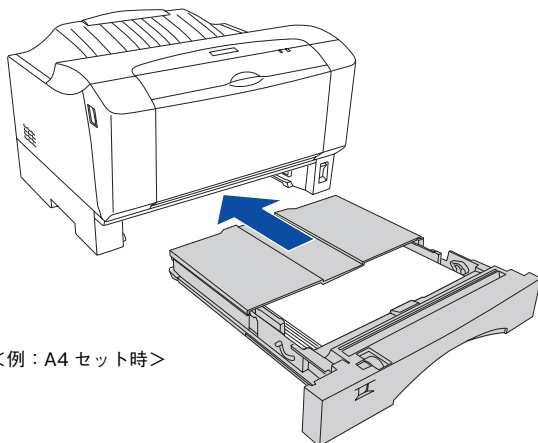
7 用紙ガイド（左右）を用紙サイズに合わせて、ロックレバーを固定します。

① 右側の用紙ガイドをつまんで内側へずらすと、左側の用紙ガイドも狭まります。
② 右側の用紙ガイド外側に付いているロックレバーを固定します。

!注意
- ロックレバーは必ず固定してください。
- 左右の用紙ガイドが用紙サイズと合っていることを確認してください。用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、用紙関連のエラーが発生する場合があります。

8 カバーを用紙カセットに取り付けます。

＜例：A4 セット時＞

9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを回して、セットした用紙サイズに合わせます。

＜例：A4 セット時＞

! 注意	［用紙サイズ設定］ダイヤルと用紙サイズが合っていることを確認してください。

⑩ **用紙カセットをしっかりと奥までプリンタに差し込みます。**

<例：A4 セット時>

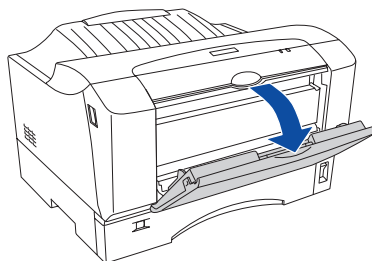
！注意	用紙カセットが奥までしっかり差し込まれていないと、給紙ミスなどのエラーが発生する場合があります。

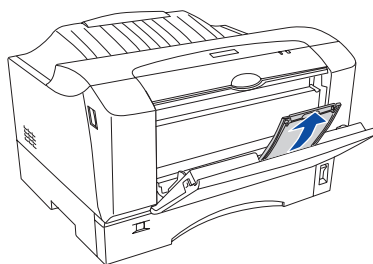
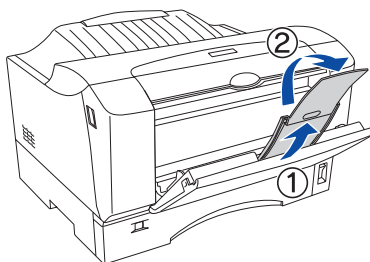
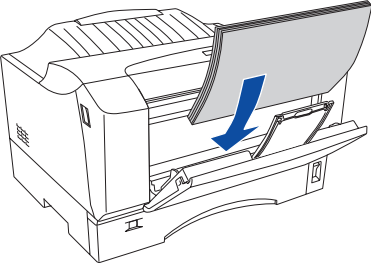
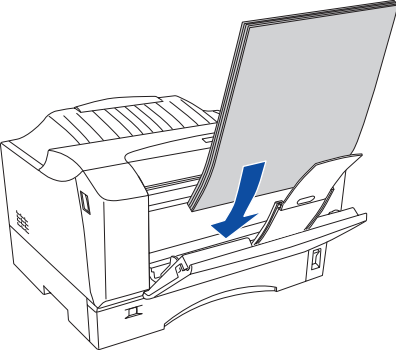
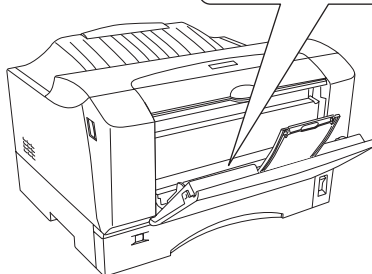
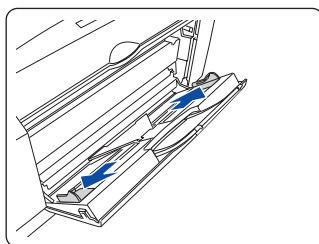
以上で用紙カセットへの用紙セットは終了です。

MP トレイへの用紙のセット

MP（マルチパーパス）トレイには、本機で使用できるすべてのサイズと種類（普通紙および特殊紙）の用紙がセットできます。MP トレイに用紙をセットする場合は、以下の手順に従ってください。セットできる用紙の種類や容量については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 206 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

！注意	ハガキや封筒など特殊紙をセットする場合は、必ず以下のページを参照してください。 ☞ 本書 219 ページ「特殊紙への印刷」

① **MP トレイを開きます。**

2 **用紙サポートを引き出します。**

❹ で A4 などの用紙を横置きにセットする場合で、MP トレイから用紙がはみ出る場合は、用紙サポートを引き出します。

参考 A3 や B4 など大きなサイズの用紙を縦長にセットする場合は、用紙サポートを引き出して、さらに延長サポートを広げてください。

3 **左右の用紙ガイドを広げます。**

4 印刷する面を下にして、用紙を MP トレイのガイドに沿ってセットします。

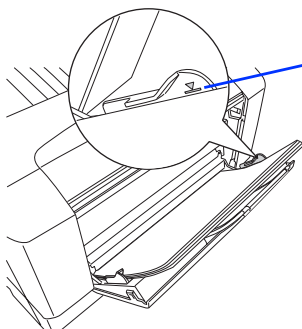
- 普通紙で 30 枚までセットできます。実際にセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なります。
- 用紙サイズによって、用紙をセットする方向が異なります。
- ハガキなど特殊紙の用紙セット方向については、以下のページを参照してください。

☞ 本書本書 219 ページ「特殊紙への印刷」

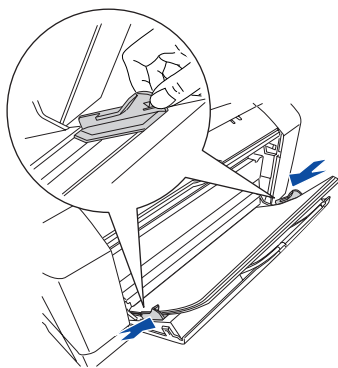
横長にセットする定形紙	縦長にセットする定形紙
A5、A4、B5、Letter（LT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）	B4、A3、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、F4、郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒（洋形 0/4 号、長形 3 号、角形 2/3 号）

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

！注意

最大セット枚数表示を超えて用紙ガイド一杯になるまで無理に用紙をセットしないでください。正常に給紙できず、紙詰まりの原因となります。

セットできる最大枚数など詳しい用紙情報については，以下のページを参照してください。

☞ 本書 340 ページ「プリンタの仕様」

5 左右の用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

6 MP トレイにセットした用紙サイズを、プリンタドライバで設定します。

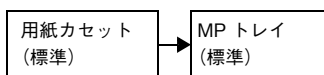
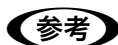
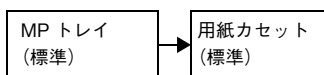
設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ Windows：本書 50 ページ「[プリンタ設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 135 ページ「[プリンタ設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 193 ページ「EPSON リモートパネル !」

以上で MP トレイへの用紙セットは終了です。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバの設定で、給紙装置を［自動］に設定すると、印刷実行時にプリンタが各給紙装置の用紙サイズを次の順番で調べ、プリンタドライバで設定した用紙サイズと一致するサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。初めに見つけた給紙装置の用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙がセットされている、次の給紙装置に自動的に切り替えて給紙します。

- プリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログで［給紙自動選択］を［用紙カセットを優先］（初期設定）に設定した場合の優先順位は以下の通りです。

- プリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログで［給紙自動選択］を［MP トレイを優先］に設定した場合の優先順位は以下の通りです。

［給紙自動選択］はプリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログまたは EPSON リモートパネル！を開いて設定します。

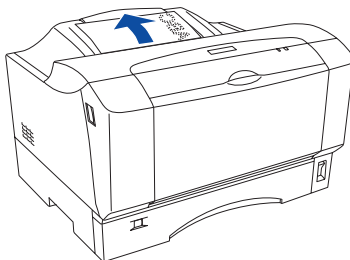
☞ Windows：本書 50 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 135 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 193 ページ「EPSON リモートパネル！」

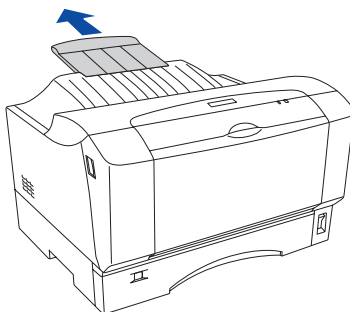
普通紙の場合、以下の枚数を連続して給紙できます。

給紙装置	セット枚数	合計セット枚数
MP トレイ	30 枚	30 枚
用紙カセット	250 枚	280 枚

排紙方法について

本機は印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙トレイに排紙します。普通紙（紙厚 64g/m² の場合）の場合で 250 枚まで排紙できます。

参考

B4、A3、Legal（LGL）サイズの用紙を使用する場合は、排紙サポートを引き出してください。

＜例：用紙トレイからの給紙時＞

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキなど特殊紙への印刷方法について説明します。特殊紙は、MP トレイにセットしてください。用紙カセットからは印刷はできません。

☞ 本書 213 ページ「MP トレイへの用紙のセット」

! 注意
特殊紙に印刷する場合は、以下の設定、操作、説明を必ずお守りください。印刷不良の原因となります。

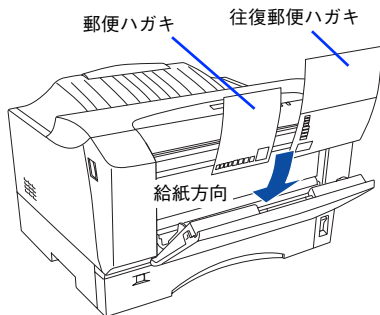
- 特殊紙に印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

ハガキへの印刷

郵便ハガキ、往復郵便ハガキを使用できます。なお、往復郵便ハガキは折り跡のないものを使用してください。

! 注意
以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後のハガキ
- 中央に折り跡のあるハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキなどの厚い（190g/m^2 を超える）ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
- 絵入りハガキ（絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。）

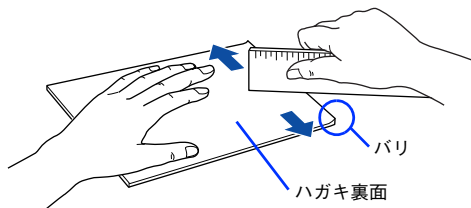
＜例：宛名面に印刷する場合＞

郵便ハガキ
往復郵便ハガキ
給紙方向

セット枚数：10 枚または総厚 3mm（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：
　郵便ハガキ、往復郵便ハガキは縦長にセット

- 印刷する前に、同サイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。
- 印刷する面を下に向けてセットしてください。宛名印字をする場合は、宛名面を下にしてセットします。
- 郵便ハガキ、往復郵便ハガキの場合、一定時間内に印刷 30 枚を超えると印刷速度が半分またはそれ以下になります。ただし、10 分程度印刷を休止すれば元の印刷速度に復帰します。

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
郵便ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100 × 148mm]
			給紙装置	[MP トレイ]
	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP トレイ]
	Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		印刷設定	給紙装置	[MP トレイ]
往復郵便ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[往復ハガキ 148 × 200mm]
			給紙装置	[MP トレイ]
	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP トレイ]
	Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		印刷設定	給紙装置	[MP トレイ]

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり) が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。
ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ～ 2 回こすり、「バリ」を除去します。

! 注意
「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、「ユーザーズガイド」(PDF) を参照して給紙ローラをクリーニングしてください。

封筒への印刷

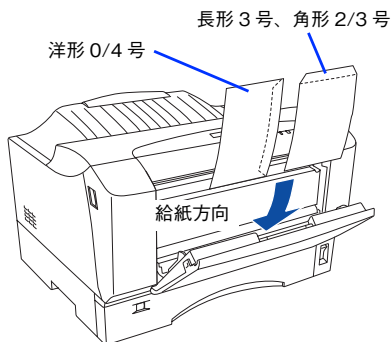
本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形０号、洋形４号、長形３号、角形２号、角形３号です。紙厚は 75g/m² ～ 85g/m² のものをお勧めします。封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

!注意

以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので絶対に使用しないでください。

- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
- 二重封筒
- 窓付きの封筒
- 耐熱温度約 200 度以下で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒

<例：宛名面に印刷する場合>

長形３号、角形 2/3 号

洋形 0/4 号

給紙方向

セット枚数：5 枚または総厚 3mm（MP トレイのみ）
印刷面：下（封筒裏面を上）
セット方向：縦
　洋形 0/4 号：フラップ部を閉じて縦長にセット
　長形３号、角形 2/3 号：開けたフラップ部が給紙方向に対して後方になるように、縦長にセット

洋形 0/4 号の封筒裏面（フラップ側）には印刷できません。

- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 封筒（洋形０号、洋形４号、長形３号、角形２号、角形３号）の場合、一定時間内に印刷 30 枚を超えると印刷速度が半分またはそれ以下になります。ただし、10 分程度印刷を休止すれば元の印刷速度に復帰します。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［洋形 0 号 120 × 235mm］、［洋形 4 号 105 × 235mm］、［長形 3 号 120 × 235mm］、［角形 2 号 240 × 332mm］、［角形 3 号 216 × 277mm］
		給紙装置	［MP トレイ］
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［洋形 0 号］、［洋形 4 号］、［長形 3 号］、［角形 2 号］、［角形 3 号］
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［洋形 0 号］、［洋形 4 号］、［長形 3 号］、［角形 2 号］、［角形 3 号］
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］

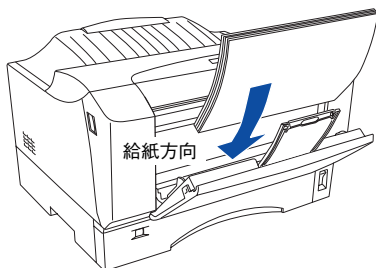
- 本機で使用可能な定形サイズ以外の封筒を使用する場合は、［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙サイズ］（Mac OS）で登録して使用してください。また、［用紙種類］は［厚紙］に設定して印刷してください。
- 印刷結果が思う向きにならない場合は、［180 度回転］（Windows）/［180 度回転印刷］（Mac OS 9*）をご利用ください。

＊ Mac OS 9.x でのみ設定できます。Mac OS X v10.2 以降では設定できません。

☞ Windows：本書 33 ページ「［応用設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 107 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

厚紙への印刷

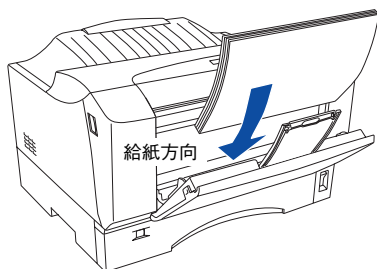
本機では、厚紙は厚さ 82 ～ 128g/m2 の用紙に印刷することができます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

* 厚紙の紙厚は 81.4g/m2 を超えて 128g/m2 以下のものを指しますが、本書では「82 ～ 128g/m2」と記載する場合があります。

セット枚数：10 枚または総厚 3mm（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：横長または縦長（用紙サイズにより異なる）

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［厚紙］
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［厚紙］
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［厚紙］

ラベル紙への印刷

本機では、A4 または Letter（LT）サイズのラベル紙（モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙）のみ印刷することができます。ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

> **! 注意**
> 以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。
> - 簡単にはがれてしまうラベル紙
> - 一部がはがれているラベル紙
> - 糊がはみ出しているラベル紙
> - 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
> - インクジェットプリンタ用のラベル紙

セット枚数：10 枚または総厚 3mm（MP トレイのみ）
印刷面：ラベルが貼ってある面を下
セット方向：横長

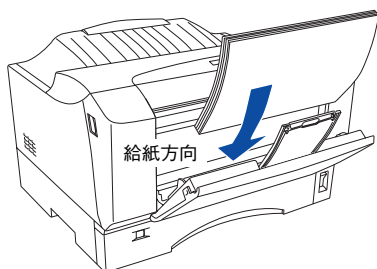
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[A4 210 × 297mm]、[LT 8.5 × 11 in]（印刷データで設定した用紙のサイズを設定）
		給紙装置	[MP トレイ]
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[A4]、[Letter]（印刷データで設定した用紙のサイズを設定）
	プリント	給紙装置	[MP トレイ]
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[A4]、[レター]（印刷データで設定した用紙のサイズを設定）
	印刷設定	給紙装置	[MP トレイ]

- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙を使用してください。
- 紙が厚い（82 ～ 128g/m²）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 224 ページ「厚紙への印刷」

OHP シートへの印刷

本機では、A4 または Letter（LT）サイズの OHP シートのみ印刷することができます。OHP シートの品質は、製造メーカーによって異なります。大量の OHP シートを購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

！注 意

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。
- カラー複写機やカラーページプリンタ / インクジェットプリンタ専用のOHP シートは使用しないでください。故障の原因となります。

セット枚数：10 枚または総厚 3mm（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：横長

- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートを使用してください。
- OHP シートに付属している説明書などで表裏を確認してください。表裏がある場合は、表面を下に向けてセットしてください。
- OHP シートは、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。

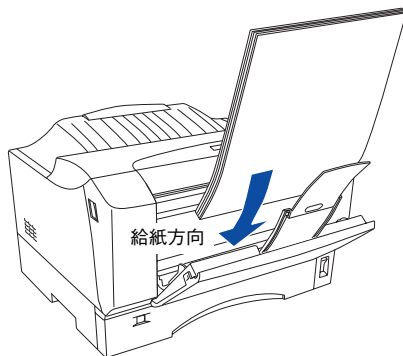
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[A4 210 × 297mm]、[LT 8.5 × 11 in]
		給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[A4]、[Letter]
	プリント	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[A4]、[レター]
	印刷設定	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは、以下の通りです。

- 用紙幅：100.0 ～ 297.0mm（3.94 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 420mm（5.83 ～ 16.53 インチ）

大量の不定形紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。

> **!注意**
> - 不定形紙に印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS）で用紙サイズを指定してください。用紙サイズの異なる定形紙などを選択して印刷し続けた場合、プリンタ内部の定着器が破損する場合があります。
> - プリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS）で指定したサイズと必ず同じサイズの用紙をセットしてください。万一指定と異なるサイズの用紙を給紙すると、紙詰まりやエラーが発生します。正しい用紙をセットしてから、印刷データをキャンセルするかカバーを開閉してください。
>
> ☞ Windows：本書 87 ページ「印刷の中止方法」
> ☞ Mac OS 9：本書 150 ページ「印刷の中止方法」
> ☞ Mac OS X：本書 197 ページ「印刷の中止方法」

セット枚数
　普通紙：30 枚または総厚 3mm（MP トレイのみ）
　厚紙：10 枚または総厚 2.6mm（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：横長または縦長（用紙サイズにより異なる）

不定形紙の場合、一定時間内に印刷 30 枚を超えると印刷速度が半分またはそれ以下になります。ただし、10 分程度印刷を休止すれば元の印刷速度に復帰します。

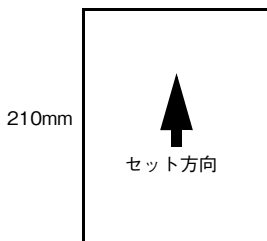
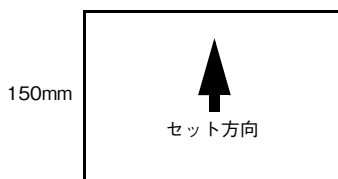
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［ユーザー定義サイズ］で設定
		給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［カスタム用紙］で設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定
Mac OS X（v10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［カスタム用紙サイズ］で設定
	印刷設定	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定

- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- 紙が厚い（82 ～ 128g/m²）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 224 ページ「厚紙への印刷」

印刷の手順

不定形紙への印刷は以下の手順で行ってください。

1. **印刷する不定形紙の用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙（サイズ）］としてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。**
☞ Windows：本書 29 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
☞ Mac OS 9：本書 109 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
☞ Mac OS X：本書 166 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

2. **［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙（サイズ）］で設定した用紙方向に合わせて、プリンタに用紙をセットします。**

3. **印刷データで設定している用紙サイズと同じ用紙サイズを、❶ で登録した［用紙サイズ］リストの中から選択して、印刷を実行します。**

添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法を説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B* フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

* OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

* チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックなし（OFF）
応用設定 （応用設定－詳細設定）	印刷品質	高品質（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
  （例＜＝＞ ⇨ ⇔）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  本書 237 ページ「各バーコードの概要」

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

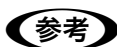
☞ 本書 338 ページ「Windows システム条件」

ハードディスク：15 ～ 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

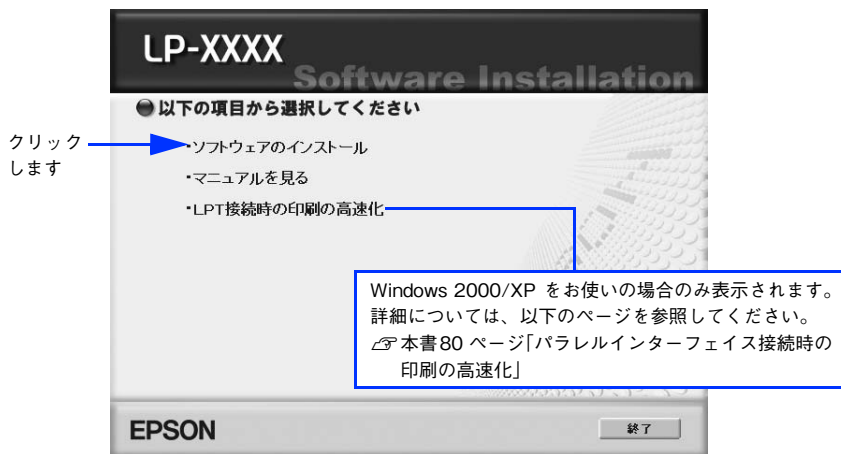
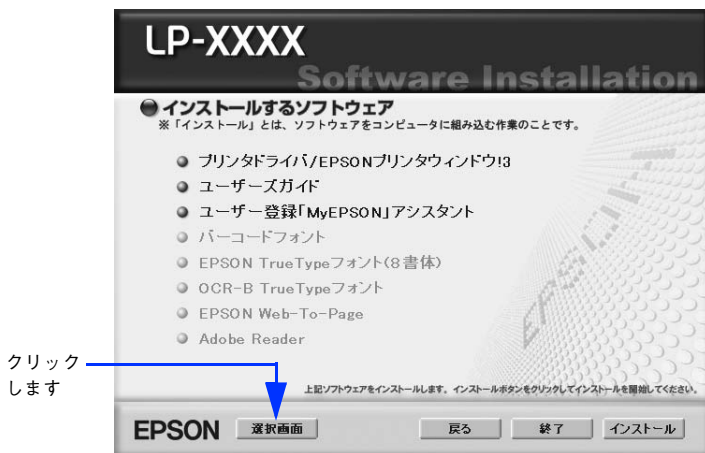
バーコードフォントのインストール

1 Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

2 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、［続ける］をクリックして次へ進みます。

上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［EPSETUP.EXE］をダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［ソフトウェアのインストール］を選択して次に進みます。

5 ［選択画面］をクリックします。

6 **以下の画面が表示されたら、［バーコードフォント］にチェックを付けて［インストール］をクリックします。**

その他の項目（プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 など）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

7 **EPSON バーコードフォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

8 **インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］をクリックします。**

使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックを外してください。インストールされません。

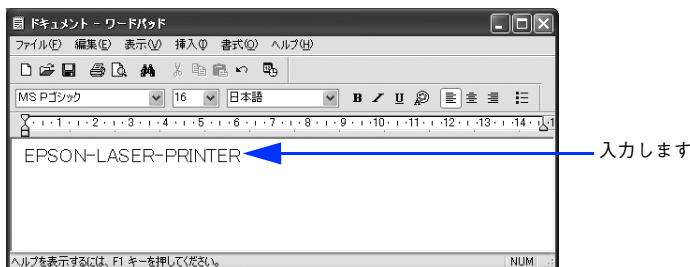
9 **インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。**

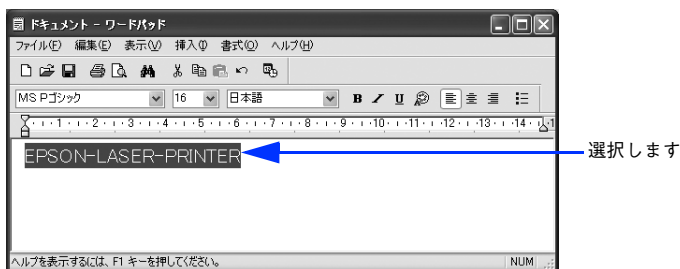
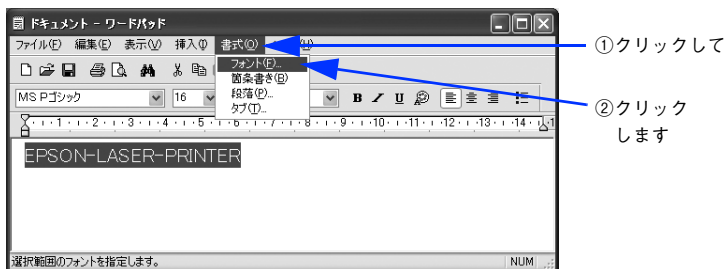
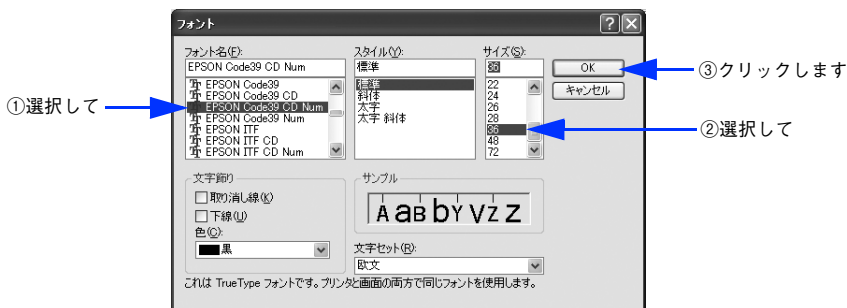
10 **インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］をクリックします。**

以上で EPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

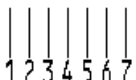
ここでは Windows XP に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

1. **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字をすべて半角（1Byte）で入力します。**

2. **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**

選択した範囲が反転表示になります。

3. **［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。**

4 ［フォント］の一覧から印刷したい EPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］をクリックします。

- 推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。
☞ 本書 237 ページ「各バーコードの概要」
- アプリケーションソフトによっては、フォントの選択肢をそのフォント自身で表示する場合があり、バーコードフォントが正常に表示されないことがあります。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

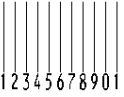
6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52 ～ 130pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	12345670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-8と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36 ～ 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	12345670

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13は「JIS X 0501」として規格化されたJANの標準バージョン（13桁）です。
• EPSONバーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは12桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0～9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60～150pt（Windows 2000/XP/Server 2003は96ptまで）
保証サイズは60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0～9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36～90pt
保証サイズは36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Shortに変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

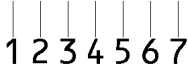
<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）
- Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。

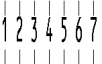
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">11 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">6 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• OCR-B　• チェックデジット　• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code39は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
- EPSONバーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- スペースを“_”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“_”（アンダーライン）を入力してください。
- 1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

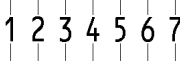
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A ～ Z、0 ～ 9）
記号（－　.　スペース　$　/　+　%）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">

Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

左 / 右クワイエットゾーン
スタート / ストップキャラクタ
コードセットの変更キャラクタ
チェックデジット

</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
• EPSONバーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはInterleaved 2of5の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • チェックデジット
• 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSONバーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート/ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSONバーコードフォントは残りのスタート/ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、記号（－　$　：　/　.　+）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows 2000/XP/Server 2003 は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）－新郵便番号（4 桁）－住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の－（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 – 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本製品に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM には EPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。また、OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

Windows でのインストール

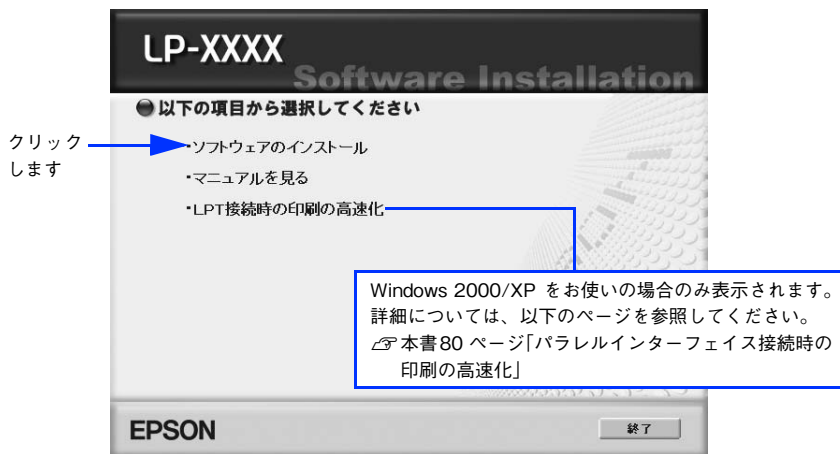
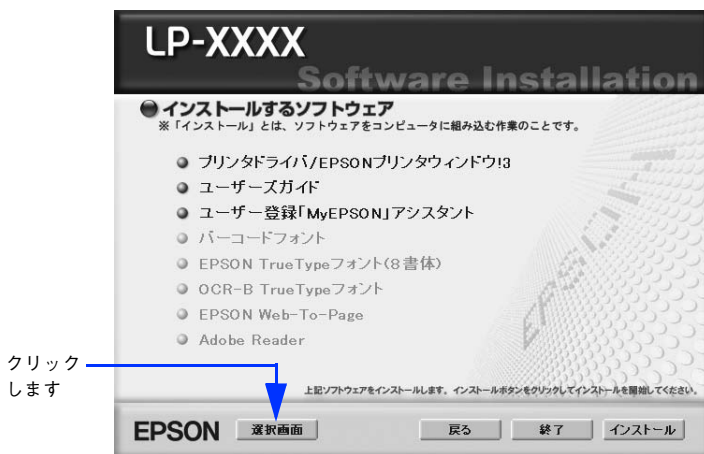
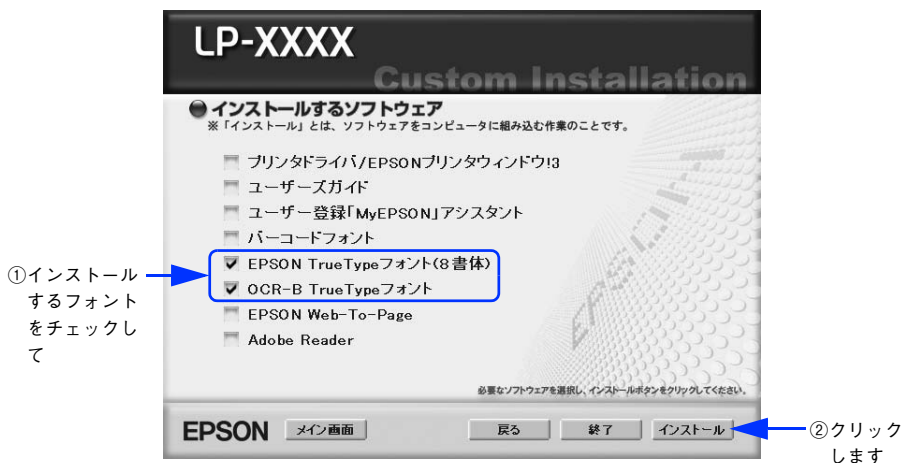
1 Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

2 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける] をクリックして次へ進みます。

上記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] ー [CD-ROM] ー [EPSETUP.EXE] をダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［ソフトウェアのインストール］を選択して次に進みます。

5 ［選択画面］をクリックします。

❻ 以下の画面が表示されたら、インストールするフォントにチェックを付けて［インストール］をクリックします。

その他の項目（プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 など）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

❼ フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

❽ インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。

［EPSON TrueType フォント（8 書体）］と［OCR-B TrueType フォント］の両方を ❻ で選択した場合は、続けて ❼ と ❽ を 2 度繰り返します。

❾ インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］をクリックします。

以上で TrueType フォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

Mac OS でのインストール

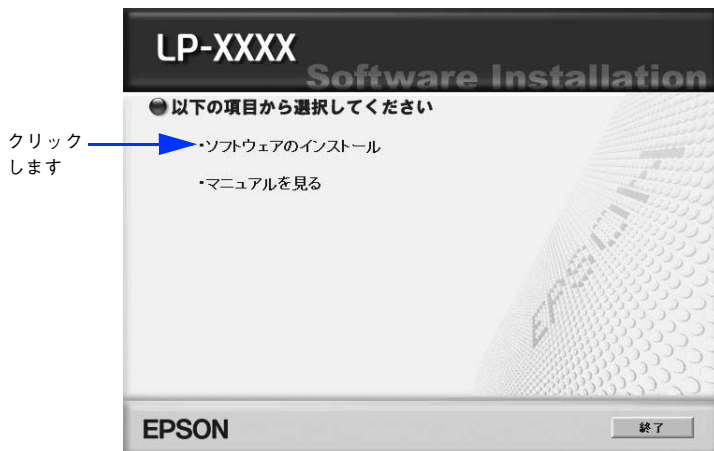
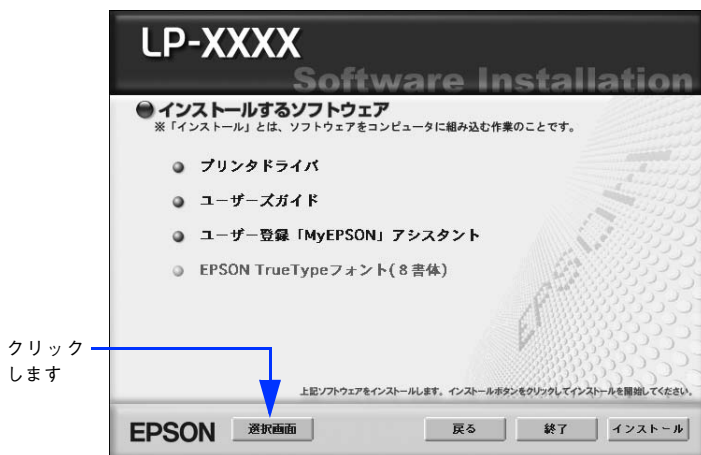
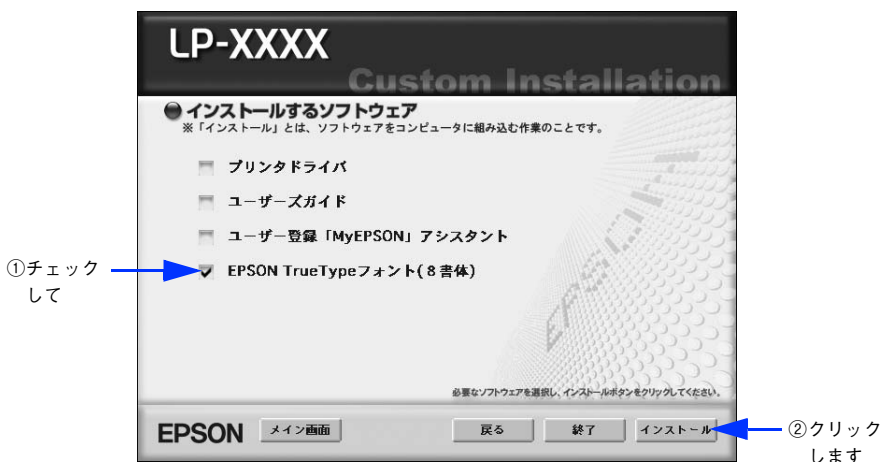
Mac OS 9.x には以下の手順で EPSON TrueType フォントがインストールできます。なお、Mac OS X へのインストールはできません。

1. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2. **［Mac OS 9 用］インストーラをダブルクリックします。**

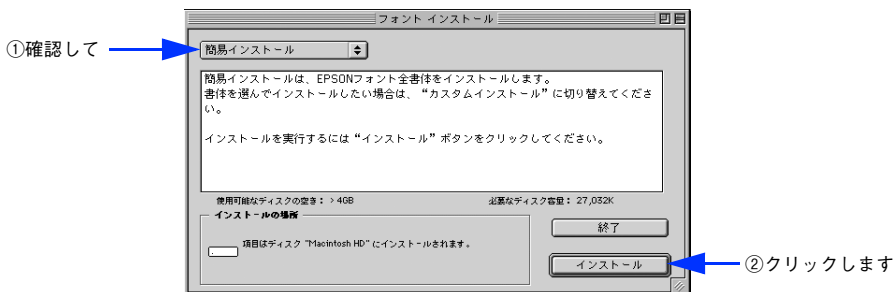
3. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
   - ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、［続ける］をクリックして次へ進みます。

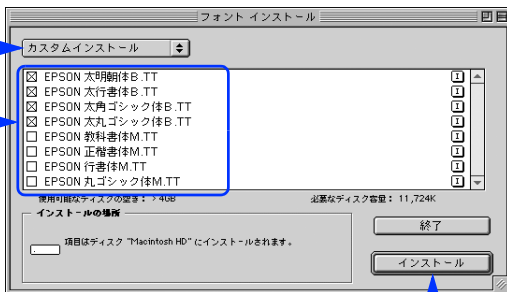
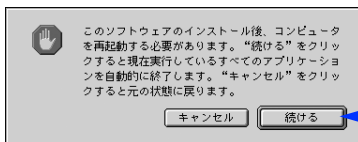
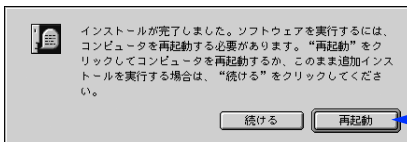
4. **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

5 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

6 ［選択画面］をクリックします。

7 次の画面が表示されたら、[EPSON TrueType フォント(8 書体)]にチェックを付けて[インストール]をクリックします。

その他の項目(プリンタドライバなど)がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意します]をクリックします。

9 [簡易インストール]が選択されていることを確認して、[インストール]をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

参考

［カスタムインストール］を選択すると、フォントを選択してインストールできます。使用するフォントをクリックしてチェックを付けてください。チェックの付かないフォントはインストールされません。

⑩ 次の画面が表示されたら、［続ける］をクリックします。

⑪ 次の画面が表示されたら、［再起動］をクリックします。

以上でフォントのインストールは終了です。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介やオプションの設定方法などを説明しています。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2005 年 2 月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

本機のパラレルインターフェイスに接続するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

型番	機種	メーカー
PRCB4N	DOS/V 仕様機	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社
	PC-98NX シリーズ	NEC

- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECPモード対応コンピュータをECPモードで接続する場合、PRCB4Nをご使用ください。

接続方法については「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル

USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

トナーカートリッジ

本機で使用可能なトナーカートリッジは次の通りです。

型番	商品名	寿命
LPA3ETC16	ET カートリッジ	各色約 6,000 ページ（A4、画占率 5%）
LPA3ETC17	ET カートリッジ	各色約 10,000 ページ（A4、画占率 5%）

1 つのトナーカートリッジで 6,000 ページまたは 10,000 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1）まで印刷できます。ただし、使用状況（電源オン／オフの回数や紙詰まり処理の回数など）や印刷の仕方（連続印刷 / 間欠印刷 *2）によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本来の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

参考

- 本機に同梱されているトナーカートリッジは、約 2,000 ページ（A4、画占率 5%）相当分の印刷ができます。
- EPSONプリンタウィンドウ!3は、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

交換方法は以下のページを参照してください。

☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効利用と地球環境保全のために

エプソン純正トナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

トナーカートリッジの回収については、カートリッジの梱包箱と添付の説明書をご確認ください

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法については、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細につきましては、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソンのホームページ「I Love EPSON」でもご確認いただけます。

http://www.i-love-epson.co.jp/

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください（2005 年 2 月現在）。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://epson-supply.jp
お電話で	電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル）
	受付時間：月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日 PM5:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国・九州…翌日
	北海道・沖縄…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取扱いカード：UC、JCB、VISA、Master、NICOS
コンビニエンスストア振込 （前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。上記ホームページまたは電話にてお申し込みください。

送料

お買い上げ金額の合計が 4,725 円以上（税込）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,725 円未満（税込）の場合は、全国一律 525 円（税込）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などを説明しています。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジについて

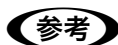
トナーカートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置です。本機で使用できるトナーカートリッジについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 254 ページ「トナーカートリッジ」

トナーカートリッジの交換時期

1 つのトナーカートリッジで 6,000 ページまたは 10,000 ページ(A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合 *1)まで印刷できます。ただし、使用状況(電源オン/オフの回数や紙詰まり処理の回数など)や印刷の仕方(連続印刷 / 間欠印刷 *2)によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数が上記数値より少なくなる場合もあります。使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。

*2 間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことです。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合、交換を促すエラーメッセージが表示された場合は、すぐに交換してください。

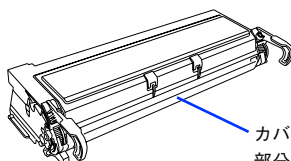
☞ Windows:本書 58 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」
☞ Mac OS 9:本書 143 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」
☞ Mac OS X:本書 188 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」

トナーカートリッジ交換時の注意

トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- トナーカートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できないなどの原因となるおそれがあります。
- トナーのなくなったトナーカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

- トナーカートリッジのトナー付着部には絶対に手を触れないでください。

トナーカートリッジ保管上の注意

 子供の手の届かないところに保管してください。

- トナーカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 85% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。

使用済みトナーカートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されいるご案内シート、または以下のページを参照してください。
本書 255 ページ「使用済みトナーカートリッジの回収について」

やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

 警告 トナーカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

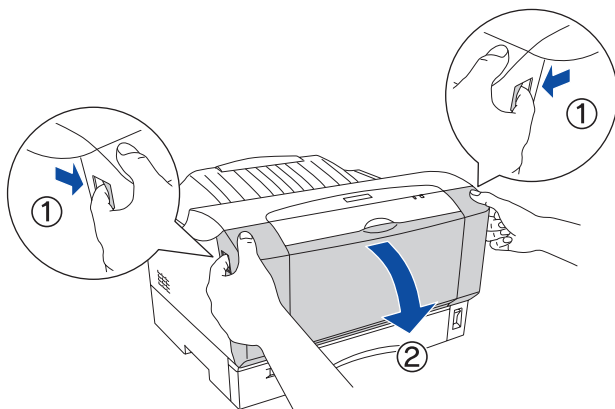
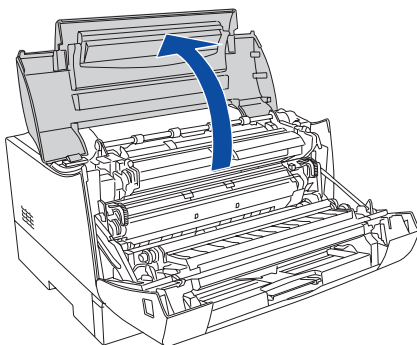
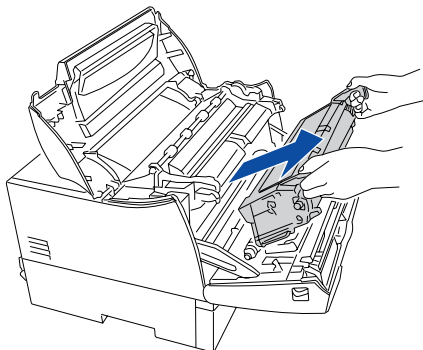
使用済みトナーカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/）をご覧ください。

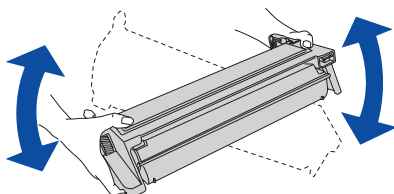
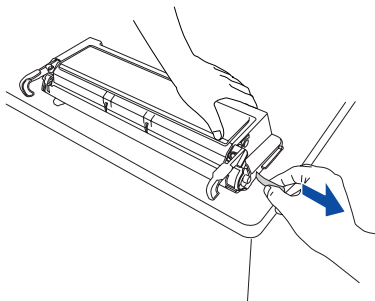
トナーカートリッジの交換手順

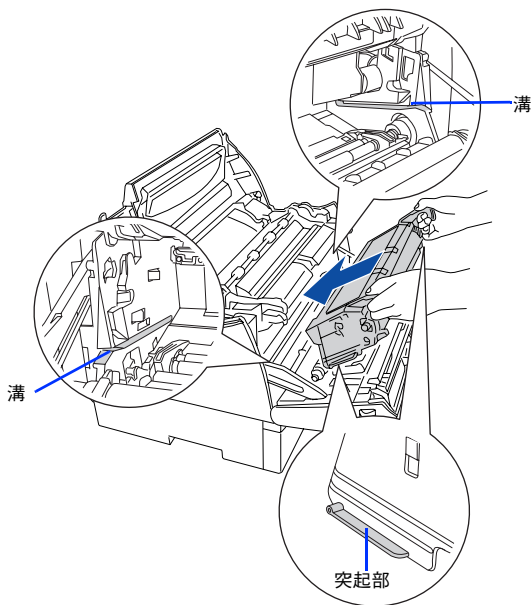
トナーカートリッジの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に、必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

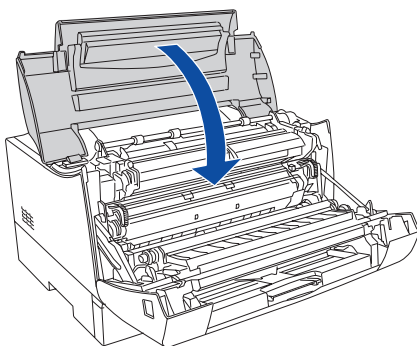
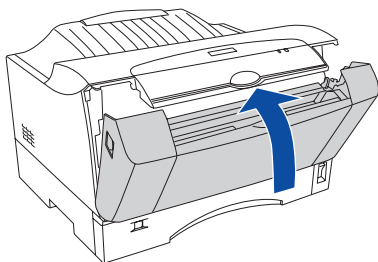
本書 258 ページ「トナーカートリッジ交換時の注意」

1 左右の開閉レバーを引いたまま、前カバーを開けます。

2 上カバーを開けます。

3 トナーカートリッジを左右の取っ手を持ってを取り外します。

！注意	手前（前カバーの内側）にある転写ローラに触れないように、斜め上に引き抜きます。

⚠警告	トナーカートリッジは､絶対に火の中に入れないでください｡トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

4 トナーカートリッジを梱包箱から取り出して、上下左右に 3 ～ 4 回振ります。

5 トナーカートリッジを平らな場所に置き、保護シールをゆっくり水平にまっすぐ引き抜きます。

6 **トナーカートリッジの左右の取っ手を持ってプリンタに取り付けます。**

① トナーカートリッジの両端にある突起部を装着口の両端にある溝に合わせます。
② プリンタの奥までトナーカートリッジをしっかり差し込みます。

！注意	手前（前カバーの内側）にある転写ローラに触れないように、斜め上から差し込みます。

7 **上カバーを閉じます。**

8 **前カバーを閉じます。**

以上でトナーカートリッジの交換は終了です。

プリンタの清掃

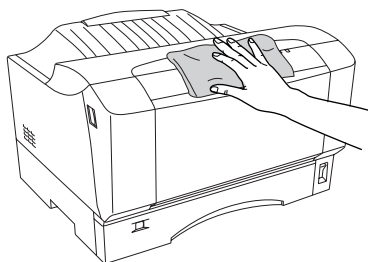
プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

プリンタの表面が汚れたら

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

清掃作業は、電源をオフ（◯）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

!注意

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

給紙ローラの清掃

用紙が頻繁に詰まる場合や正常に給紙できない場合は、用紙カセットの給紙ローラをクリーニングしてください。

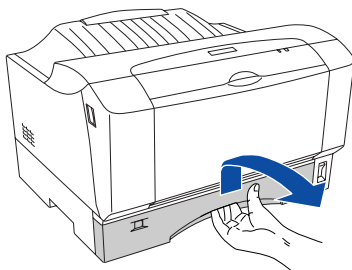
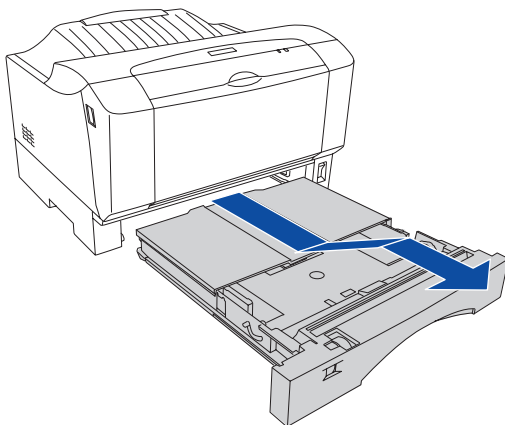
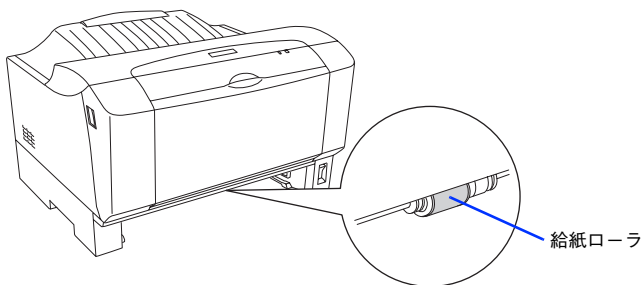
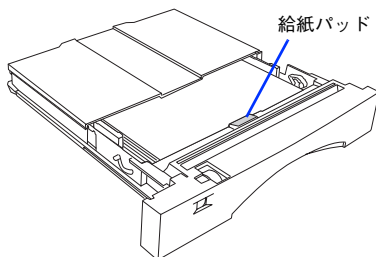
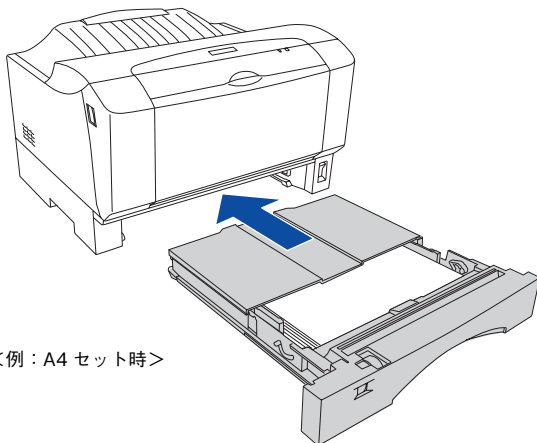
- 作業中は、指示以外の部分に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
- 清掃作業は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

!注意

- 指示以外のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

用紙カセットの給紙ローラを清掃する

1 用紙カセットをプリンタから取り外します。

① 用紙カセットの先端を少し持ち上げながら引き出します。

② 用紙カセットを手前に引き出して、先端を少し持ち上げながら引き抜きます。

2 **プリンタ本体に付いている給紙ローラのゴム部分を、乾いた布でていねいに拭きます。**

3 **用紙カセットに付いている給紙パッドのゴム部分も、乾いた布でていねいに拭きます。**

4 **用紙カセットをプリンタに差し込みます。**

以上で用紙カセットの給紙ローラの清掃は終了です。

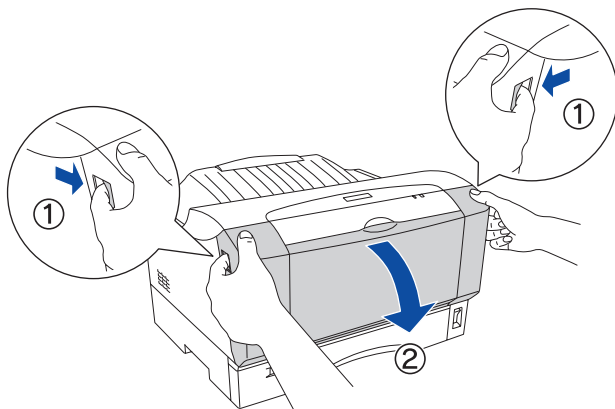
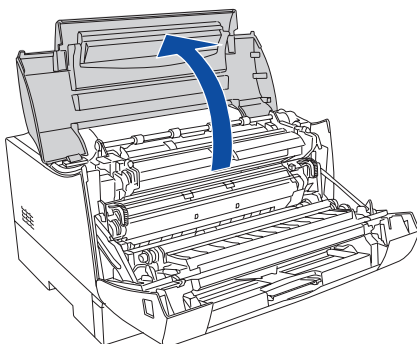
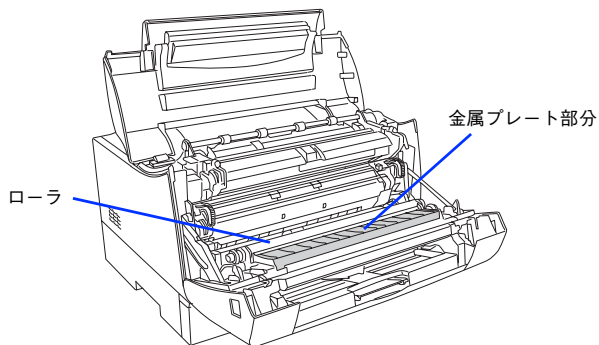
プリンタ内部の清掃

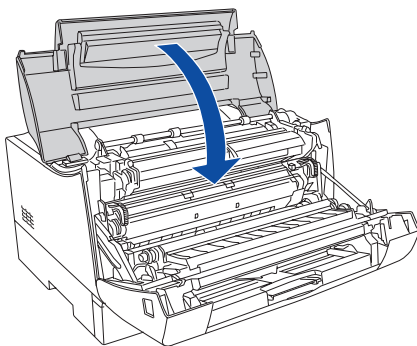
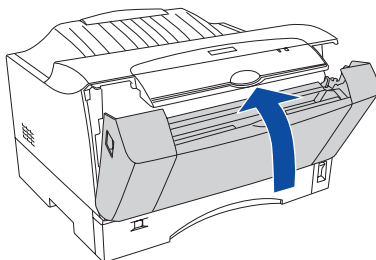
給紙方向に縦にかすれたり白いスジが入る場合や、文字や黒い部分の輪郭がにじむ場合は、以下の手順に従ってプリンタ内部を清掃してください。

- 作業中は、指示以外の部分に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
- 清掃作業は、電源をオフ（〇）にしてコンセントから電源コードを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

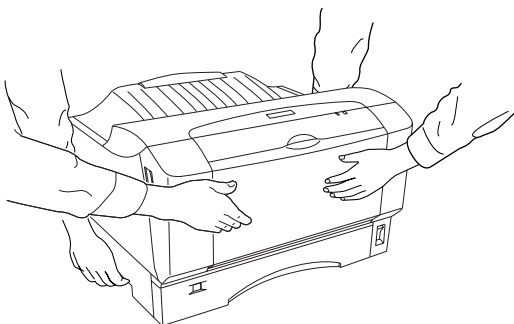
！注意

- 指示以外のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

1 左右の開閉レバーを引いたまま、前カバーを開けます。

2 上カバーを開けます。

③ **前カバーの内側にある金属プレート部分を、乾いた布でていねいに拭きます。**

！注 意 金属プレート部分の直後にあるローラには手を触れないでください。

④ **上カバーを閉じます。**

⑤ **前カバーを閉じます。**

以上でプリンタ内部の清掃は終了です。

プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように持ち上げてください。

⚠注意

- 本機を持ち上げる際は、必ず２人で作業を行ってください。本機の重量は約14.5kg（消耗品含まず）です。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ下部のくぼみの部分に手をかけ、正面に手を添えてて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。
- プリンタ本体を持ち上げる場合は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。

近くへの移動

はじめに本機の電源をオフ（〇）にして、以下のものを取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- MP トレイ内の用紙（必ず MP トレイを閉じてください。）
- 用紙カセット内の用紙

運搬するときは

本機を輸送する場合は以下の手順で準備してください。

1. **本機の電源をオフ（〇）にして、取り付けてある以下のものを取り外します。**
   - 電源コード
   - インターフェイスケーブル
   - MP トレイ内の用紙（必ず MP トレイを閉じてください。）
   - 用紙カセット内の用紙
   - トナーカートリッジ

2. **保護材や梱包材を使用して梱包します。**

   震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本機の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。プリンタは精密機械ですので、梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。
   - 取り外した使用中 / 使用済みのトナーカートリッジは、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。
   - 製品購入時に使用されていた梱包材を使用して購入時の状態で梱包してください。

！注意
- プリンタからトナーカートリッジを必ず取り外してください。取り外したカートリッジは、製品購入時の梱包箱か袋などに入れて輸送してください。
- 製品購入時に取り付けられていた輸送用の保護材を必ず取り付けて輸送してください。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

トラブル解決のヒント

トラブルが発生した場合、下記に当てはまりそうなものがあれば、そのタイトルをクリックしてください。トラブル一覧表へジャンプします。

セットアップができないときは

故障かな？と思ったら

用紙が詰まったときは

思った通りに印刷できないときは

印刷結果がおかしいときは

どうしても解決しないときは

トラブル一覧表

発生し得るトラブルを、内容別に一覧表にまとめてあります。タイトルをクリックすると、トラブル対処方法の解説ページへジャンプします。

セットアップができないときは	
プリンタドライバがインストールできない	USB 接続で、プリンタドライバのインストールができない（Windows）
	ソフトウェア CD を入れても、コンピュータにセットアップ画面が表示されない（Windows）
	プリンタドライバがインストールできない（Mac OS X）
プリンタが認識されない	Windows でプリンタが認識されない
	Mac OS でプリンタが認識されない
	USB 接続で、プリンタドライバのインストールができない（Windows）
	印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない
	USB ハブに接続すると正常に動作しない

故障かな？と思ったら	
コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示された	EPSON プリンタウィンドウ！3 のワーニングメッセージやエラーメッセージが表示された
	「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生した
	「通信エラーが発生しました」と表示される
	Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する
プリンタのランプが点灯または点滅している	－
ひんぱんにエラーや警告が発生する	－
プリンタが応答しない、印刷できない	プリンタに印刷データを送ったが、印刷されない
	プリンタの電源が入らない
	印刷が途中で中断されてしまう
	印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない
	USB ハブに接続すると正常に動作しない
	給排紙されない
	何も印刷されない
	印刷に時間がかかる
	ステータス（状態）が画面表示できない
印刷速度が遅い	－
プリンタの電源が入らない	－

故障かな？と思ったら	
プリンタが認識されない	Windows でプリンタが認識されない
	Mac OS でプリンタが認識されない
	USB 接続で、プリンタドライバのインストールができない（Windows）
	印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない
	USB ハブに接続すると正常に動作しない
用紙を二重送りしてしまう	−
周辺の電化製品やコンピュータ機器に異常が発生する	−
ブレーカが動作してしまう	−

用紙が詰まったときは	
紙詰まりの原因	−
紙詰まりの対処方法	用紙カセットでの紙詰まり
	MP トレイでの紙詰まり
	プリンタ内部での紙詰まり
紙詰まりが解決できない	−

思った通りに印刷できないときは	
複数のページを 1 つのページに割り付けて印刷できない	−
ページを拡大 / 縮小して印刷できない	−
指定した給紙装置から給紙できない	−
印刷を中止したい	−
画面表示と印刷結果が異なる	画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される
	ページの左右が切れて印刷される
	画面と異なる位置に印刷される
	設定と異なる印刷をする
	楕円のような模様が印刷される
濃淡が思うように印刷できない	−
きれいに印刷できない	きれいに印刷できない
	印刷結果が薄い（かすれる、不鮮明）
	塗りつぶし部分に白点がある
用紙を二重送りしてしまう	−
用紙がカールする	−
割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない	−
ステータス（状態）が画面表示できない	−

印刷結果がおかしいときは	
画面表示と印刷結果が異なる	画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される
	ページの左右が切れて印刷される
	画面と異なる位置に印刷される
	設定と異なる印刷をする
きれいに印刷できない	きれいに印刷できない
	印刷結果が薄い（かすれる、不鮮明）
	塗りつぶし部分に白点がある
印刷結果が汚れる	指でこするとにじむ、トナーがはがれる
	汚れ（点）が印刷される
	周期的に汚れがある
	塗りつぶし部分に白点がある
	用紙全体が塗りつぶされてしまう
	裏面が汚れる

セットアップができないときは

プリンタドライバがインストールできない

USB 接続で、プリンタドライバのインストールができない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 プレインストールマシンまたはWindows98がプレインストールされていてWindows Me/2000/XPにアップグレードされたマシンですか？

Windows95からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータやUSBポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピューターメーカーへご確認ください。

本書 338 ページ「Windows システム条件」

ソフトウェア CD を入れても、コンピュータにセットアップ画面が表示されない（Windows）

CD-ROM の Autorun 機能が働いていない可能性があります。

CD-ROM ドライブの CD アイコンをダブルクリックするか、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［EPSETUP.EXE］をダブルクリックすることで、セットアップ画面が表示されます。

プリンタドライバがインストールできない（Mac OS X）

UNIX ファイルシステム（USF）形式でフォーマットしたドライブにプリンタドライバをインストールしましたか？

Mac OS Xをインストールする際に、ドライブのフォーマットをMac OS拡張(HFS+)形式または UNIX ファイルシステム（UFS）形式から選択することができます。本製品用のプリンタドライバは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。

プリンタが認識されない

Windows でプリンタが認識されない

プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

LP-V1000 のプリンタドライバが、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されているか、確認してください。登録されていない場合、プリンタドライバが正しくインストールされていません。再度プリンタドライバをインストールしてください。

☞ セットアップガイド（紙マニュアル）

通常使うプリンタとして設定されていますか？

アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷できるプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして設定されているか確認してください。

❶ **［スタート］メニューから、［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows XP の場合**

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 **通常使うプリンタに設定されているか確認します。**

- **Windows XP/Server 2003 の場合**

  LP-V1000 のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、通常使うプリンタに設定されています。チェックマークが付いていない場合は、プリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  LP-V1000 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Mac OS でプリンタが認識されない

プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Mac OS 9 の場合

［セレクタ］で本機のプリンタドライバが選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているか確認してください。

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバが選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているか確認してください。

QuickDraw GX を使用していますか？

本機のプリンタドライバは、Mac OS 9 の QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

本書 339 ページ「Mac OS システム条件」

正しいプリンタドライバが選択されていますか？

Mac OS 9 の場合

［セレクタ］で本機のプリンタドライバを選択してください。

本書 97 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバを通常デフォルトで使うプリンタとして選択するか、［プリント］ダイアログで本機を選択してください。

本書 154 ページ「印刷を始める前に」
本書 169 ページ「［プリント］ダイアログ」

UNIX ファイルシステム（USF）形式でフォーマットしたドライブにプリンタドライバをインストールしましたか？

Mac OS Xをインストールする際に、ドライブのフォーマットをMac OS拡張（HFS+）形式または UNIX ファイルシステム（UFS）形式から選択することができます。本製品用のプリンタドライバは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。

USB 接続で、プリンタドライバのインストールができない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 プレインストールマシンまたはWindows98がプレインストールされていてWindows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

Windows95からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータやUSB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

本書 338 ページ「Windows システム条件」

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにしてください。USB 接続の場合は、プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

USB ハブが正しく認識されていますか？

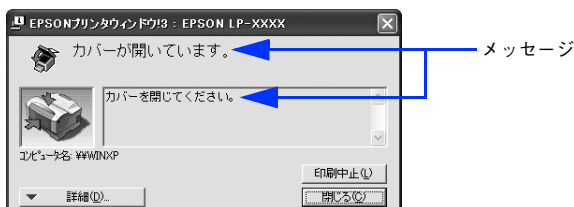
Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく接続されているか確認してください。

故障かな？と思ったら

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示された

EPSON プリンタウィンドウ！3 のワーニングメッセージやエラーメッセージが表示された

画面に表示された内容を一読して、必要な手段を講じてください。

＜例＞ Windows の EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生した

インターフェイスケーブルが確実に差し込まれていますか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

Windows プリンタドライバの設定が正しくありません。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］／［ポート］タブの［印刷先のポート］／［印刷するポート］が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］／［詳細設定］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合、ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-Directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定について詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタの電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（I）にします。

インターフェイスケーブルが確実に差し込まれていますか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

本書 253 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」
本書 253 ページ「USB インターフェイスケーブル」

Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する

Windows XP のリモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行していますか？

Windows XP のリモートデスクトップ機能を利用している状態で、移動先のコンピュータからそのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON プリンタウィンドウ！3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

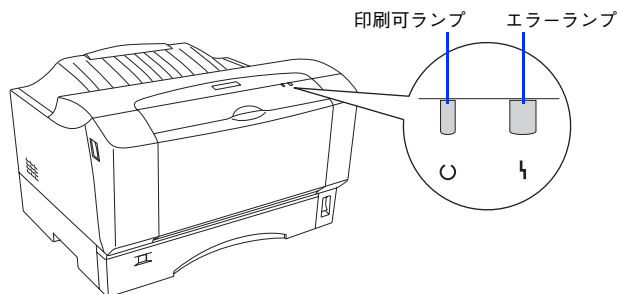
プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）

本機は双方向通信が有効になっていないと使用できません。

- Windows98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］をクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows2000/XP/Server 2003 の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向通信サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

プリンタのランプが点灯または点滅している

プリンタの各ランプの状態を確認してください。ランプが点灯または点滅していたら、下記の説明を参照して適切な処置をしてください。

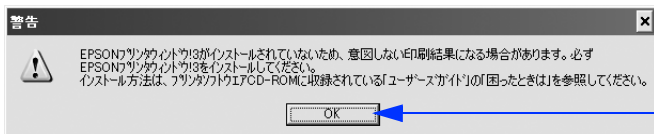
ランプはプリンタの上部右側にあります。

印刷可ランプ	エラーランプ	状態	処置
消灯	消灯	電源オフ	―（問題はありません。）
点灯	消灯	印刷可能な状態です。 （消耗品ワーニング以外のワーニングが発生している場合もありますが、自動的にワーニングは解除されます。）	―（問題はありません。）
点滅	消灯	印刷可能な状態へ移行中です（データ受信中を含む）。 例）ウォームアップ、 データ受信中、 ジョブキャンセル中	しばらくお待ちください。
点滅 （点灯約 1 秒、 消灯約 3 秒）	消灯	消耗品ワーニング	消耗品（トナーカートリッジ）の交換時期が間近か、純正品でないトナーカートリッジが取り付けられています。 • 消耗品を用意してください。 • 本機専用の純正トナーカートリッジを取り付けてください。メッセージは自動的に消えます。
点滅 （緑 / 赤が交互に点滅）	点滅	エンジンエラー サービスコールエラーです。	プリンタの電源をオフ（○）にして、しばらくたってから再度オン（｜）にしてください。
点滅 （緑 / 赤が同時に点滅）	点滅	RAM チェックエラー（RAM メモリ未装着）	プリンタの電源をオフ（○）にして、しばらくたってから再度オン（｜）にしてください。

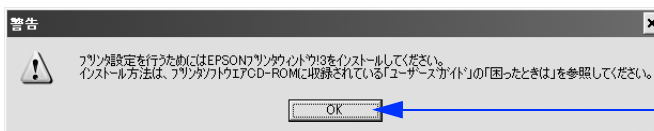
印刷可ランプ	エラーランプ	状態	処置
点灯	点滅	プリンタの電源をオフ（○）にしなくても、解除できるエラーが発生しています。	EPSON プリンタウィンドウ !3 で解除できるエラーが発生していますので、メッセージに従ってください。 • 消耗品（トナーカートリッジ）を交換してください。 • プリンタドライバで指定した用紙とセットしてある用紙が異なります。用紙を交換してください。 • メモリ不足ですので、印刷を中止して印刷データを確認してください。 など
消灯	点灯	コントローラエラー サービスコールエラーです。	プリンタの電源をオフ（○）にして、しばらくたってから再度オン（	）にしてください。
点滅	点灯	プロトコルエラー	プリンタの電源をオフ（○）にして、しばらくたってから再度オン（	）にしてください。
点灯	点灯	プリンタの電源をオフ（○）にしなくても、解除できるエラーが発生しています。	EPSON プリンタウィンドウ !3 で解除できるエラーが発生していますので、メッセージに従ってください。 • 前カバーや上カバーが開いています。閉じてください。 • 用紙がなくなりました。セットしてください。 本書 207 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」 本書 213 ページ「MP トレイへの用紙のセット」 • 詰まった用紙を取り除いてください。 本書 304 ページ「用紙が詰まったときは」

ひんぱんにエラーや警告が発生する

Windows でお使いの場合、EPSON プリンタウィンドウ！3 がインストールされていますか？

EPSON プリンタウィンドウ！3 がインストールされていないと、以下の場合に警告メッセージが表示されます。

- 印刷を実行しようとした場合やプリンタドライバを開こうとした場合（アプリケーションソフトから開いたり、［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダ内のプリンタから［印刷設定］や［プロパティ］を選択した場合）

- ステータスシートを印刷しようとした場合

- プリンタドライバの［環境設定］ダイアログで［プリンタ設定］をクリックして設定を行おうとした場合

EPSON プリンタウィンドウ！3 がインストールされていないと、意図した印刷結果にならない場合があります。本機をお使いいただく場合は、以下のページを参照して EPSON プリンタウィンドウ！3 を必ずインストールしてください。

☞ 本書 66 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」

Mac OS でお使いの場合、正しいバージョンの OS を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、Mac OS 9 または Mac OS X（10.2.x 以降）です。

☞ 本書 339 ページ「Mac OS システム条件」

Mac OS のシステムの空きメモリ容量は十分ですか？

コンピュータ本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどしてメモリの空き容量を増やすか、コンピュータのメモリを増設してください。

- システムの空きメモリ容量とは、アップルメニューから［このコンピュータについて…］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
- 印刷に必要なメモリ容量については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 339 ページ「Mac OS システム条件」
- 必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的にコンピュータの仮想メモリを使用してください。（［システムが使用するメモリ］＋［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください）。

ご使用の環境にもよりますが、以上の措置により、より快適にご使用になれる場合があります。

プリンタが応答しない、印刷できない

プリンタに印刷データを送ったが、印刷されない

インターフェイスケーブルが確実に差し込まれていますか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ 本書 253 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」
☞ 本書 253 ページ「USB インターフェイスケーブル」

プリンタがデータを処理できません。

扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因で、プリンタ側でデータの処理ができません。プリンタドライバの［メモリ不足回避］を有効にするか、扱う印刷データの要領を小さくしてください。

☞ Windows：本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 118 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

プリンタが印刷できない状態です。

以下のページを参照して、プリンタのランプの状態を確認します。パネルのエラーランプ（赤）が点滅または点灯している場合はエラーが発生しています。エラーを解除してください。

本書 284 ページ「プリンタのランプが点灯または点滅している」

EPSONプリンタウィンドウ！3からプリンタの状態をモニタすることができますか？

通信機能が正常に機能していないと印刷できません。

- プリンタの状態（ステータス）が画面に表示できることを確認してください。
  Windows：本書 62 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
  Mac OS 9：本書 145 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
  Mac OS X：本書 189 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
- Windows でステータスが表示できない場合は、以下のページを参照してください。
  本書 323 ページ「ステータス（状態）が画面表示できない」

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

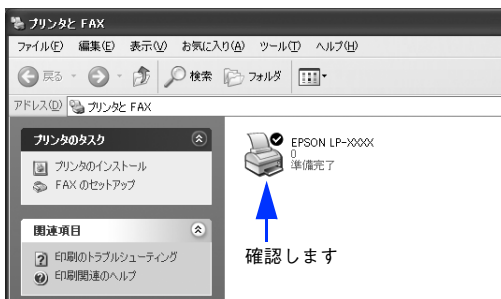
コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。印刷品質（解像度）を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

LP-V1000 用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

LP-V1000 のプリンタドライバが、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されているか、確認してください。登録されていない場合、プリンタドライバが正しくインストールされていません。再度プリンタドライバをインストールしてください。

セットアップガイド（紙マニュアル）

Mac OS 9 の場合

お使いの機種のプリンタドライバが、［セレクタ］で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタとあっているか確認してください。

Mac OS X の場合

お使いのプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］に追加されているか、また複数のプリンタが追加されている場合は通常使うデフォルトプリンタとして選択されているか（プリンタ名が太文字で表示されているか）確認してください。

通常使うプリンタとして設定されていますか（Windows）？

アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷できるプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして設定されているか確認してください。

1 ［スタート］メニューから、［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
- **Windows 98/Me/2000 の場合**
  ［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

❷ **通常使うプリンタに設定されているか確認します。**

- **Windows XP/Server 2003 の場合**
  LP-V1000 のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、通常使うプリンタに設定されています。チェックマークが付いていない場合は、プリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**
  LP-V1000 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Windows プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていますか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

プリンタフォルダから確認する場合

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**

［スタート］－［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

プリントマネージャから確認する場合

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

- **Windows XP の場合**

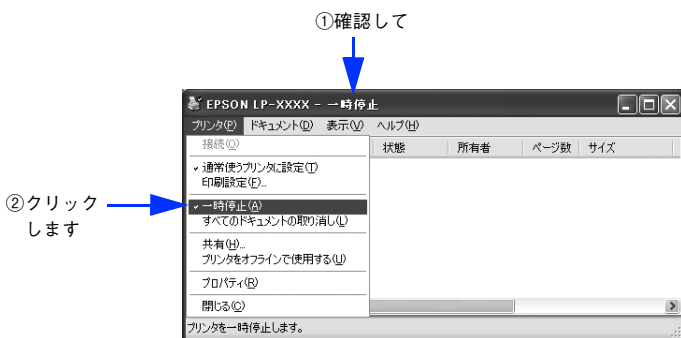
① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 **お使いのプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。**

Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。
プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
☞ 本書 74 ページ「プリンタ接続先の変更」

Windows 上でお使いいただいている場合、中間スプールフォルダの設定を変更してみてください。

プリントサーバに Windows を使ってプリンタを共有する場合は、プリンタの中間スプールフォルダを以下のように設定してください。

① ハードディスクに十分な空き容量を確保して、任意のフォルダを作成します。

② Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、そのフォルダをどのユーザーの印刷データでも処理できるようにします。

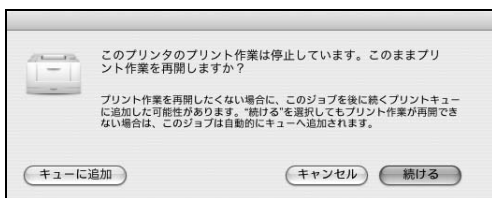
③ そのフォルダを、中間スプールフォルダとして設定します。

☞ 本書 55 ページ「[動作環境設定]ダイアログ」

これにより、クライアントから送られた印刷データをプリントサーバでスプール（一時的に保存）して共有プリンタで印刷できるようになります。

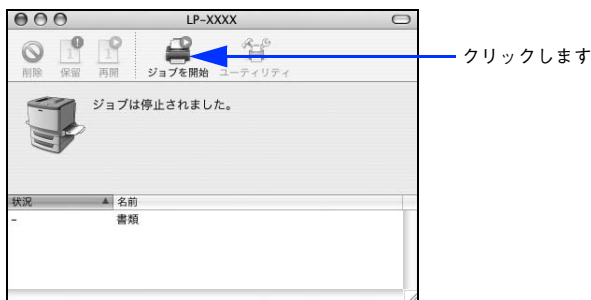
Windows2000/XP/Server 2003 で中間スプールフォルダをどのユーザーからでも処理できるように、フォルダの共有化が必要です。さらに、そのフォルダへのアクセス権はすべてのユーザー（Everyone）に設定し、フルコントロールを「許可」の状態にしてください。設定方法の詳細は、各 OS の取扱説明書をご覧ください。

Mac OS X でプリンタが一時停止になっていますか？

Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］でプリンタが一時停止なっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

［続ける］をクリックすると、プリンタ作業が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

① ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます)。

② プリンタ名（LP-V1000）をダブルクリックします。

③ ［ジョブを開始］をクリックします。

Mac OS X の［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で印刷ジョブを［保留］・［再開］しましたか？

Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で保留した印刷ジョブを再開しても、まれに印刷が正常に完了しない場合があります。一旦印刷ジョブを削除し、プリンタの電源を再投入してください

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？
電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

電源コンセントに電気が来ていますか？
コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。他の電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するか確かめてください。

正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか？
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。

印刷が途中で中断されてしまう

コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定を、「ECP」または「ENHANCED」に変更していますか？
コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定が「ECP」または「ENHANCED」以外になっていると、印刷が途中で中断されてしまうことがあります。この場合は、印刷データを効率よくプリンタに送るために、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHANCED」に設定してください。また、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHANCED」に設定できない、設定しても印刷が途中で中断されてしまう場合は、プリンタドライバで「全ページをスプールしてから印刷」を選択してください。

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？
プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できます。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

USB ハブが正しく認識されていますか？
Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく接続されているか確認してください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していますか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？

プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

用紙カセットの場合

セットしている用紙を確認してください。また、用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルも確認してください。セットした用紙とプリンタドライバの設定は合わせてください。
☞ 本書 207 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

MP トレイの場合

セットしている用紙を確認してください。またプリンタドライバで設定している［MP トレイ用紙サイズ］/［トレイ用紙サイズ］＊ も確認してください。セットした用紙とプリンタドライバの設定は合わせてください。

＊　OS によって設定名は異なります。

☞ 本書 213 ページ「MP トレイへの用紙のセット」
☞ Windows：本書 50 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 135 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 193 ページ「EPSON リモートパネル !」

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

☞ Windows：本書 26 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 112 ページ「[プリント] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 178 ページ「[基本設定] ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先される場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。

用紙をよくさばいて、セットし直してください。

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？

トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

トナーカートリッジは正しくセットされていますか？

トナーカートリッジを正しくセットしてください。

☞ 本書 260 ページ「トナーカートリッジの交換手順」

トナーカートリッジの保護シールが抜かれていますか？

保護シールを引き抜いてください。

☞ 本書 260 ページ「トナーカートリッジの交換手順」

プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。

プリンタ内部 / 排紙部での用紙詰まりがないか確認してください。

☞ 本書 310 ページ「プリンタ内部での紙詰まり」

印刷に時間がかかる

節電モードになっていますか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。

厚紙や不定形紙（ハガキ、封筒を含む）などの特殊紙に印刷していますか？

厚紙や不定形紙などの特殊紙に印刷する場合や、印刷する用紙のサイズによって、通常の印刷に比べ印刷速度が遅くなる場合があります。これは、特殊紙や不定形紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。

Mac OS 9 のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Mac OS 9 用のプリンタドライバは、コンピュータ本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

Mac OS 9 をお使いの場合、バックグラウンドプリントを［入］にしていますか？

ご利用のコンピュータによっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞ 本書 148 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

ステータス（状態）が画面表示できない

DMA 転送の設定になっていますか？

DMA 転送の設定になっているとステータスを画面表示（モニタ）することができないことがあります。この場合は、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（または ENHANCRD）以外にして、DMA 転送の設定を解除してください。詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Windows の双方向通信機能の設定を解除しましたか？

本機は双方向通信機能が有効になっていないと使用できません。

- Windows98/Me をお使いの場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］をクリックして、［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択してください。
- Windows2000/XP/Server 2003 の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

印刷速度が遅い

A5 サイズやハガキなど、用紙幅の小さい用紙に印刷していますか？

A5 サイズの用紙や郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒、不定形紙、用紙幅が 210ｍｍ未満の用紙では、以下の条件で印刷を行った場合、定着機の過熱を避けるために印刷スピードが半分程度になる場合があります。

- 上記の用紙を連続して 31 枚以上印刷した場合
- A4 サイズの用紙を 15 枚印刷した後、続けて A5 サイズの用紙を 16 枚印刷するなど、通算での連続印刷枚数が 31 枚を超えた状態で上記の用紙の印刷を行った場合

このままでも印刷は続行できますが、10 分間以上印刷を行わなければ印刷スピードは元に戻ります。

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが確実に差し込まれていますか？
電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？
コンセントがスイッチ付きの場合は、スイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

プリンタが認識されない

Windows でプリンタが認識されない

プリンタドライバが正しくインストールされていますか？
LP-V1000 のプリンタドライバが、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されているか、確認してください。登録されていない場合、プリンタドライバが正しくインストールされていません。再度プリンタドライバをインストールしてください。
☞ セットアップガイド（紙マニュアル）

通常使うプリンタとして設定されていますか？

アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷できるプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして設定されているか確認してください。

1 ［スタート］メニューから、［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows Server 2003 の場合**

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］にカーソルを合わせ、❷ へ進みます。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 **通常使うプリンタに設定されているか確認します。**

- **Windows XP/Server 2003 の場合**

  LP-V1000 のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、通常使うプリンタに設定されています。チェックマークが付いていない場合は、プリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  LP-V1000 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Mac OS でプリンタが認識されない

プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Mac OS 9 の場合

［セレクタ］で本機のプリンタドライバが選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているか確認してください。

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバが選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているか確認してください。

QuickDraw GX を使用していますか？

本機のプリンタドライバは、Mac OS 9 の QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

☞ 本書 339 ページ「Mac OS システム条件」

正しいプリンタドライバが選択されていますか？

Mac OS 9 の場合

［セレクタ］で本機のプリンタドライバを選択してください。

☞ 本書 97 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバを通常デフォルトで使うプリンタとして選択するか、［プリント］ダイアログで本機を選択してください。

☞ 本書 154 ページ「印刷を始める前に」
☞ 本書 169 ページ「［プリント］ダイアログ」

USB 接続で、プリンタドライバのインストールができない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 プレインストールマシンまたはWindows98 がプレインストールされていてWindows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

Windows95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードしたコンピュータやUSB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

☞ 本書 338 ページ「Windows システム条件」

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにしてください。USB 接続の場合は、プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく接続されているか確認してください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついている可能性があります。

用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていますか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

本機以外のプリンタで裏面に印刷された用紙を使用しましたか？

一度印刷した後の裏紙は使用できません。

☞ 本書 203 ページ「印刷できない用紙」

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

用紙の仕様を確認し、使用可能な用紙をお使いください。

☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

周辺の電化製品やコンピュータ機器に異常が発生する

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピュータがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。

本機と蛍光灯、コンピュータなどが接続されている電源ラインを分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

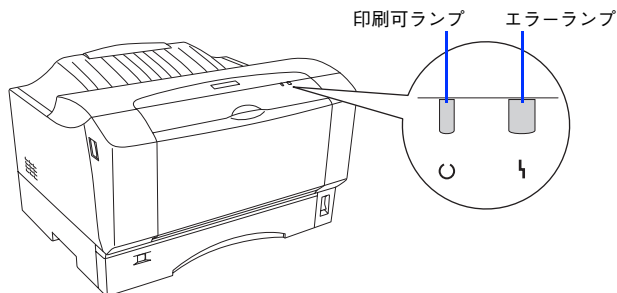
ブレーカが動作してしまう

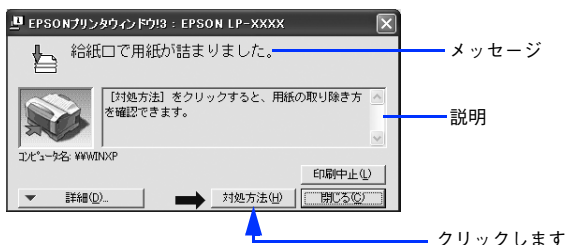
ブレーカの定格は十分ですか？

ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まる主な原因と、詰まった用紙を取り除く方法を説明します。

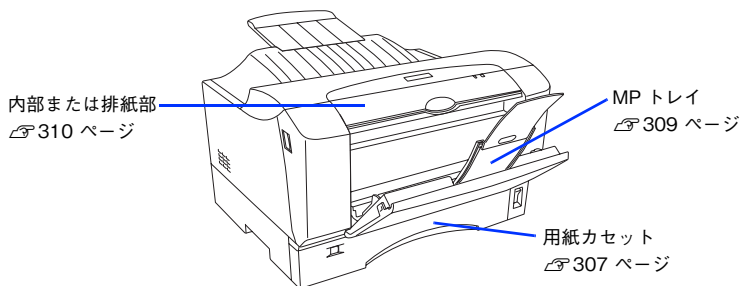
紙詰まりが発生したときは、印刷可ランプとエラーランプが同時に点灯してお知らせします。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON プリンタウィンドウ !3 が紙詰まりをお知らせします。[対処方法]をクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って作業してください。

Windows：本書 58 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」
Mac OS 9：本書 143 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」
Mac OS X：本書 188 ページ「プリンタの状態をコンピュータでモニタするには」

! 注意

印刷中にプリンタの電源をオフにしたりインターフェイスケーブルが外れたりした場合は、通信エラーとなります。プリンタの電源をオンにしたりケーブルを接続してもその後の印刷結果は保証されなくなります。このような場合は、次の処理を順次行ってください。

- コンピュータから印刷を中止して、再度印刷を行います。
- 上記の処理で印刷が正常に行えない場合は、プリンタを再起動して印刷します。
- それでも正常に印刷が行えない場合は、コンピュータを再起動して印刷します。

Windows：本書 87 ページ「印刷の中止方法」
Mac OS 9：本書 150 ページ「印刷の中止方法」
Mac OS X：本書 197 ページ「印刷の中止方法」

以下のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。詰まった用紙を取り除く箇所は、EPSON プリンタウィンドウ !3 の表示で確認できます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージ	用紙詰まりの発生箇所	ページ
給紙口で用紙が詰まりました。	用紙カセット	307 ページ
給紙口で用紙が詰まりました。	MP トレイ	309 ページ
内部で用紙が詰まりました。	プリンタ内部	310 ページ
排紙部で用紙が詰まりました。		

紙詰まりの状態で放置しないでください。詰まった場所によっては、定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は、以下のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙が正しくセットされていない
- 用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルが、セットした用紙サイズに設定されていない
- 用紙カセットが正しくセットされていない
- アプリケーションソフトやプリンタドライバで指定した用紙サイズより小さいサイズの用紙を給紙している
- 本機で使用できない用紙を使用している
  本書 203 ページ「印刷できない用紙」
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している
- 給紙ローラや給紙パッドが汚れている
  本書 265 ページ「給紙ローラの清掃」

！注意

- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 万一アプリケーションソフトやプリンタドライバで指定したサイズと異なるサイズの用紙を給紙すると、紙詰まりやエラーが発生します。正しい用紙をセットしてから、印刷データをキャンセルするかカバーを開閉してください。
  Windows：本書 87 ページ「印刷の中止方法」
  Mac OS 9：本書 150 ページ「印刷の中止方法」
  Mac OS X：本書 197 ページ「印刷の中止方法」
- プリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS）で用紙サイズを指定した場合は、指定と必ず同じサイズの用紙をセットしてください。指定したサイズと異なるサイズの用紙を給紙すると、紙詰まりやエラーが発生します。正しい用紙をセットしてから、印刷データをキャンセルするかカバーを開閉してください。
  Windows：本書 87 ページ「印刷の中止方法」
  Mac OS 9：本書 150 ページ「印刷の中止方法」
  Mac OS X：本書 197 ページ「印刷の中止方法」

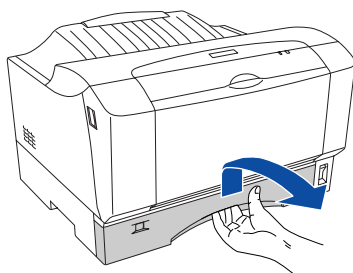
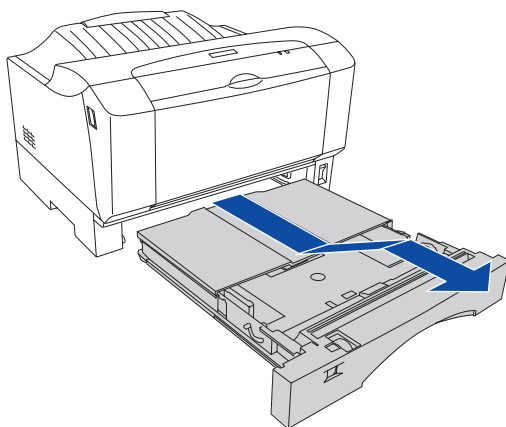
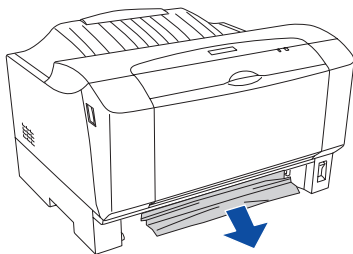
紙詰まりの対処方法

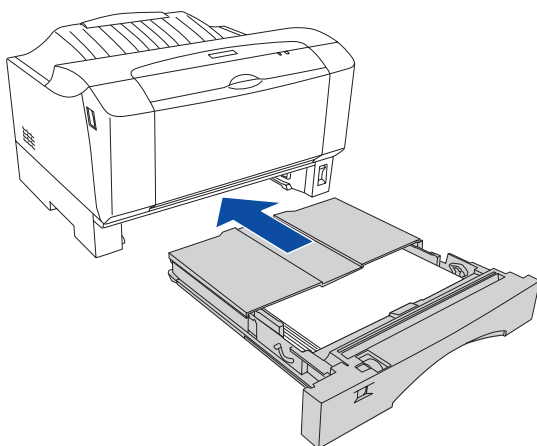
用紙カセットでの紙詰まり

印刷可ランプとエラーランプが同時に点灯して、EPSON プリンタウィンドウ !3 に「給紙口で用紙が詰まりました。」と表示された場合は、用紙カセットで用紙が詰まっています。プリンタの電源はオン（|）のまま、次の手順に従って詰まった用紙を取り除いてください。

プリンタの電源をオフ（○）にすると印刷途中のデータがなくなりますので、紙詰まりを解消しても詰まったページから印刷を再開できません。

1 用紙カセットをプリンタから取り外します。

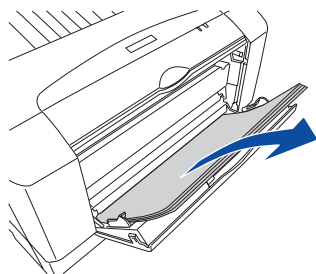
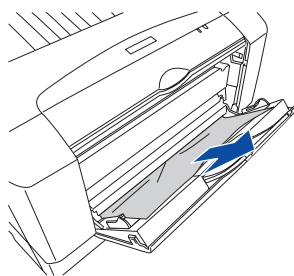
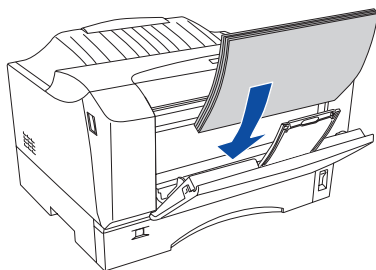
① 用紙カセットの先端を少し持ち上げながら引き出します。

② 用紙カセットを手前に引き出して、先端を少し持ち上げながら引き抜きます。

2 **詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。**

3 **用紙カセットに用紙を正しくセットし直して、プリンタに取り付けます。**

☞ 本書 207 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

- 詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
  ☞ 本書 310 ページ「プリンタ内部での紙詰まり」

MP トレイでの紙詰まり

印刷可ランプとエラーランプが同時に点灯して、EPSON プリンタウィンドウ !3 に「給紙口で用紙が詰まりました。」と表示された場合は、MP トレイで用紙が詰まっています。プリンタの電源はオン（|）のまま、次の手順に従って詰まった用紙を取り除いてください。

プリンタの電源をオフ（○）にすると印刷途中のデータがなくなりますので、紙詰まりを解消しても詰まったページから印刷を再開できません。

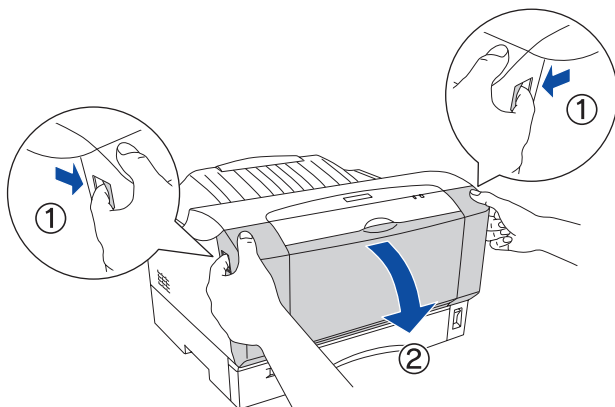
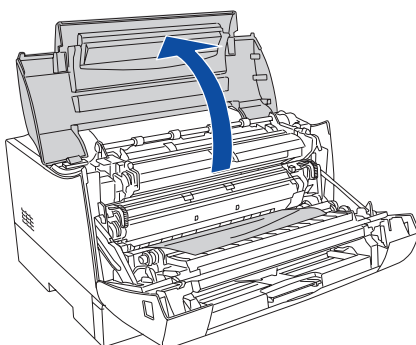
1. **MP トレイから用紙を取り除きます。**

2. **詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。**
MP トレイに用紙がセットしてある場合は、一旦用紙を取り除きます。

3. **MP トレイに用紙をセットし直します。**

- 詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部を確認します。
☞ 本書 310 ページ「プリンタ内部での紙詰まり」

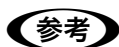
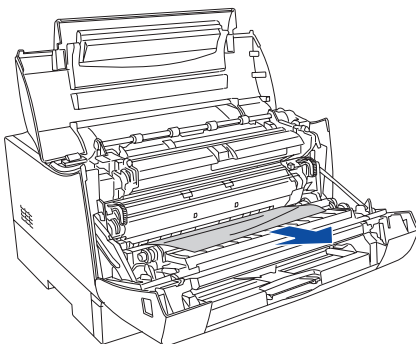
プリンタ内部での紙詰まり

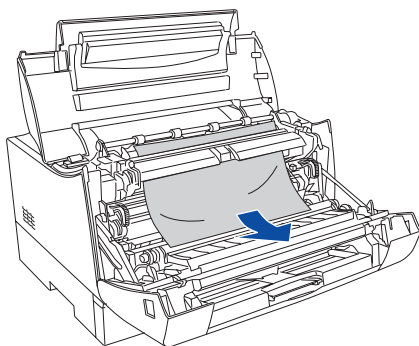
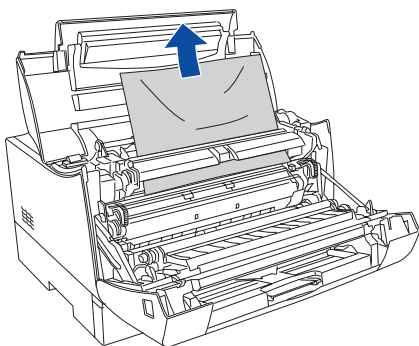
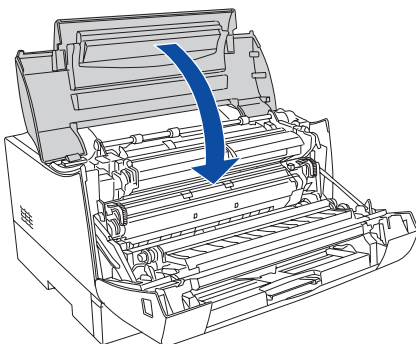
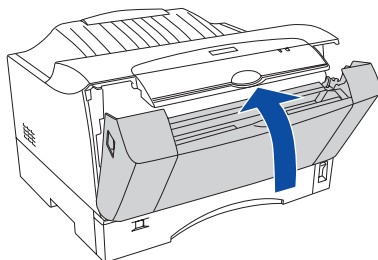
印刷可ランプとエラーランプが同時に点灯して、EPSON プリンタウィンドウ !3 に「内部で用紙が詰まりました。」または「排紙部で用紙が詰まりました。」と表示された場合は、用紙カセットで用紙が詰まっています。プリンタの電源はオン（｜）のまま、次の手順に従って詰まった用紙を取り除いてください。

プリンタの電源をオフ（○）にすると印刷途中のデータがなくなりますので、紙詰まりを解消しても詰まったページから印刷を再開できません。

1. **左右の開閉レバーを引いたまま、前カバーを開けます。**

   MP トレイから給紙している場合は、用紙を取り除いて MP トレイを閉じます。

2. **上カバーを開けます。**

3　用紙が詰まった位置や状態に応じて、下図を参考に用紙をゆっくり引き抜きます。

- トナーカートリッジの下で詰まった場合は、用紙を手前にゆっくり引き抜きます。

用紙がうまく引き抜けない場合は、一旦トナーカートリッジを取り外してから用紙を引き抜いてください。

- 定着器内で詰まった場合は、用紙の詰まり状態に応じて上方向または下方向（手前）にゆっくり引き抜きます。

4　上カバーを閉じます。

5 **前カバーを閉じます。**

6 **用紙をセットし直します。**

- MP トレイから給紙している場合は、MP トレイを開けて用紙を正しくセットします。
- 用紙カセットから給紙している場合は、用紙を正しくセットされているか確認します。
- 詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。
- 用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、給紙口を確認します。

☞ 本書 307 ページ「用紙カセットでの紙詰まり」
☞ 本書 309 ページ「MP トレイでの紙詰まり」

紙詰まりが解決できない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

前カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンサービスコールセンターまたは保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は「使い方ガイド」（紙マニュアル）に記載されています。

思った通りに印刷できないときは

複数のページを 1 つのページに割り付けて印刷できない

プリンタドライバの設定を確認してください。

☞ Windows：本書 20 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ Mac OS 9：本書 101 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」
☞ Mac OS X：本書 161 ページ「割り付け印刷で用紙を節約」

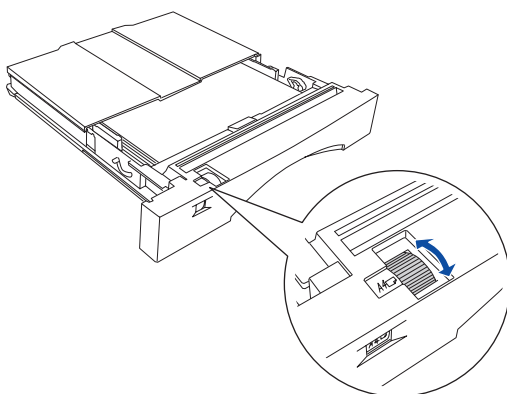
ページを拡大 / 縮小して印刷できない

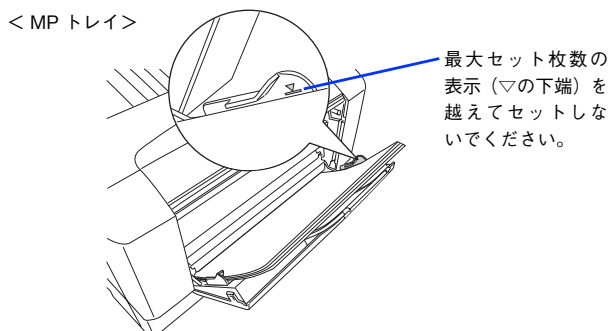
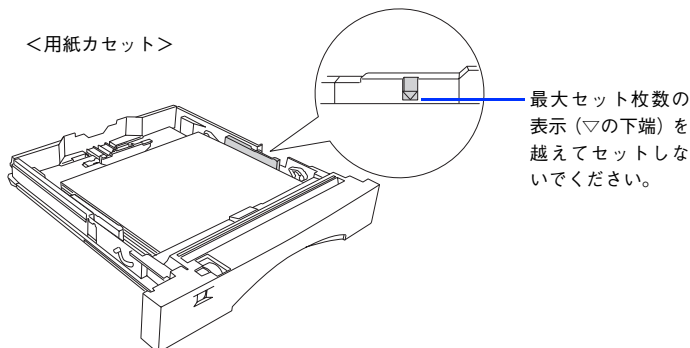
プリンタドライバの設定を確認してください。

☞ Windows：本書 22 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ Mac OS 9：本書 103 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」
☞ Mac OS X：本書 163 ページ「ページを拡大または縮小して印刷」

指定した給紙装置から給紙できない

用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルを正しく設定していますか？

用紙カセットにセットした用紙サイズを、［用紙サイズ設定］ダイヤルで必ず設定してください。

最大枚数（用紙上限線）を超えて用紙をセットしていませんか？

最大枚数（用紙上限線）を超えて用紙をセットすると、正しく給紙できない場合があります。用紙上限線を超えないように用紙をセットしてください。

給紙できない用紙をセットしていませんか？

各給紙装置にセットできる用紙については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 206 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

用紙カセットの場合

セットしている用紙を確認してください。また、用紙カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルも確認してください。セットした用紙とプリンタドライバの設定は合わせてください。

☞ 本書 207 ページ「用紙カセットへの用紙のセット」

MP トレイの場合
セットしている用紙を確認してください。またプリンタドライバで設定している［MP トレイ用紙サイズ］/［トレイ用紙サイズ］* も確認してください。セットした用紙とプリンタドライバの設定は合わせてください。

* OS によって設定名は異なります。

☞ 本書 213 ページ「MP トレイへの用紙のセット」
☞ Windows：本書 50 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 135 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 193 ページ「EPSON リモートパネル !」

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？
プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

☞ Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 178 ページ「［基本設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？
給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先される場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

給紙ローラが汚れていませんか？
給紙ローラを拭いてください。

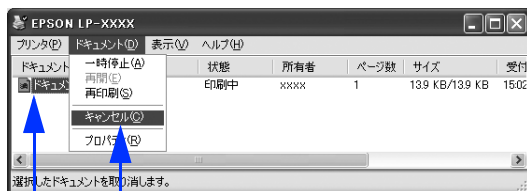
☞ 本書 265 ページ「給紙ローラの清掃」

印刷を中止したい

印刷の途中で処理を中止するときは、以下の方法で印刷データを削除します。

Windows の場合

① 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。

② 中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

Mac OS 9 の場合

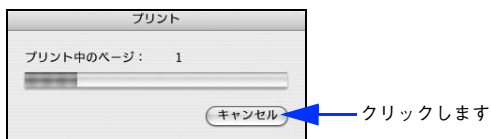
以下のいずれかの方法で印刷を中止します。

- コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押します。
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。
- バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリンタモニタ！3 から印刷を中止します。

① EPSON プリンタモニタ！ 3 を開いて、印刷状況を確かめます。
② EPSON プリンタモニタ！ 3 で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
☞ 本書 149 ページ「印刷状況を表示する」

Mac OS X の場合

以下のいずれかの方法で印刷を中止します。

- アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷中のダイアログが表示されている場合は、印刷を中止するボタン（[キャンセル］など）をクリックします。

- ［Dock］にある［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開き、印刷中のジョブを選択して削除します。

①ダブルクリックし

③クリックします

すべてのジョブを停止または開始するときにクリックします。

②クリックして

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境を確認してください。

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 87 ページ「印刷の中止方法」

☞ Mac OS 9：本書 150 ページ「印刷の中止方法」

☞ Mac OS X：本書 197 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、以下の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

ページの左右が切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

たとえば、Web ブラウザでインターネットの Web サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が Web サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

☞ Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」

☞ Mac OS 9：本書 107 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

☞ Mac OS X：本書 165 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、Windows や Mac OS 9 用プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズにあわせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

☞ Windows：本書 37 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

☞ Mac OS 9：本書 122 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

Mac OS X の場合は、拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷できます。

☞ MacOS X：本書 168 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows：本書 26 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 107 ページ「[用紙設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 165 ページ「[ページ設定] ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。

☞ Windows：本書 52 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 118 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 182 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

楕円のような模様が印刷される

トナー残量が残り少ない可能性があります。

トナー残量が少ないと楕円のような模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

☞ Windows：本書 62 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS 9：本書 145 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Mac OS X：本書 189 ページ「プリンタの状態を確かめるには」

濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していますか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書 35 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 116 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 180 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

プリンタドライバの［明暗］の設定を確認してください。

Windows：本書 35 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 116 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 180 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

印刷濃度の設定は適切ですか？

印刷濃度を調整してみてください。

Windows：本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 118 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

きれいに印刷できない

きれいに印刷できない

トナーカートリッジは、推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。トナーカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるトナーカートリッジの当社純正品については、以下のページを参照してください。

本書 254 ページ「トナーカートリッジ」

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

Windows：本書 35 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 116 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 180 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しいトナーカートリッジに交換してください。

本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？

トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。

本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

印刷結果が薄い（かすれる、不鮮明）

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定は適切ですか？
印刷濃度を調整してみてください。
☞ Windows：本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 118 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？
トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

トナーセーブ機能を使用していますか？
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。
☞ Windows：本書 35 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 116 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 180 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 178 ページ「［基本設定］ダイアログ」

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。
本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しいトナーカートリッジに交換してください。

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。
新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついている可能性があります。
用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていますか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

本機以外のプリンタで裏面に印刷された用紙を使用しましたか？
一度印刷した後の裏紙は使用できません。
本書 203 ページ「印刷できない用紙」

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？
用紙の仕様を確認し、使用可能な用紙をお使いください。
本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

Windows アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定していませんか？

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定すると、一部の Windows アプリケーションソフトは正しく部単位印刷ができない場合があります。プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［アプリケーションの部単位印刷を優先］を無効（チェックなし）にして、アプリケーションソフトではなくプリンタドライバで部単位印刷を設定してください。

☞ 本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ 本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」

！注意　［アプリケーションの部単位印刷を優先］の設定を切り替える場合は、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］から［拡張設定］ダイアログを開いてください。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて［拡張設定］ダイアログを開いて［アプリケーションの部単位印刷を優先］を変更しても有効になりません。

ステータス（状態）が画面表示できない

DMA 転送の設定になっていますか？

DMA 転送の設定になっているとステータスを画面表示（モニタ）することができないことがあります。この場合は、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（または ENHANCRD）以外にして、DMA 転送の設定を解除してください。詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

印刷結果がおかしいときは

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境を確認してください。

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

Windows：本書 87 ページ「印刷の中止方法」
Mac OS 9：本書 150 ページ「印刷の中止方法」
Mac OS X：本書 197 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、以下の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

ページの左右が切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

たとえば、Web ブラウザでインターネットの Web サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が Web サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 107 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 165 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、Windows や Mac OS 9 用プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズにあわせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

Windows：本書 37 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」
Mac OS 9：本書 122 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定するフィットページ印刷」

Mac OS X の場合は、拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷できます。

MacOS X：本書 168 ページ「拡大 / 縮小を自由に設定できる任意倍率印刷」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 107 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 165 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。

☞ Windows：本書 52 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 118 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 182 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

きれいに印刷できない

きれいに印刷できない

トナーカートリッジは、推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。トナーカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるトナーカートリッジの当社純正品については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 254 ページ「トナーカートリッジ」

トナーセーブ機能を使用していますか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書 35 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 116 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 180 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？
トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

印刷結果が薄い（かすれる、不鮮明）

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定は適切ですか？
印刷濃度を調整してみてください。
☞ Windows：本書 52 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 118 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 182 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

トナーカートリッジにトナーが残っていますか？
トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

トナーセーブ機能を使用していますか？
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。
☞ Windows：本書 35 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 116 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 180 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

☞ Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 178 ページ「［基本設定］ダイアログ」

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。

新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

印刷結果が汚れる

指でこするとにじむ、トナーがはがれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

☞ Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 178 ページ「［基本設定］ダイアログ」

汚れ（点）が印刷される

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ Windows：本書 26 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 9：本書 112 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 178 ページ「［基本設定］ダイアログ」

周期的に汚れがある

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れている可能性があります。
用紙を複数枚印刷してください。

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しいトナーカートリッジに交換してください。
☞ 本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 202 ページ「印刷できる用紙の種類」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しいトナーカートリッジに交換してください。

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。
新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう

トナーカートリッジは正しくセットされていますか？
トナーカートリッジを正しくセットし直してください。
☞ 本書 260 ページ「トナーカートリッジの交換手順」

トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しいトナーカートリッジに交換してください。

本書 258 ページ「トナーカートリッジの交換」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上で「使い方ガイド」の裏表紙に記載のエプソンインフォメーションセンターへご連絡ください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 でステータス情報を表示できますか？

コンピュータの画面に表示されている EPSON プリンタウィンドウ !3 を確認します。

画面表示できる	画面表示できない

【画面表示できる】

プリンタ本体に問題はありません。

プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？

☞Windows：48 ページ「[環境設定] ダイアログ」

☞Mac OS 9：132 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」

☞Mac OS X：193 ページ「EPSON リモートパネル !」

印刷できる	印刷できない

- 印刷できる → お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は本書の裏表紙に記載されています。
- 印刷できない → ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。

【画面表示できない】

以下の項目を確認してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていますか？

インストールされていない場合は、以下のページを参照して同梱の「EPSONプリンタソフトウェアCD-ROM」から EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしてください。

☞本書66 ページ「EPSONプリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」

コンピュータは双方向通信に対応していますか？

コンピュータの取扱説明書で確認してください。

接続ケーブルは仕様に合っていますか？

☞本書 338 ページ「仕様」

システム（OS）はプリンタの動作条件を満たしていますか？

☞本書 338 ページ「仕様」

Windowsをお使いの場合、プリンタドライバのプロパティで双方向通信が可能な状態に設定されていますか？

- Windows 2000/XP：プロパティの［ポート］ダイアログを開いて、［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。
- Windows 98/Me：プロパティの［詳細］ダイアログを開いて、［スプールの設定］をクリックします。［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］がチェックされていることを確認します。

問題なし	問題あり

- 問題なし → EPSON プリンタウィンドウ!3を再度起動して、ステータス情報が取得できるか確認してください。
- 問題あり → 上記のうち問題のある項目を解消してください（プリンタが動作する仕様に適合した環境にしてください）。

次ページへ

EPSON プリンタウィンドウ!3を再度起動して、ステータス情報が取得できるか確認してください。
（前ページより）

取得できる	取得できない
プリンタ本体に問題はありません。	ステータスが取得できない場合は、プリンタ本体のトラブルです。以下のページを参照してください。 ☞ 本書 333 ページ「サービス・サポートのご案内」 なお、ご相談先は本書の裏表紙に記載されています。

プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？

☞Windows：48 ページ「[環境設定] ダイアログ」

☞Mac OS 9：132 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」

☞Mac OS X：193 ページ「EPSON リモートパネル !」

印刷できる	印刷できない
お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は本書の裏表紙に記載されています。	ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号* などをご確認のうえ、ご連絡ください。

* 本機の製造番号については、以下のページを参照してご確認ください。
☞ 本書 344 ページ「製造番号の表示位置」

また、EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、以下のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

付録

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 * してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

* 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心 & 充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。
電話番号	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。
所在地	「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソンのホームページにてご確認ください。ホームページの詳細については、「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮 *1 ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍*2してからインストールしてください。

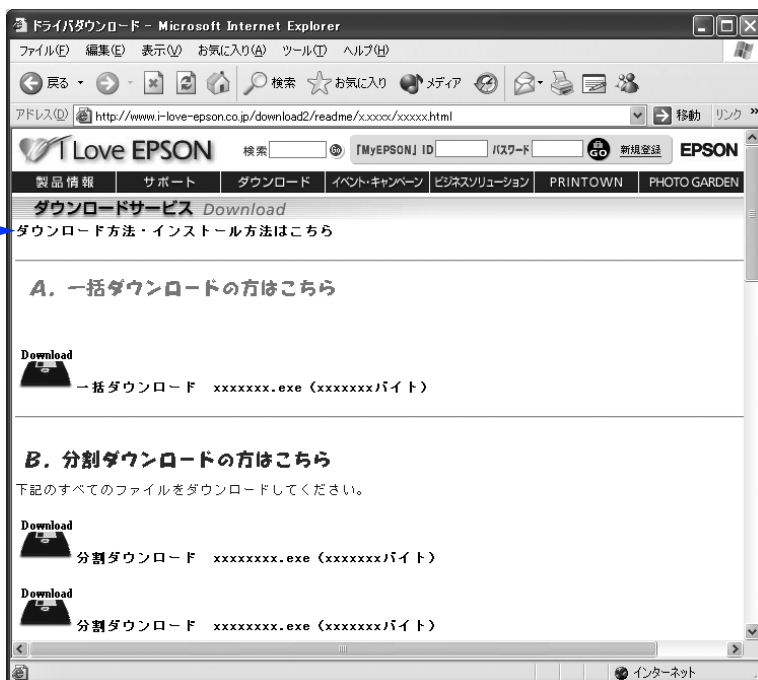
*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

> **参考**
> インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。
> ☞ Windows：本書 89 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
> ☞ Mac OS 9：本書 151 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
> ☞ Mac OS X：本書 198 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

   手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後６年間です。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求め頂いた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（「使い方ガイド」（紙マニュアル）裏表紙の一覧表をご覧ください）

受付日時：月曜日～金曜日　（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
受付時間：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代＊が無償になる為予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。
• 修理のつど発生する修理代・部品代＊が無償になるため予算化ができて便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込／送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払ください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

仕様

Windows システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2005 年 2 月現在）。

<table>
<tr><td colspan="2">対象 OS</td><td>Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003</td></tr>
<tr><td colspan="2">CPU*</td><td>Pentium® 233MHz 以上（Celeron® 633MHz 以上）を推奨</td></tr>
<tr><td colspan="2">RAM*</td><td>64MB（128MB 以上を推奨）</td></tr>
<tr><td colspan="2">空きハードディスク</td><td>500MB 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">接続方法</td><td>USB 接続</td><td>下記オプションケーブルをプリンタに取り付けて使用します。
• EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）</td></tr>
<tr><td>パラレル接続</td><td>下記オプションケーブルをプリンタに取り付けて使用します。
• パラレルインターフェイスケーブル（型番：PRCB4N）</td></tr>
</table>

* 各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

本機を USB 接続で使用する場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ
- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ）または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
　アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

EPSON プリンタウィンドウ !3 の Windows 動作環境（対象機種）

- DOS/V 仕様機（双方向通信機能 [*1] のある機種）[*2]

*1 ローカル接続でご利用の場合は、お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが双方向通信機能に対応しているかをコンピュータメーカーにお問い合わせください。
*2 パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は、「PRCB4N」を使用してください。

! 注 意

- お使いのコンピュータの機種により、プリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

Mac OS システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2005 年 2 月現在）。

コンピュータ		Power PC G3 233MHz 以上搭載機種（G4 500MHz 以上を推奨）
システム *		• Mac OS 9.1 ～ 9.2.x QuickTime Ver. 3.0 以上 Open Transport Ver. 1.1.1 以上 ただし、QuickDraw GX には対応していません（下記「注意」を参照ください）。 • Mac OS X v10.2 以降（v10.3 対応）
印刷時の空きメモリ（RAM）容量		64MB 以上（128MB 以上推奨）
空きハードディスク		100MB 以上（200MB 以上を推奨）
接続方法	USB 接続	下記オプションケーブルをプリンタに取り付けて使用します。 • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）

* 各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

！注意

- Mac OS Xの場合は、標準HFS+形式でフォーマットしたドライブにプリンタソフトウェアをインストールしてください。UNIX ファイルシステム（UFS）形式のドライブにはインストールできません。
- Mac OS 9 の QuickDraw GX で本機を使用することはできません。以下の手順で QuickDraw GX を使用停止にしてください。
  ①caps lock キーを解除しておきます。
  ②スペースキーを押したままコンピュータを起動します（機能拡張マネージャが開きます）。
  ③QuickDraw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします（チェックのない状態になります）。
  ④機能拡張マネージャを閉じます。

Mac OS X v10.2 以降でのご利用においては、OS またはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細については、以下のホームページにてご確認ください。

アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support

OS に登録するコンピュータ名は、次の点に注意して必ず設定してください。

- OS が禁止している文字をコンピュータ名に使用しないでください。
- プリンタを共有（またはネットワーク接続）している場合、固有のコンピュータ名にしてください。

本機を接続したコンピュータがネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかのコンピュータから本機を共有することができます。

☞ Mac OS 9：本書 137 ページ「プリンタを共有するには」
☞ Mac OS X：本書 186 ページ「プリンタを共有するには」

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分電子写真方式	
解像度	600dpi[*1]	
プリント速度[*2]	600dpi	：17 枚 / 分（A4）
ウォームアップ時間	電源投入時 節電からの復帰時	：15 秒以内（温度 22 度、湿度 55 ～ 60%、定格電圧にて） ：7 秒以内（温度 22 度、湿度 55 ～ 60%、定格電圧にて）
ファーストプリント	A4 サイズ印刷時 A3 サイズ印刷時	：9.5 秒 ：11.8 秒
稼働音（本体のみ）	待機時 稼働時	：約 36dB（A） ：約 50dB（A）（標準条件）[*3]

*1 dpi：25.4mm｛1 インチ｝あたりのドット数 （Dots Per Inch）

*2 A5 サイズの厚紙、郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒（洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号）、または不定形紙の場合、一定時間内に印刷 30 枚を超えると印刷速度が半分またはそれ以下になります。ただし、10 分程度印刷を休止すれば元の印刷速度に復帰します。

*3 標準条件：MP トレイを閉めて、用紙カセットから給紙時

環境基本仕様

消費電力	印刷時	平均 339W
	低電力モード時	平均 10W 以下（ヒーターオフ時）
	電源オフ時	0W
省資源機能	割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
回収リサイクル体制	使用済みトナーカートリッジの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されているご案内シートを参照してください。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下をご覧ください。 ☞ 本書 336 ページ「保守サービスのご案内」	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年	

用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

給紙方法	用紙種類		用紙サイズ （ ）内は省略表記です。	紙厚	容量*1
MP トレイ	普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Executive（EXE）、F4	64 ～ 81.4g/m²	30 枚*2
	特殊紙	郵便ハガキ	100 × 148mm（ハガキ）	190g/m²	10 枚*2
	特殊紙	往復郵便ハガキ	148 × 200mm（W ハガキ）	190g/m²	10 枚*2
	特殊紙	封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号	75 ～ 85g/m²	5 枚*2
	特殊紙	厚紙*3	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Executive（EXE）、F4	82 ～ 128g/m²	10 枚*2
	特殊紙	ラベル紙	A4、Letter（LT）	82 ～ 128g/m²	10 枚*2
	特殊紙	OHP シート	A4、Letter（LT）	100g/m²	10 枚*2
	特殊紙	不定形紙*4	幅：100 ～ 297mm 長さ：148 ～ 420mm	64 ～ 81.4 g/m²	30 枚*2
				82 ～ 128g/m²	10 枚*2
用紙カセット	普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）	64 ～ 81.4g/m²	250 枚*5

*1　セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大枚数表示までです。最大枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。
*2　セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 3mm までセット可能です。
*3　厚紙の紙厚は 81.4g/m² を超えて 128g/m² 以下のものを指しますが、本書では「82 ～ 128g/m²」と記載する場合があります。
*4　不定形紙に印刷する場合は、プリンタドライバのユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズを設定してから印刷してください。
*5　セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 22mm までセット可能です。

排紙容量	最大 250 枚（普通紙 64g/m²）

用紙サイズと給紙方法

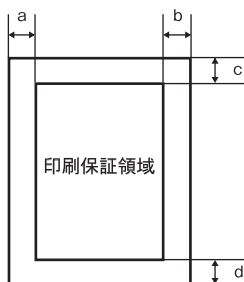
用紙サイズ		MP トレイ	用紙カセット	用紙のセット方向
A3	297.0 × 420.0mm	○	○	縦長
A4	210.0 × 297.0mm	○	○	横長
A5	148.0 × 210.0mm	○	○	横長
B4	257.0 × 364.0mm	○	○	縦長
B5	182.0 × 257.0mm	○	○	横長
Letter（LT）	8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	○	横長
Half-Letter（HLT）	5.5 × 8.5 インチ（139.7 × 215.9mm）	○	×	縦長
Legal（LGL）	8.5 × 14.0 インチ（215.9 × 355.6mm）	○	○	縦長
Executive（EXE）	7.3 × 10.5 インチ（184.2 × 266.7mm）	○	×	横長
Government Legal（GLG）	8.5 × 13.0 インチ（215.9 × 330.2mm）	○	×	縦長
Government Letter（GLT）	8.0 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm）	○	×	横長
F4	210.0 × 330.0mm	○	×	縦長
不定形紙	用紙幅：100 ～ 297mm 用紙長：148 ～ 420mm	○ *1	×	登録した用紙の向き *2
郵便ハガキ	100.0 × 148.0mm	○	×	縦長
往復郵便ハガキ	148.0 × 200.0mm	○	×	縦長
ラベル紙	A4：210.0 × 297.0mm Letter（LT）：8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	×	横長
OHP シート	A4：210.0 × 297.0mm Letter（LT）：8.5 × 11.0 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	×	横長
封筒 洋形 0 号	120.0 × 235.0mm	○	×	縦長
封筒 洋形 4 号	105.0 × 235.0mm	○	×	縦長
封筒 長形 3 号	120.0 × 235.0mm	○	×	縦長
封筒 角形 2 号	240.0 × 332.0mm	○	×	縦長
封筒 角形 3 号	216.0 × 277.0mm	○	×	縦長

○：使用可能　　×：使用不可能

*1　アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

*2　不定形紙の用紙のセット方向は、登録した用紙サイズ（用紙長 / 幅）によって異なります。
☞ 本書 227 ページ「不定形紙への印刷」

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm/ 封筒は 10mm（a, b, c, d）を除く領域の印刷を保証します。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	8.3A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	：784W
	印刷時	：平均 339W
	待機時	：平均 73W（ヒーターオン時）
	低電力モード時	：平均 10W 以下（ヒーターオフ時）

環境使用条件

動作時	温度	：5 ～ 35 度
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：76.0kpa（2500m 以下）
	水平度	：傾き 5 度以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：上方 250mm、左側 100mm、右側 100mm、 前方 660mm、後方 291mm * 表記寸法以上を保つこと
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35 度
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

制御コード体系	ESC/PageS
RAM	8MB
インターフェイス	パラレル IEEE1284 準拠双方向（ニブルモード、ECP モード）
	USB（Rev. 1.1 対応）

プリンタ外形寸法 / 重量

外形寸法	幅 459mm ×奥行き 463mm* ×高さ 295mm（小数点以下四捨五入） * 600mm（用紙カセット伸長時）、690mm（MP トレイ開時、用紙カセット伸長時）
重量	約 14.5kg（消耗品を含まず）

設置スペース

製造番号の表示位置

索引

数字

C

D

E

I

J

M

N

O

T

U

あ

い

う

え

お

か

き

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ふ

へ

ほ

め

も

ゆ

よ

ら

れ

わ